



社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団

経営の理念

利用者の意思及び人格を尊重し、その尊厳を守るとともに、自立に向けた質の高いサービスの提供を通じて、活力のある高齢社会及び人権が尊重される社会の実現に寄与することを経営の理念とします。

実践的理念

「よりそう想い つながる心」

私たちは、ご利用者への支援を第一に、「よりそう想い つながる心」の精神のもとで、ご家族、 地域社会とのつながりを大切に、活力のある高齢社会及び人権が尊重される社会の実現に寄与す るため、次のことを実践いたします。

私たちは、ご利用者が自ら望む暮らしを実現し、安心・安全な生活を送れるよう、以下のことに取り組みます。

- ご利用者の個別性を大切にし、必要とされるサービスを必要な時に提供します。
- 優しく、誠実で、丁寧な対応に努め、心を込めて「喜ばれる」サービスを提供します。
- ご利用者一人ひとりの思いに心を寄せ、持てる力を十分に発揮できるよう支援します。
- ご利用者の生活の継続性に着目し、快適な居場所づくりに努めます。

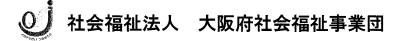
私たちは、自らの能力を十分に発揮し、いきいきと働ける職場を作るため、以下のことに取り組みます。

- チームワークを育みながら自己研鑽に努め、絶えず業務推進・改善を試みます。
- 夢と志を持って、新たな活動に果敢にチャレンジしていきます。
- 私生活と仕事のバランスを保ち、健康で笑顔いっぱいの職場を作ります。
- 誰もが安心して働くことができる安全で清潔な職場環境を作ります。

私たちは、地域社会を構成する一員として、事業団が有する資源を最大限活用し、積極的に地域福祉を推進するため、以下のことに取り組みます。

- 誰からも信頼される透明性の高い施設を目指し、多くの人々が集える環境づくりに努めます。
- セーフティネットの一翼を担い、社会的要援護者を積極的に支援します。
- 経営基盤の安定に努め、豊かな地域社会の構築に貢献します。
- 常に喜びと感動を共有し、将来の福祉・介護を担える人材育成に努めます。

私たちは、これらの実践を通して社会に貢献していきたいと思います。



平成28年度 事業報告書

目 次

I	ŕ	去 人	概	要 ・・・・・・・				 	 		3
	1.	沿		革·····				 	 	· • • •	4
	2.	基	本 財	産				 	 	· • • • •	16
	3.	役		員				 	 	· • • •	17
	4.	理	事	会·····				 	 		17
	5.	施設	整備委員	員会				 	 		20
	6.	事	業内	容 · · · ·				 	 		21
П	-	平成 2	8年度	事業執行概	光要・・・・・			 	 		31
III	['	中長期為	経営計	画 · · · · · ·				 	 		33
IV											
	1.			管理⋯⋯							
	2.	事業	管理 …				• • • • •	 	 		36
V	· .	各施設	事業執行	行状況····				 	 		47
	!	特別養	護老人:	ホーム美原	注·····			 • • • • • •	 		48
		軽費	老人ホ	ーム(ケア	(ハウス)	和風荘	1				
				人ホーム美							
	!	特別養	護老人:	ホーム春日	丘荘···			 	 		54
				人ホーム着			_				
	!	特別養	護老人:	ホーム四條	€畷荘…			 	 		61
				ーム四條畷							
				ホーム光明							
	!	特別養	護老人:	ホーム高槻	見荘・・・・・			 • • • • • •	 		68
				ホーム白島							
	-			人ホーム・・							
]	豊中市:	立養護	老人ホーム	*永寿園と	とよなか	7	 	 		84
		特別	養護老	人ホーム永	〈寿園と。	になか					
	Ē	軽費老.	人ホー、	ム(ケアバ	ヽウス)豊	豊寿荘・・		 	 		87
		特別	養護老	人ホーム豊	是寿荘						
	Ē	軽費老.	人ホー、	ム万寿荘・・				 	 		91
	Ē	軽費老.	人ホー、	ム河南荘・・				 	 		95
		章がい	者支援	施設みずに	まおおぞり	; ;		 	 	· • • • •	98
		特別	養護老	人ホームみ	ょずほおお	おぞら					
	-	事務局						 	 		102
	(OS Jā	研修・	研究センタ	7			 	 	:	106

VI	資料		109
1.	入所	f者・利用者状況·····	110
	(1)	入退所状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	110
	(2)	利用契約状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	111
	(3)	年齢別状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112
	(4)	居住別調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	113
	(5)	日常生活状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	114
	(6)		115
	(7)	給食状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	119
	(8)	定期健康診断状況	120
	(9)	医療的ケア実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	121
2.	事業	连実績状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	122
	(1)	施設サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	122
	(2)	在宅福祉サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	124
	(3)	障がい福祉サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	129
	(4)	老人福祉センター等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	130
	(5)	市町村委託事業·····	131
	(6)	地域公益事業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	132
	(7)	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	133
	(8)	ボランティア受け入れ状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	134
	(9)	実習生受け入れ状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	135
	(10)	認知症サポーター養成講座及びキャラバンメイト数	136
3.	労務	5 管理状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	137
	(1)	職員状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	137
	(2)	平均年齢と平均勤続年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	137
	(3)	採用状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	138
	(4)	離職状況	139
	(5)	昇任状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	140
	(6)	職員表彰状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	140
	(7)	職員研修	141
	(8)	職員資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	149
	(9)	職員配置状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	150
4.	各種	i会議開催状況······	155
5.	第三		156



1.沿 革

昭和46年	3月11日	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団設立発起人会開催。
		大阪府民生部長畑中豊作氏を設立代表者に互選、設立準備に入
		る。
昭和46年	3月11日	設立認可申請書を厚生大臣に提出
昭和46年	3月11日	役員定数を理事「9名」監事「2名」とする。
昭和46年	3月25日	厚生省社第 204 号をもって認可される。
昭和46年	3月30日	設立登記完了
昭和46年	3月30日	第1回理事会開催
		初代理事長に大阪府副知事湯川宏氏が就任
昭和46年	4月 1日	特別養護老人ホーム泉南特別養護老人ホーム(入所定員 100
		名)、養護老人ホーム東大阪養護老人ホーム(入所定員 150 名)、
		軽費老人ホーム和風荘 (入所定員 70 名)、同豊寿荘 (入所定
		員 100 名)、婦人保護施設たまも寮(入所定員 55 名)、同あか
		ね寮(入所定員 50 名)、精神薄弱者授産施設大東園(通所定
		員 50 名)の 7 施設の受託経営
昭和46年	4月 1日	軽費老人ホーム使用料収納事務の受託
昭和46年	5月17日	初代理事長湯川宏氏退任
昭和46年	5月18日	二代理事長畑中豊作氏就任
昭和46年	5月20日	軽費老人ホーム万寿荘(入所定員 50 名)の受託経営
昭和47年	5月26日	第二種社会福祉事業「医療社会福祉事業振興対策資金の貸付
		事業」の受託運営
昭和48年	4月 1日	補助金方式を委託料方式に改める。
昭和48年 昭和48年	4月 1日 4月 1日	補助金方式を委託料方式に改める。 精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に
		_
	4月 1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に
昭和48年	4月 1日 8月 1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に 増員
昭和48年	4月 1日 8月 1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に 増員 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営
昭和48年	4月 1日 8月 1日 7月24日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に 増員 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営 老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員
昭和48年昭和48年昭和49年	4月 1日 8月 1日 7月24日 4月 1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に増員 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営 老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員 養成事業」の追加受託
昭和48年 昭和48年 昭和49年 昭和50年	4月 1日 8月 1日 7月24日 4月 1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に増員 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営 老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員 養成事業」の追加受託 軽費老人ホーム河南荘(入所定員 100名)の受託経営
昭和48年昭和48年昭和49年昭和50年昭和50年1	4月 1日 8月 1日 7月24日 4月 1日 0月 1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に 増員 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営 老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員 養成事業」の追加受託 軽費老人ホーム河南荘(入所定員100名)の受託経営 泉南特別養護老人ホームにおいて「在宅老人機能回復訓練事
昭和48年 昭和48年 昭和49年 昭和50年1 昭和50年1	4月 1日 8月 1日 7月24日 4月 1日 0月 1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に 増員 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営 老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員 養成事業」の追加受託 軽費老人ホーム河南荘(入所定員100名)の受託経営 泉南特別養護老人ホームにおいて「在宅老人機能回復訓練事 業」の実施
昭和48年 昭和48年 昭和49年 昭和50年1 昭和51年 昭和51年	4月 1日 8月 1日 7月24日 4月 1日 0月 1日 3月31日 4月 1日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に増員 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営 老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員 養成事業」の追加受託 軽費老人ホーム河南荘(入所定員 100名)の受託経営 泉南特別養護老人ホームにおいて「在宅老人機能回復訓練事業」の実施 二代理事長畑中豊作氏退任 三代理事長大阪府民生部長桝居孝氏就任
昭和48年 昭和48年 昭和49年 昭和50年1 昭和51年 昭和51年	4月 1日 8月 1日 7月24日 4月 1日 0月 1日 3月31日 4月 1日 7月31日	精神薄弱者授産施設大東園の通所定員「50名」を「60名」に 増員 附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」の受託運営 老人福祉指導センター事業の中に「老人機能回復訓練指導員 養成事業」の追加受託 軽費老人ホーム河南荘(入所定員100名)の受託経営 泉南特別養護老人ホームにおいて「在宅老人機能回復訓練事 業」の実施 二代理事長畑中豊作氏退任

昭和52年 7月 1日	特別養護老人ホーム美原荘(入所定員 120 名)の受託経営
昭和53年 8月 1日	特別養護老人ホームにおける「ねたきり老人短期入所事業」
	の実施
昭和52年10月 1日	特別養護老人ホーム春日丘荘(入所定員 120 名)の受託経営
昭和53年 7月 1日	精神薄弱者授産施設白鷺園(通所定員 50 名)の受託経営
昭和53年11月18日	特別養護老人ホーム四条畷荘(入所定員 120 名)の受託経営
昭和54年 2月 1日	第二種社会福祉事業「老人総合センター」の受託経営
昭和54年 3月31日	附帯的公益事業「老人福祉指導センター事業」を老人総合セ
	ンターに移管し廃止
昭和54年 6月19日	四代理事長浅海浩氏退任
昭和54年 6月20日	五代理事長板東義雄氏就任
昭和55年 3月 1日	特別養護老人ホーム光明荘(入所定員 120 名)の受託経営
昭和56年 4月 1日	役員定数、理事「9名」を「11名」とする。
昭和56年 4月 1日	附帯的公益事業「社会福祉会館」の受託経営
昭和56年 4月 1日	精神薄弱者授産施設白鷺園の通所定員「50名」を「60名」に
	増員
昭和56年12月31日	婦人保護施設あかね寮(入所定員 50 名)の廃止
昭和57年 2月 1日	特別養護老人ホーム高槻荘(入所定員 100 名)の受託経営
昭和57年 6月 1日	五代理事長板東義雄氏退任
昭和57年 6月 1日	六代理事長福田順一氏就任
昭和60年 4月 1日	特別養護老人ホーム白島荘(入所定員 90 名)の受託経営
昭和62年 6月15日	六代理事長福田順一氏退任
昭和62年 6月16日	七代理事長山中治氏就任
昭和63年 2月 1日	事業の経営を「大阪府の委託を受けて」を「大阪府等の委託
	を受けて」に定款変更
昭和63年 3月 1日	高槻市から第二種社会福祉事業高槻市老人デイ・サービスセ
	ンターの受託経営
平成 2年 3月31日	「老人総合センター」の受託経営廃止
平成 2年10月 1日	特別養護老人ホーム光明荘において「家庭奉仕員派遣事業」
	の実施
平成 3年 5月24日	七代理事長山中治氏退任
平成 3年 5月25日	八代理事長竹内壮彦氏就任
平成 3年11月 1日	婦人保護施設たまも寮において「婦人保護施設退所者自立支
	援事業」の実施
平成 3年12月 1日	高槻市老人デイ・サービスセンターにおいて「高槻市ホーム
	ヘルプサービス事業」の実施

平成	4年	4月 1日	東大阪養護老人ホームにおいて「虚弱老人短期入所事業」の 実施
平成	4年	6月 1日	特別養護老人ホーム美原荘において「老人入浴サービス事業」 の実施
平成	4年	7月 1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において「茨木市ホームヘルプ サービス事業」の実施
平成	4年	7月15日	高槻市郡家老人デイ・サービスセンターにおいて「在宅サービス供給ステーション事業」及び「在宅介護支援センター運営事業」の実施
平成	5年	4月15日	高槻市郡家老人デイ・サービスセンター「B型からA型」に 移行に伴う「訪問事業」「配食サービス事業」の実施
平成	6年	1月 1日	高槻市郡家老人デイ・サービスセンターにおいて「高槻市身 体障害者デイサービス事業」の実施
平成	6年1	1日 1日	特別養護老人ホーム光明荘において「光明荘老人デイサービスセンター」、「和泉市在宅サービス供給ステーション事業」 及び「和泉市在宅介護支援センター事業」の受託経営(身体障害者デイ事業も含む)
平成	7年1	10月 1日	特別養護老人ホーム美原荘において「勤労意欲助長事業」の 実施
平成	8年	3月14日	特別養護老人ホーム高槻荘において「高槻市身体障害者短期 入所事業」の実施
平成	8年	3月31日	八代理事長竹内壮彦氏退任
平成	8年	4月 1日	九代理事長永井貞三郎氏就任
平成	8年	5月27日	役員定数、理事「11名」を「13名」とする。
平成	8年1	10月 1日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町ホームヘルプサ ービス事業」の実施
平成	9年	3月31日	婦人保護施設たまも寮受託経営廃止
平成	9年	4月 1日	婦人保護施設「女性自立支援センター」(入所定員 150 名) の 受託経営
			茨木市より第二種社会福祉事業「茨木市立老人福祉センター 沢池荘」「茨木市立沢池老人デイサービスセンター」の受託経 営
平成	9年	4月21日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町在宅介護支援センター事業」の受託経営
平成	9年	7月 1日	泉南市より第二種社会福祉事業「泉南市立老人デイサービス センター」の受託経営

平成10年	3月3	1 目	九代理事長永井貞三郎氏退任
平成10年	4月	1 目	十代理事長 家常惠氏就任
平成10年	4月	1 目	軽費老人ホーム和風荘をケアハウスに建て替えケアハウス和
			風荘として受託経営
平成10年	4月	1 目	茨木市立沢池老人デイサービスセンターにおける「ホリデイ
			サービス事業並びに時間延長事業」の実施
平成10年	4月	1 目	特別養護老人ホーム美原荘・春日丘荘における「24 時間対応
			(巡回型) ホームヘルパー派遣事業」の実施
平成10年	4月	1日	特別養護老人ホーム美原荘において「ナイトケア事業及び父
			子家庭介護人派遣事業」の実施
平成10年	4月	1 月	特別養護老人ホーム光明荘において「和泉市身体障害者短期
			入所事業」の実施
平成10年	4月	1 日	特別養護老人ホーム四条畷荘において「福祉自動車送迎サー
			ビス事業」の実施
平成10年	6月1	5 日	高槻市郡家老人デイサービスセンターにおいて「訪問看護ス
			テーション事業」の実施
平成10年1	0月	1 目	泉南特別養護老人ホームにおいて「泉南市在宅介護支援セン
			ター事業」の実施
平成11年	5月	7 日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町給食サービス事
			業」の実施
平成11年	9月	1 日	泉南特別養護老人ホームにおいて「社会生活適応訓練事業」
			の実施
平成11年1	0月	1 目	11 の居宅介護支援事業所において「要介護訪問調査事業」の
			実施
平成12年	1月	6 日	特別養護老人ホーム美原荘において「美原町老人デイサービ
			ス事業」の実施
平成12年	3月	1 目	特別養護老人ホーム春日丘荘において「老人デイサービスセ
			ンター事業」「配食サービス事業」の実施
平成12年	3月3	1 日	知的障害者授産施設大東園・白鷺園の受託経営廃止
平成12年	3月3	1 目	十代理事長 家常惠氏退任
平成12年	4月	1 目	介護老人福祉施設、短期入所生活介護、訪問介護、訪問入浴、
			通所介護、訪問看護事業における32介護保険事業所の指定を
			受け事業実施
平成12年	4月	1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において「春日丘荘在宅介護支
			援センター事業」の実施
平成12年	4月1	3 目	十一代理事長 興津進康氏就任

平成12年	5月 1	. 日	特別養護老人ホーム白島荘において「配食サービス事業」の 実施
平成12年	6月22	月	特別養護老人ホーム美原荘において「高齢者世話付住宅生活 援助員派遣事業」の実施
平成13年	3月15	日	特別養護老人ホーム四条畷荘において「配食サービス事業」 の実施
平成13年1	0月 1	日	女性自立支援センターにおいて堺市知的障害者地域生活援助 事業の実施
平成14年	3月 1	日	特別養護老人ホーム白島荘において痴呆対応型共同生活介護 の指定を受け事業実施
平成14年	3月29	日	事業団出資額 40,000,000 円を加え、基本金を 50,000,000 円 とする。
平成14年	3月31	日	大阪府立施設の条例改正により6特養、1軽費の受託経営廃止 泉南特別養護老人ホームの施設廃止、及び、これに伴い、介 護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、 居宅介護支援(2ヶ所)の事業の廃止 特別養護老人ホーム高槻荘における訪問看護事業の廃止
平成14年	4月 1	Ħ	役員定数、理事「13名」を「9名」とする。 特別養護老人ホーム美原荘、特別養護老人ホーム春日丘荘、 特別養護老人ホーム四条畷荘、特別養護老人ホーム光明荘、 特別養護老人ホーム高槻荘、特別養護老人ホーム白島荘、経 費老人ホーム(ケアハウス)和風荘の設置経営の為、土地及び 建物を大阪府から無償譲渡を受け、自主運営を開始する。 高槻市立郡家老人デイサービスセンターにおいて「精神障害 者居宅介護事業」の実施
平成14年	8月 1	日	特別養護老人ホーム美原荘において「精神障害者居宅介護事業」の実施
平成15年	4月 1	目	短期入所、居宅介護、デイサービス、地域生活援助における 15 支援費事業所の指定を受け事業実施
平成15年	4月 1	日	高槻荘郡家デイサービスセンターの建物を高槻市から無償譲渡を受け、大阪府より同施設の土地を購入
平成15年	4月 1	目	特別養護老人ホーム春日丘荘において痴呆対応型共同生活介護の指定を受け事業実施
平成15年	7月 1	目	特別養護老人ホーム高槻荘において福祉用具貸与事業の指定を受け事業実施
平成16年	2月 1	日	東大阪養護老人ホームにおいて訪問介護事業の指定を受け事

業実施

			术
平成16年	4月	1 目	軽費老人ホーム豊寿荘の土地及び建物を大阪府から無償譲渡
			を受け、自主運営を開始する。
			茨木市立南茨木老人デイサービスセンターにおいて「老人デ
			イサービスセンター事業」「配食サービス事業」の実施
			南茨木居宅介護支援事業所において居宅介護支援事業の指定
			を受け事業実施
			箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「老人デイサービス
			センター事業」「知的障害者デイサービス事業」の実施
平成16年	4月	1 月	特別養護老人ホーム6施設、養護老人ホーム1施設軽費老人
			ホーム3施設の計10施設において社会貢献事業実施
平成16年1	2月	1 目	特別養護老人ホーム高槻荘において訪問介護員養成研修事業
			の許可を受け事業実施
平成17年	3月3	1日	女性自立支援センターにおいて堺市知的障害者地域生活援助
			事業の廃止
			大阪府医療社会福祉事業振興対策資金借入金利子補助事業の
			廃止
			十一代理事長 興津進康氏退任
平成17年	4月	1 目	東大阪養護老人ホーム及び軽費老人ホーム万寿荘、軽費老人
			ホーム河南荘、の土地及び建物を大阪府から無償譲渡を受け、
			自主運営を開始する。
			十二代理事長 中村幹雄氏就任
平成17年	5月	1 月	四条畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」
			において「身体障害者」「知的障害者」「障害児」支援費訪問
			介護事業実施
			豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」において「精神障害者居宅
			介護等事業」の実施
平成17年	7月	1 目	軽費老人ホーム豊寿荘をケアハウスに建て替えケアハウス豊
			寿荘として事業実施
平成17年1	0月	1 月	軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘において特定施設入居
			者生活介護事業実施
平成18年	3月	1 目	軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘において特定施設入居
•	-	•	者生活介護事業実施
平成18年	3月3	1 目	大阪府立女性自立支援センター事業運営終了
,	, ,		大阪府社会福祉会館の会館運営終了
			、10001 FAIEFAM、AM在日长 1

平成18年 4月 1日

特別養護老人ホーム「豊寿荘」(入所定員 50 名)事業実施 特別養護老人ホーム豊寿荘において「短期入所生活介護事業」 の実施

特別養護老人ホーム豊寿荘において「通所介護事業」の実施 特別養護老人ホーム豊寿荘において「診療所ゆたか」の開設 特別養護老人ホーム四條畷荘において地域包括支援センター 事業の指定を受け事業実施

特別養護老人ホーム光明荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施

特別養護老人ホーム高槻荘において地域包括支援センター事業の指定を受け事業実施

白島荘グループホーム「華の家」において「短期利用共同生 活介護事業」の実施

美原荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施 四條畷荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実 施

光明荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施 白島荘訪問介護事業所において「福祉有償運送事業」の実施 短期入所生活介護、訪問介護、訪問入浴、通所介護、特定施 設入居者生活介護、福祉用具貸与事業における24介護予防 事業所の指定を受け事業実施

平成18年 6月 1日

東大阪養護老人ホーム訪問介護事業所において「福祉有償運 送事業」の実施

豊寿荘デイサービスセンター「ゆたか」において「介護予防通 所介護事業」の指定を受け事業実施

特別養護老人ホーム豊寿荘において「介護予防短期入所生活 介護事業」の指定を受け事業実施

平成18年 9月30日

光明荘デイサービスセンターにおいて実施していた「介護予 防通所介護事業」の廃止

平成18年 9月30日

美原荘、四條畷荘、高槻荘、豊寿荘において実施していた障害福祉サービス事業「外出介護事業」の廃止

平成18年10月 1日

東大阪養護老人ホームにおいて「外部サービス利用型特定施設入 居者生活介護事業」「外部サービス利用型介護予防特定施設入居 者生活介護事業」の指定を受け事業実施

美原荘、春日丘荘、四條畷荘、光明荘、高槻荘、豊寿荘の訪問介 護事業所にて障害福祉サービス「重度訪問介護」の指定を受け

事業実施

光明荘デイサービスセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施

美原荘訪問介護事業所において「地域生活支援事業移動支援 事業」の指定を受け事業実施

平成19年 3月 1日 白島荘グループホーム「華の家」において「認知症対応型通 所介護事業」「介護予防認知症対応型通所介護事業」の指定を 受け事業実施

平成19年 3月31日 特別養護老人ホーム美原荘における「訪問入浴事業」の廃止 平成19年 3月31日 美原荘、光明荘、光明の郷ケアセンターにおける「障害者デ イサービス事業」の廃止

平成19年 4月 1日 美原荘デイサービスセンターにおいて「障害福祉サービス基準該当生活介護事業」の実施

平成19年 4月 1日 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「障害福祉サービス 基準該当生活介護事業」の実施

平成19年 4月 1日 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「地域活動支援センター事業」の実施

平成19年 4月 1日 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「入浴サービス事業」 の実施

平成19年 4月 1日 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「日中一時支援事業」 の実施

平成19年 6月 1日 春日丘荘ヘルパーステーションにおいて「産前・産後ホーム ヘルパー事業」の実施

平成19年11月26日 特別養護老人ホーム四條畷荘竣工

平成20年 1月 1日 特別養護老人ホーム四條畷荘において「通所介護事業」の指 定を受け事業実施

> 特別養護老人ホーム四條畷荘において「四條畷荘診療所」の 開設

平成20年 2月 1日 養護老人ホーム四條畷荘(入所定員50名)事業実施 養護老人ホーム四條畷荘において「外部サービス利用型特定 施設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施

平成20年 3月31日 高槻荘における障害福祉サービス「経過的デイサービス事業」 の廃止

平成20年 4月 1日 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて「白島荘小規模多機 能型居宅介護事業所「ひねもす」」の指定を受け事業実施

平成20年	8月 1日	軽費老人ホーム (ケアハウス) 豊寿荘において「介護予防特定施 設入居者生活介護事業」の指定を受け事業実施
平成21年	3月31日	特別養護老人ホーム白島荘における「配食サービス事業」の廃止
平成21年	4月 1日	万寿荘において池田市立敬老会館での老人福祉センター事業 の指定管理者指定を受け事業実施。
平成21年	4月 1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において地域包括支援センター 事業の指定を受け事業実施
平成22年	3月15日	特別養護老人ホーム春日丘荘リニューアルオープン
平成22年	3月31日	特別養護老人ホーム美原荘における「配食サービス事業」の 廃止
平成22年	3月31日	十二代理事長 中村幹雄氏退任
平成22年	4月 1日	十三代理事長 髙木哲夫氏就任
平成22年	5月 1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において保険診療の開始
平成22年	5月 1日	高槻荘において「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認知
		症対応型通所事業」の指定を受け事業実施
平成22年	6月 1日	春日丘荘グループホームにおいて「介護予防認知症対応型共
		同生活介護事業」「認知症対応型通所介護事業」「介護予防認
		知症対応型通所介護事業」の指定を受け事業実施
平成22年	6月 1日	春日丘荘ヘルパーステーションにおいて「茨木市高齢者ごい
		っしょサービス事業」実施
平成22年	9月 1日	特別養護老人ホーム美原荘、ケアハウス和風荘リニューアル オープン
平成22年	9月 1日	特別養護老人ホーム美原荘において保険診療所の開設
平成23年	3月 1日	特別養護老人ホーム春日丘荘において、「地域密着型介護福祉
		施設入所者生活介護事業」、「短期入所生活介護事業」、「小規
		模多機能型居宅介護事業」、「認知症対応型通所介護事業」の
		指定を受け事業実施
平成23年	4月 1日	堺市において堺市立北老人福祉センター、東老人福祉センタ
		一、堺市立美原総合福祉会館・美原老人福祉センターの指定
		管理の指定を受け事業実施。
平成23年	4月30日	高槻荘における「福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与事業」 の廃止
平成24年	3月31日	美原荘における「在宅介護支援センター運営事業」の廃止
平成24年	3月31日	東大阪養護老人ホームにおける「居宅介護支援事業」の廃止

平成24年	4月	1 日	美原荘において、「地域包括支援センター事業」の指定を受け事業実施
平成24年	4月	2日	東大阪養護老人ホーム移転先土地の購入
平成24年	8月	1 目	光明荘デイサービスセンター、在宅サービス棟リニューアル
1 /// = 1	٠,,		オープン
平成24年	9月2	1 日	大阪府よりサービス管理責任者等研修事業者の指定を受け事
			業実施
平成24年1	0月	1日	美原荘において「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業」
			の指定を受け事業実施
平成25年	1月1	5 日	特別養護老人ホーム永寿園とよなか新築工事の竣工
平成25年	3月	1日	永寿園とよなかにおいて「地域密着型介護福祉施設入所者生
			活介護事業」、「通所介護事業」、「短期入所生活介護事業」
			の指定を受け事業実施
平成25年	2月	8日	特別養護老人ホーム白島荘建替え等工事着工
平成25年	3月2	7日	基本金の一部 10,000,000 円を大阪府へ返還し、基本金
			40,000,000 円とする
平成25年	3月3	1日	特別養護老人ホーム光明荘リニューアル工事の竣工
平成25年	4月	1 目	豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなかの指定管理者の指定
			を受け事業実施及び「外部サービス利用型特定施設入居者生
			活介護事業」の指定を受け事業実施
平成25年	4月	1 日	春日丘荘において茨木市立老人福祉センター南茨木荘、茨木
			市立老人福祉センター桑田荘での老人福祉センター事業の指
			定管理者の指定を受け事業実施
			大阪府より介護員養成研修(介護職員初任者研修課程)事業
			者の指定を受け事業実施
平成25年	7月1	7 目	大阪府より相談支援従事者(初任者及び現任者)研修事業者
			の指定を受け事業実施
平成25年1	0月3	1 日	東大阪養護老人ホーム建替え工事の竣工
平成25年1	2月	1日	東大阪養護老人ホームにおいて「通所介護事業」の指定を受
			け事業実施
平成26年	2月	1日	東大阪養護老人ホームにおいて「居宅介護支援事業」の指定
			を受け事業実施
平成26年	7月3	1 目	特別養護老人ホーム白島荘建替え等工事の竣工
平成26年	8月	1日	OSJ 工房よりそいの丘において「就労継続支援 A 型事業」及び
			「就労継続支援B型事業」の指定を受け事業実施
平成26年	8月	5 目	法人事務局を大阪市中央区から箕面市に移転

平成26年10月20日	高槻市において高槻荘地域密着型サービス施設新築等工事の 着工
平成26年10月20日	堺市において、地域密着型特別養護老人ホーム (仮称) すご う新築工事の着工
平成26年12月 1日	白島荘において「計画相談支援事業」及び「障害児相談支援 事業」の指定を受け事業実施
平成27年 2月13日	万寿荘における「居宅介護支援事業」の廃止
平成27年 4月 1日	茨木市において、沢池多世代交流センター、南茨木多世代交 流センターの指定管理の指定を受け事業実施
平成27年 4月 1日	みずほ・おおぞらにおいて、「生活介護事業」、「就労継続支援 B型事業」、「短期入所事業」、「日中一時支援事業」、「計画相 談支援事業」、「地域移行支援事業」、「地域定着支援事業」、「障 害児相談支援事業」の指定を受け事業実施
平成27年 7月24日	高槻市において高槻荘地域密着型サービス施設新築等工事の 竣工
平成27年 9月 1日	高槻荘において、「小規模多機能型居宅介護事業」及び「認 知症対応型共同生活介護事業」の指定を受け事業実施
平成27年 9月15日	堺市において、地域密着型特別養護老人ホーム(仮称)すご う新築工事の竣工
平成27年 9月28日	四條畷荘において「四條畷荘いっぷくステーション『よろか』 <u>」</u> を開始
平成27年10月 1日	四條畷荘において「短期入所事業」の指定を受け事業実施
平成27年10月 1日	美原荘において、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介 護事業」、「短期入所生活介護事業」、「認知症対応型共同生活 介護事業」の指定を受け事業実施
平成27年10月 5日	豊中市において、障がい者、高齢者福祉サービス施設(仮称) みずほおおぞら園新築工事の着工
平成27年11月 1日	豊寿荘において、新千里東町に「居宅介護支援事業」「訪問 介護事業」の指定を受け事業実施
平成27年12月 1日	豊寿荘において、新千里東町で「あいあい食堂」を開始
平成28年 4月 1日	豊寿荘において、原田介護予防センター、服部介護予防センターの事業を実施するとともに、各介護予防センター内において、「通所介護事業」の指定を受け事業実施
平成28年 4月 1日	東大阪養護老人ホームにおいて、「地域包括支援センター事業」 の指定を受け事業実施

平成28年 4月 1日 OSJ工房よりそいの丘において、「特定相談支援事業」の指 定を受け事業実施 みずほおおぞらにおいて、「施設入所支援事業」、「就労継続 平成28年 8月 1日 支援A型事業」の指定を受け事業を実施、また、島江町「生 活介護事業」、「就労継続支援B型事業」、「計画相談支援 事業」、「地域移行支援事業」、「地域定着支援事業」、「障害児 相談支援事業」を、また、稲津町から「短期入所事業」、「日 中一時支援事業」、を同所に移転 みずほおおぞらにおいて、「地域密着型介護老人福祉施設入所 平成28年 9月 1日 者生活介護事業」、「短期入所生活介護事業」の指定を受け事 業実施 平成28年 9月 1日 箕面市立光明の郷ケアセンターにおいて、「生活介護事業」の 指定を受け事業実施 平成28年 9月 1日 河南荘において「福祉有償運送事業」の実施 平成28年12月 1日 永寿園とよなかにおいて「企業主導型保育事業」の実施

2. 基本財産

基2	卜財産		
土	地	美原荘	(8,595.58 平方メートル)
		春日丘荘	(10,368.95 平方メートル)
		四條畷荘	(5,569.30平方メートル)
		光明荘	(8,507.31 平方メートル)
		高槻荘	(7, 200. 82 平方メートル)
		白島荘	(4,371.25 平方メートル)
		東大阪養護	(3,279.00平方メートル)
		OSJ工房よりそいの丘	(11,552.92 平方メートル)
		和風荘	(4,765.58平方メートル)
		豊寿荘	(5,034.78 平方メートル)
		万寿荘	(3,303.42 平方メートル)
		河南荘	(6, 155. 60 平方メートル)
建	物	美原荘	(5,474.93 平方メートル)
		美原荘「すごうの郷」	(2,796.25 平方メートル)
		春日丘荘	(4,446.89 平方メートル)
		春日丘荘「彩の家」	(2,455.66平方メートル)
		四條畷荘	(8,660.22 平方メートル)
		光明荘	(5,300.91 平方メートル)
		高槻荘	(5,249.69平方メートル)
		白島荘	(6,099.21 平方メートル)
		東大阪養護	(6,424.29 平方メートル)
		OSJ工房よりそいの丘	(3,131.96 平方メートル)
		和風荘	(3,338.85 平方メートル)
		豊寿荘	(8,056.02平方メートル)
		永寿園とよなか	専有部分(1, 194. 49 平方メートル)
			共有部分(1,131.37 平方メートルのうち10,000
			分の 3, 354)
		万寿荘	(1,639.07 平方メートル)

(3,066.06 平方メートル)

(4,099.38 平方メートル)

河南荘

みずほおおぞら

3. 役 員

(1) 役 員 (平成29年3月31日現在)

理事長 髙 木 哲 夫 理 事 行 松 英 明 荒 田 房 生 11 井 手 之 上 優]] 岩 田 敏 郎 " 石 原 欽 子 II藤 田 綾 " 子 佐 藤 眞 " 山 上 幸 雄 監 事 葭 矢 忠 武 本 勝 " 司

(2) 役員退任

役 職 名	氏 名	在 任 期 間
理事	井 手 之 上 優	平成25年4月1日~平成29年3月31日
理事	岩 田 敏 郎	平成22年6月1日~平成29年3月31日
理事	石 原 欽 子	平成26年4月1日~平成29年3月31日
理 事	藤 田 綾 子	平成22年6月1日~平成29年3月31日

4. 理 事 会

定款第9条による理事会は、平成28年度中に次のとおり開催しました。

□	開催年月日	出席者数	議案項目
1	平成28年5月30日	9名	1、平成27年度事業報告について 2、平成27年度収入支出決算について (平成27年度資金運用の状況報告を含む。) 3、OSJ研修・研究センター新規事業の実施について 4、給与規則の一部改正について

			5、契約職員就業規則の一部改正について 6、パートタイマー・アルバイト就業規則の一部改正について 7、定年退職後の再雇用職員就業規則の一部改正について 8、定款の一部変更について
2	平成28年8月25日	9名	1、企業主導型保育事業の実施について 2、平成28年度収入支出予算の補正について 3、定款の一部変更について 4、豊中市立みのり園民営化にかかる運営事業者の公募への応募について 5、会計監査人候補者の選定について 6、給与規則の一部改正について 7、育児休業・介護休業等に関する規則の一部改正について 8、経理規程の一部改正について 9、公印規程の廃止および公印管理規程の制定について 10、施設整備委員会設置要綱の一部改正について
3	平成28年9月27日	9名	1、施設長の任免について
4	平成28年11月15 日	9名	1、平成28年度収入支出予算の補正について 2、土地の譲受け及び定款の一部変更について 3、基本財産の減少について 4、職員の育児休業・介護休業等に関する規則の一部改正について 5、契約職員就業規則の一部改正について 6、パートタイマー・アルバイト就業規則の一部改正について 7、常勤医師就業規則の一部改正について 8、職員就業規則の一部改正について 9、定年退職後の再雇用職員就業規則の一部改正について 10、経理規程の一部改正について 11、社会福祉法改正に伴う定款の変更について 12、評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 13、評議員選任・解任委員の選任について 14、評議員選任・解任委員会の招集について 15、評議員候補者の推薦について

5	平成29年3月24日	9名	1、平成28年度収入支出予算の補正について 2、平成29年度事業計画について 3、平成29年度収入支出予算について 4、定款の一部変更について 5、定款施行細則の改正について 6、役員等報酬規程の廃止及び制定について 7、経理規程の一部改正について 8、職員就業規則の一部改正について 9、契約職員就業規則の一部改正について 10、パートタイマー・アルバイト就業規則の一部改正について 11、職員の給与に関する規則の一部改正について 12、寝具類賃貸借契約について 13、役員賠償責任補償制度の加入について 14、責任限定契約について 15、施設長の任免について
---	------------	----	---

5. 施設整備委員会

理事会より付託され、平成28年度の施設整備のために委員会を次のとおり開催しました。

開催日時	議 案 内 容
	第1号議案 みのり園改修工事事業者募集のスケジュールについて
平成 28 年度	第2号議案 みのり園改修工事事業者募集の公告について
第1回施設整備委員会	第3号議案 公告の方法について
平成 28年 11月 7日 (月)	第4号議案 入札参加業者の決定方法について
	第5号議案 予定価格の決定方法について
	第1号議案 みのり園改修工事請負契約業者の決定について
	第2号議案 みのり園改修工事請負契約内容について
	第3号議案 特別養護老人ホーム高槻荘大規模改修工事設計監理業務請負業者募集のスケジュールについて
平成 28 年度	第4号議案 特別養護老人ホーム高槻荘大規模改修工事設計監理業務請負業者募集の入札公告について
第2回施設整備委員会	第5号議案 公告の方法について
平成28年12月20日(火)	第6号議案 入札参加業者の決定方法について
	第7号議案 予定価格の決定方法について
平成 28 年度	第1号議案 特別養護老人ホーム高槻荘大規模改修工事設計監理業務請負業者の決定について
第3回施設整備委員会 平成29年3月3日(金)	第2号議案 特別養護老人ホーム高槻荘大規模改修工事設計監理業務請負業務契約内容について

6. 事業内容

(1)入所事業所

種別	施設名	所 在 地	事業開始	定員	形態
	美 原 荘	堺市美原区平尾 595 番 1 号	昭和 52. 7. 1	120	設置経営
	美 原 荘 「すごうの郷」	堺市美原区菅生1番1号	平成 27.10.1	29	設置経営
	春日丘荘	茨木市南春日丘七丁目 11 番 22 号	昭和 52. 10. 1	120	設置経営
	春 日 丘 荘 「彩の家」	茨木市南春日丘七丁目 11 番 48 号	昭和 23. 3.1	29	設置経営
特別養護	四條畷荘	四條畷市北出町 28 番 1 号	昭和 53. 11. 18	120	設置経営
老 人 ホ — ム	光 明 荘	和泉市伏屋町三丁目8番1号	昭和55.3.1	120	設置経営
(介護老人福祉施設)	高 槻 荘	高槻市郡家新町 48 番 7 号	昭和 57. 2. 1	100	設置経営
	白 島 荘	箕面市白島三丁目5番50号	昭和 60. 4. 1	90	設置経営
	豊 寿 荘	豊中市新千里西町二丁目7番2号	平成 18. 4. 1	50	設置経営
	永 寿 園と よ な か	豊中市新千里南町三丁目2番地の122	平成 25. 3. 1	29	設置経営
	みずほおおぞら	大阪府豊中市走井三丁目5番35号	平成 28. 9. 1	29	設置経営
		特養計		836	
養護老人	四條畷荘四	9條畷市北出町 28 番 1 号	昭和 20. 2. 1	50 (特定 20 名)	設置経営
ホ — ム	東大阪養護	更大阪市新上小阪11番地2	昭和 46. 4. 1	150 (特定 70 名)	設置経営
(特定含)	永 寿 園 と よ な か	号中市新千里南町三丁目 2 番地の 122	平成 25. 4. 1	70 (特定 30 名)	指定管理
-		養護計		270 (特定 120名)	
	和風・荘は	R市美原区平尾 2196 番	昭和 38. 3. 1	70 (特定 33 名 介護予防含)	設置経営
軽費老人 ホ — ム (特定含)	豊 寿 荘 豊	是中市新千里西町二丁目 7 番 2 号	昭和 45. 7. 1	100 (特定 50 名 介護予防含)	設置経営
1,7,6,7	万 寿 荘 沈	也田市井口堂三丁目4番1号	昭和 46. 5. 20	50	設置経営
	河 南 荘 南	河内郡河南町白木 905 番	昭和 50. 4. 1	90	設置経営

		軽費計	290 (特定 80名)		
施設入所 支援	み ず ほおおぞら	豊中市走井三丁目 5 番 35 号	平成 28. 8.1	31	設置経営
		施設入所支援計		31	
		合 計		1, 270	

(2) 在宅福祉サービス

① 介護保険事業

	事業	名					所 在 地	事業開始
	美 原		介	護	事	業	堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 12. 1.6
	ディサービ	スセンター	予	防	事	業	外川天原区十尾 050 田 1 号	平成 18. 4. 1
	春 日	丘 荘	介	護	事	業	大 茨木市南春日丘七丁目 11 番 22 号	平成 12. 3. 1
	デイサービ		予	防	事	業	NAME OF THE PARTY	平成 18. 4. 1
	茨 木 市 立		<u> </u>	護	事	業	 茨木市南春日丘五丁目1番8号	平成 9. 4. 1
	ディサービ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	予	防	事	業		平成 18. 4. 1
	茨 木 市 立 南 デ イ サ ー ビ :		介予	_護_ 防	事事	業	茨木市東奈良三丁目 16 番 14 号	平成 16. 4. 1
			<u> </u>					平成 18. 4. 1
	四條	畷 荘	介	護	事	業	四條畷市北出町 28 番 1 号	平成 20. 1. 1
通	デイサービスセン	ノターほほえみ	予	防	事	業		
所	光 明 荘 ディサービ:		介	護	事	業	和泉市伏屋町三丁目8番1号	平成 6、10、1
介	高 槻 荘	郡家	介	護	事	業	**************************************	昭和63.3.1
護	デイサービス	センター	予	防	事	業	高槻市郡家新町 48 番 21 号	平成 18. 4. 1
事	箕 面 市 立	光 明 の 郷	介	護	事	業	箕面市粟生新家三丁目 12 番 5 号	平成 16.4.1
業	ケアセ	ンター	予	防	事	業	**************************************	平成 18. 4. 1
	デイサービス	センター	介	護	事	業	大阪府東大阪市新上小阪 11 番 2 号	平成 25. 12. 1
	「ふれ	あい」	予	防	事	業	7.15A.11 不八队中机工生队 II 蛋 C 了	平成 25. 12. 1
	豊寿荘デイサー	ビスセンター	介	護	事	業	豊中市新千里西町二丁目7番2号	平成 18. 4. 1
	「ゆた	か」	予	防	事	業	豆子心材下至四叫一」日/街~芍	平成 18. 6. 1
	原田デイサー b	ごスセンター	介	護	事	業	豊中市原田元町3丁目13番1号	平成 28. 4. 1
	「ねい	ろ 」	予	防	事	業	エールが出20mj 0 1 日 10 田 1 ク	平成 28. 4. 1
	服部デイサー ヒ	ごスセンター	介	護	事	業	典内士昭如士町5丁R2乗0日	平成 28. 4. 1
	「 か な	で」	予	防	事	業	豊中市服部本町 5 丁目 2 番 8 号 	平成 28. 4. 1

		٠	事		業		<u></u>					所 在 地	事業開始
	光へ	ル	パ	_	リス			シ	3	荘ン	介護事業	特別養護老人ホーム光明荘 和泉市伏屋町三丁目8番1号	平成 2. 10. 1
	郡	家		高	5. 梼	現	荏	ホ	_	ム	介護事業	特別養護老人ホーム高槻荘	平成 3. 12. 1
	^	ル	パ	_	ス	ァ	_	シ	3	ン	予防事業	高槻市郡家新町 48 番 21 号	平成 18. 4. 1
	春			日			丘			荘	介護事業	特別養護老人ホーム春日丘荘	平成 4. 7. 1
	^	ル	パ	_	ス	テ	_	シ	3	ン	予防事業	茨木市南春日丘七丁目 11 番 22 号	平成 18. 4. 1
訪	美	原	茌	訪	問	介	護	車	業	彨	介護事業	特別養護老人ホーム美原荘	平成 8. 10. 1
問		<i>1</i> /1\	11	171	111	,, 	- D.X.	T		771	予防事業	堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 18. 4. 1
介	四	條	畷	荘 ፤	方 門	りが)護	事	業	所	介護事業	特別養護老人ホーム四條畷荘	平成 12. 4. 1
護	Γ	^ <i>l</i>	パ -	ス テ	- シ	ョン	ほ	ほう	えみ	J	予防事業	四條畷市北出町 28 番 1 号	平成 18. 4. 1
事	白	島	荘	訪	問	介	護	事	業	所	介護事業	特別養護老人ホーム白島荘	平成 12. 4. 1
業	Γ	は	<	し	ま	^	ル	/ \$	_	J	予防事業	箕面市白島三丁目5番50号	平成 18. 4. 1
	豊	寿	荘	訪	問	介	護	事	業	所	介護事業	軽費老人ホーム(ケアハウス)	平成 14. 4. 1
	L	ΛŢ	ゆ		1₽J <i>†</i> :			か	*]	予防事業	豊寿荘 豊中市新千里西町二丁目7番2号	平成 18. 4. 1
	豊	寿	荘	訪	問	介	護	事	業	所	介護事業	曲・ホー・エー・エー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー	平成 27. 11. 1
	Г	7)	が	Į		ま	7	5	J	予防事業	豊中市新千里東町三丁目6番105号	平成 27. 11. 1
	^	ル	/Ŝ	_	ス	Ŧ	_	シ	3	ン	介護事業	東大阪養護老人ホーム	平成 16. 2. 1
	Γ		ふ		n	đ	<u>.</u>	い		J	予防事業	東大阪市新上小阪 11 番 2 号	平成 18. 4. 1
١			期	時交巡ポ	対応 回 一	型!	訪問 随 C	時	護看 対 S	護応り	介護事業	特別養護老人ホーム美原荘 堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 24. 10. 1
											介護事業	特別養護老人ホーム 11施設	昭和 53. 8. 1
短	期	入	所	f 生	≦ 活	ā 1	π	護	事	業	予防事業	特別養護老人ホーム 10施設 (光明荘を除く特養施設にて実施)	平成 18. 4. 1
								事			介護事業	特別養護老人ホーム高槻荘	平成 5. 4. 1
訪		問		入		浴				業	予防事業	高槻市郡家新町 48 番 21 号	平成 18. 4. 1
											介護事業	特別養護老人ホーム光明荘 和泉市伏屋町三丁目8番1号	平成 12. 4. 1

		事業名		所 在 地	事 業 開 始
	美 原	莊 居 宅 介 護 支 援 事	業所	堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 11. 10. 1
	春日	丘荘居宅介護支援事	業所	茨木市南春日丘七丁目 11 番 22 号	平成 11. 10. 1
	四條畷	荘居宅介護支援事業所「ほ	ほえみ」	四條畷市北出町 28番1号	平成 11. 10. 1
居宅	光明	莊 居 宅 介 護 支 援 事	業所	和泉市伏屋町三丁目8番1号	平成 11. 10. 1
介	高槻	莊 居 宅 介 護 支 援 事	業所	高槻市郡家新町 48 番 21 号	平成 11. 10. 1
護	白島荘	居宅介護支援事業所「はく	しま」	箕面市白島三丁目5番50号	平成 11. 10. 1
支	豊寿荘	居宅介護支援事業所「ゆた	か」	豊中市新千里西町二丁目7番2号	平成 11. 10. 1
援	南茨	木居宅介護支援事	業所	茨木市東奈良三丁目 16番 14号	平成 16. 4. 1
	ケアコ	プランセンター「ふれあ	い」	大阪府東大阪市新上小阪 11 番 2 号	平成 26. 2. 1
	豊寿荘	居宅介護支援事業所「ひが	しまち」	豊中市新千里東町三丁目 6 番 105 号	平成 27. 11. 1
	!	白島荘グループ	介護事業	特別養護老人ホーム白島荘	平成 14. 3. 1
		ホーム「華の家」 (短期利用含)	予防事業	箕面市白島三丁目 5 番 50 号	平成 18. 4. 1
認知	症対応型	春 日 丘 荘	介護事業	特別養護老人ホーム春日丘荘	平成 15. 4. 1
	生活介護	グ ル ー プ ホ ー ム	予防事業	茨木市南春日丘七丁目 11 番 22 号	平成 22. 6. 1
		グ ル ー プ ホ ー ム	介護事業	特別養護老人ホーム高槻荘	平成 15. 4. 1
		高槻荘「ゆらら」	予防事業	高槻市郡家新町 48 番 7 号	平成 22. 6. 1
		美 原 荘	介護事業	美原荘「すごうの郷」	平成 28.10.1
		グループホーム「すごうの郷」	予防事業	堺市美原区菅生1番1	
		白 島 荘 グ ル ー プホ ー ム 「 華 の 家 」	介護事業	特別養護老人ホーム白島荘	平成 19. 3. 1
		₹	予防事業	箕面市白島三丁目 5 番 50 号	
		高槻荘「やすらぎ」	介護事業	高槻荘郡家デイサービスセンター	平成 22. 5. 1
認知	症対応型	₹	予防事業	高槻市郡家新町 48 番 21 号	1 190 22. 0. 1
	听介護	春 日 丘 荘	介護事業	特別養護老人ホーム春日丘荘	平成 22. 6. 1
		グ ル ー プ ホ ー ム	予防事業	茨木市南春日丘七丁目 11番 22号	1 120 66. V. I
		デイサービスセンター 春 日 丘 荘	介護事業	茨木市南春日丘七丁目 11 番 48 号	平成 23. 3. 1
		「彩の家」	予防事業		. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

	事 業 名		所 在 地	事 業 開 始
	白島荘小規模多機能型居宅介 護 事 業 所 「 ひ ね も す 」	介護事業予防事業	箕面市立光明の郷ケアセンター 箕面市粟生新家三丁目 12番5号	平成 20. 4. 1
小規模多機能型居宅介護		介護事業予防事業	特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」 茨木市南春日丘七丁目 11 番 48 号	平成 23. 3. 1
	高槻荘小規模多機能センター 「ゆらら」	介護事業 予防事業	特別養護老人ホーム高槻荘 高槻市郡家新町 48 番 7 号	平成 27. 9. 1
	美原第1地域包括支援	2ンター	堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 24. 4. 1
	四條畷第 2 地域包括支	援 センター	四條畷市北出町 28 番 1 号	平成 18. 4. 1
	光明荘地域包括支援センター		和泉市伏屋町三丁目8番1号	平成 18. 4. 1
介護予防支援	郡家地域包括支援センター		高槻市郡家新町 48 番 21 号	平成 18. 4. 1
	茨木市地域包括支援センター春日丘		茨木市南春日丘七丁目 11 番 48 号	平成 21. 4. 1
	地域包括支援センター上小阪		東大阪市新上小阪 11番 2号	平成 28. 4. 1

② 障がい福祉サービス・地域生活支援事業

	事		ŧ	名		所 在 地	事業開始					
						光明荘老人デイサービスセンター	平成 6. 10. 1					
						和泉市伏屋町三丁目8番1号	十成 0. 10. 1					
基	隼 該:	当 生	活介	護事	業	美原荘デイサービスセンター	平成 12. 10. 1					
(経	過的す	デイサ	ービス	(含)		堺市美原区平尾 595 番 1 号	十成 12. 10. 1					
						箕面市立光明の郷ケアセンター	平成 16. 4. 1					
						箕面市粟生新家三丁目 12番5号						
						障がい者支援施設みずほおおぞら	平成 28. 8. 1 (*)					
生	活	介	頀	車 森	車 楽	事 業	事業	事業	事業	₩	豊中市走井三丁目5番35号(*)	十段, 20. 0. 1 (本)
	/ D	71	反	反交	文印					7	. +	未
						大阪府箕面市粟生新家 3 丁目 12 番 5 号	+ 12, 20. 9. 1					
	-			,		特別養護老人ホーム高槻荘	平成 8. 3. 14					
梅	短期入所	所 事 業	高槻市郡家新町 48 番 7 号	十成 0. 3. 14								
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		ועז	特別養護老人	特別養護老人ホーム光明荘	平成 10. 4. 1							
					和泉市伏屋町三丁目8番1号	一次 10. 4. 1						

	特別養護老人ホーム美原荘	平成 13. 4. 1		
	堺市美原区平尾 595 番 1 号			
	みずほおおぞら短期入所事業所	平成 28. 8.1 (*)		
	豊中市走井三丁目5番35号(*)	1,220. 0.1 ()		
	郡家高槻荘ホームヘルパーステーション	平成 4. 7. 15		
	高槻市郡家新町 48 番 8 号	1 750 11 7. 10		
	光明荘ヘルパーステーション	平成 3.4.1		
	和泉市伏屋町三丁目8番2号	1 100 0 . 4. 1		
	美原荘訪問介護事業所	平成 10. 4. 1		
	堺市美原区平尾 595 番 1 号	十次 10. 4. 1		
 居宅介護事業	春日丘荘ヘルパーステーション	平成 10. 7. 13		
位	茨木市南春日丘七丁目 11番 22号	+ 1%, 10. 1. 13		
(主及奶闷力暖ず未合/	四條畷荘訪問介護事業所			
	「ヘルパーステーションほほえみ」	平成 17. 5. 1		
	四條畷市北出町 28番1号			
	白島荘訪問介護事業所「はくしまヘルパー」	₩ 0		
	箕面市白島三丁目 5 番 50 号	平成 25.4.1		
	豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」	ਹੁਜ਼±ੇ17 ⊑ 1		
	豊中市新千里西町二丁目7番2号	平成 17. 5. 1		
	美原荘訪問介護事業所	平成 18. 10. 1		
 移 動 支 援 事 業	堺市美原区平尾 595 番 1 号	十八 10. 10. 1		
	春日丘荘ヘルパーステーション	平成 27. 5.1		
	茨木市南春日丘七丁目 11 番 22 号	十八 21. 5.1		
	箕面市立光明の郷ケアセンター	ਯ ct 10 / 1		
 日 中 一 時 支 援 事 業	箕面市粟生新家三丁目 12番5号	平成 19. 4. 1		
口中一时又饭争未	みずほおおぞら日中一時支援事業所	च् रा के 20 01 (±)		
	豊中市走井三丁目5番35号(*)	平成 28. 8.1 (*)		
1 ※ ユーニュ 古 ※	箕面市立光明の郷ケアセンター	₩ rt 10 4 1		
入 浴 サ ー ビ ス 事 業	箕面市粟生新家三丁目 12 番 5 号	平成 19. 4. 1		
山村江新士位上、为 古李	箕面市立光明の郷ケアセンター	स्ट ार 10		
地域活動支援センター事業	箕面市粟生新家三丁目 12 番 5 号	平成 19. 4. 1		
	OSJ工房 よりそいの丘	₩ # 00 0 1		
ᆂᆇᄴ	東大阪市上六万寺町 13 番 47 号	平成 26. 8.1		
就労継続支援A型事業	みずほおおぞら就労継続支援A型事業所	TT-1-00 0 1		
	豊中市走井三丁目 5 番 35 号	平成 28. 8.1		

	OSJ工房 よりそいの丘	平成 26. 8.1	
│ │就労継続支援B型事業	東大阪市上六万寺町 13 番 47 号		
机分胚视义法口空争录	障がい者支援施設みずほおおぞら	平成 28. 8.1 (*)	
	豊中市走井三丁目5番35号(*)	1750 20. 0.1 (- 7	
	光明の郷相談支援センター「はくしま」	平成 26. 12.1	
	箕面市粟生新家三丁目 12番5号	十八, 20. 12.1	
 特定相談支援事業	みずほおおぞら相談支援事業所ぴすと	平成 28. 8.1 (*)	
付足怕談义该学术	豊中市走井三丁目5番35号(*)	+ 13 , 20. 0.1 (**)	
	OSJ工房 よりそいの丘	平成 28. 4.1	
	東大阪市上六万寺町 13番 47号	十八人 20. 年. 1	
一般相談相談支援事業	みずほおおぞら相談支援事業所ぴすと	平成 28. 8.1 (*)	
双性数性数义拨手来	豊中市走井三丁目5番35号(*)	〒1兆 20. 0.1(本)	
	光明の郷相談支援センター「はくしま」	平成 26. 12.1	
┃ ┃ ┃	箕面市粟生新家三丁目 12番 5号	一块 20. 12.1	
P	みずほおおぞら相談支援事業所ぴすと	平成 28. 8.1 (*)	
	豊中市走井三丁目5番35号(*)	1 190 20. 0.1 (4)	

*みずほおおぞらの生活介護、就労継続支援B型、相談支援事業については、平成27年4月1日より豊中市島江町で運営を開始し、短期入所、日中一時事業については、平成27年4月1日より豊中市稲津町で運営を開始し、みずほおおぞら竣工後に記載の住所へ変更。

③ 医療事業

						事	業		名							所 在 地
	特	別	養	護	老	人	ホ	_	ム	美	原	荘	診	療	所	堺市美原区平尾 595 番 1 号
	特	別	養	護	老	人:	木 -		ム 着	日	丘	莊	診	療	所	茨木市南春日丘七丁目 11 番 22 号
	老	人	. :	ホ	_	ᄉ	匹	1	條	畷	荘	ă		療	所	四條畷市北出町 28 番 1 号
	特	別	養	護	老	人	木	_	ム	光	明	荘	診	療	所	和泉市伏屋町三丁目8番1号
診	特	別	養	護	老	人	木	_	ム	高	槻	荘	診	療	所	高槻市郡家新町 48 番 21 号
診 療 所	白			島		j	茌		ii ii)		療			所	箕面市白島三丁目 5 番 50 号
	診			療		i	所		Ŋ)		た			か	豊中市新千里西町二丁目7番2号
	永	•	寿	康		ځ	ょ		な	か	,	診	¥	·····································	所	豊中市新千里南町三丁目 2番地の 122
	東	大	ß	页 :	養	護	老	人	ホ		. 1	أد	診	療	所	大阪府東大阪市新上小阪 11 番 2 号
	24	7	ず	ı	:	お	お		ぞ	6		診	j	寮	所	豊中市走井三丁目 5番 35号

④ 保育事業

				Ī	F	業	4	Ż				所	在	地	事 業 開 始
え	い	じ	ゅ	•	ځ	ょ	な	か	保	育	彚	豊中市新千里阿	有町三丁目	2番地の122	平成 28. 12. 1

⑤ 市町村委託事業

	事	業	ŧ	名			所 在 地	事業開始
							美原第1地域包括支援セン 堺市美原区平尾 595 番1号	ター 平成 24 年 4.1
							四條畷第2地域包括支援セン 四條畷市北出町28番1号	9- 平成 18. 4. 1
地	域	}		包		括	光明荘地域包括支援センタ 和泉市伏屋町三丁目8番1号	— 平成 18. 4. 1
支	援	セ		ン	タ		郡家地域包括支援センター 高槻市郡家新町 48 番 21 号	平成 18. 4. 1
							茨木市地域包括支援センター春日丘 東大阪市新上小阪 11 番 2 号	·
							地域包括支援センター上小阪 阪市新上小阪 11-2	平成 28. 4. 1
老。	人 短	期	入	所	事		東大阪養護老人ホーム 東大阪市新上小阪 11 番 2 号 ※送迎サービス実施	平成 4. 4. 1
							豊中市立永寿園とよなか 豊中市新千里南町三丁目 2 番 13	平成 25. 4. 1
							池田市立敬老会館	平成 21. 4. 1
							堺市立東老人福祉センター	平成 23. 4. 1
老 .	人 福	祉	セ	ン	タ	_	堺市立北老人福祉センター	平成 23. 4. 1
							堺市立美原老人福祉センター 美原総合福祉会館	平成 23. 4. 1
在宅	介護支	援 セ	ンタ	一運	営		特別養護老人ホーム光明荘 和泉市伏屋町三丁目8番1号	平成 6. 10. 1
(C	s w	事	業	含	む		特別養護老人ホーム春日丘荘 茨木市南春日丘七丁目 11 番 22	平成 12. 4. 1

			,					茨木市立南茨木老人デイサービスセ	
								ンター	平成 16. 4. 1
								茨木市東奈良三丁目 16番 14号	
								高槻荘郡家デイサービスセンター	平成 5. 4. 15
								高槻市郡家新町 48 番 21 号	十八 5. 4. 15
						春日丘荘デイサービスセンター	平成 12. 3. 1		
						茨木市南春日丘七丁目 11番 22号	十八 12. 3. 1		
配	食	サ	_	Ľ	ス	事	業	茨木市立南茨木老人デイサービスセ	
								ンター	平成 16. 4. 1
								茨木市東奈良三丁目 16番 14号	
								特別養護老人ホーム四條畷荘	平成 13. 3. 15
								四條畷市北出町 28 番 1 号	一八 13. 3. 15
高	齢	者	世	話	付	住	宅	特別養護老人ホーム美原荘	平成 12. 6. 22
生	活	援	助	員 湯	派 遣	事	業	堺市美原区平尾 595 番 1 号	十八 12. 0. 22

(3) その他の事業

		事	業	ŧ	名			所 在 地	事業開始
社	会	貢	Ī	献	=		業	特別養護老人ホーム 8ヶ所 養護老人ホーム 2ヶ所 軽費老人ホーム 3ヶ所	成 16. 4. 1
						美原荘訪問介護事業所 坪市美原区平尾 595 番 1 号	成 18. 4. 1		
				1				四條畷荘訪問介護事業所 「ヘルパーステーションほほえみ」 平 四條畷市北出町 28番 1号	成 18. 4. 1
福	祉	有 ·	償		送	事	業	光明荘ヘルパーステーション 和泉市伏屋町三丁目8番1号	球 18. 4. 1
T田	ŢIL.	19	頃 	運	还	李		白島荘訪問介護事業所 「はくしまヘルパー」 箕面市白島三丁目 5番 50 号	成 18. 4. 1
								ヘルパーステーション「ふれあい」 東大阪市新上小阪 11 番 2 号	成 18. 6. 1
								豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」 豊中市新千里西町二丁目7番2号	成 26. 4. 1

						軽費老人ホーム河南荘 南河内郡河南町白木 905 番	平成 28. 9. 1
						OSJ 介護員養成スクール美原校	
						堺市美原区平尾 595 番 1 号	平成 25. 4. 1
			OSJ 介護員養成スクール四條畷校	W c# 05 / 1			
						四條畷市北出町 28 番 1 号	平成 25. 4. 1
						OSJ 介護員養成スクール高槻校	平成 25. 4. 1
						高槻市郡家新町 48 番 21 号	1 /20 20 1. 1
o s	J	介護員	養成	: ス	クー	ル ^{OSJ} 介護員養成スクール豊寿校	平成 25. 4. 1
						豊中市新千里西町二丁目7番2号	1-1次, 20. 寸. 1
		OSJ 介護員養成スクール光明校	平成 27. 4. 1				
						和泉市伏屋町三丁目8番1号	一
						OSJ 介護員養成スクール本校 箕面市白島三丁目 5 番 50 号	平成 27. 4. 1
							T-107 4 4
多	世	代 交	流・セ	・ン	タ	茨木市南春日丘五丁目1番8号	平成 27. 4. 1
25	Ìπ	IV X	<i>I</i> II. T	.)	ブ		平成 27. 4. 1
						茨木市東奈良三丁目 16番 14号	十八, 21. 4. 1
						原田介護予防センター	平成 28. 4. 1
介	護	予防	セ	ン	タ	豊中市原田元町3丁目13番1号	十八八 20. 4. 1
``ا	哎	1. IA3	Ľ	7	<i>></i>	服部介護予防センター	平成 28. 4. 1
						豊中市服部本町5丁目2番8号	一次 20. 4. 1

Ⅱ 平成28年度事業執行概要

平成28年度事業執行概要

平成28年度は中長期経営計画後期実施計画の実施1年目となり、「介護、生活支援サービスの充実」、「専門性の高いケアの提供」、「経営基盤の安定に向けた取り組みの推進」、「人材育成のための環境整備」、「地域福祉の推進」の5つの基本方針に定められた多くの実施計画に着手するとともに、社会福祉法等の一部改正を受け経営組織のガバナンス強化のための評議員会、理事会を含めた組織体制の見直しに向けた準備と会計監査人の導入準備、地域における公益的な取り組みの推進など、これからの当法人のあり方や方向性について深く検討を進めた1年となりました。特に地域における公益的な取り組みについては、既存の制度等だけでは十分に満たすことができない福祉ニーズに対応するため、高齢者等が集える場所の提供だけでなく、その活動拠点を中心とした要援護者情報の把握や課題解決に向けた実践を行うとともに、対外的にその内容を発表することで、当法人の積極的な姿勢を示すことができました。

新規事業については、平成27年度から準備を進めてきた東大阪市における地域包括支援センター、豊中市における2か所の介護予防センターの運営を開始しました。また、建設工事を進めてきた、みずほおおぞらについては無事竣工し、障がい者と高齢者へのサービスを順次開始することができました。

一方で、介護予防訪問介護事業及び介護予防通所介護事業については、平成29年度までに順次介護予防・日常生活支援総合事業へ移行することとなっていたことから、各市町村の動向ついて情報を収集しながら、その準備を進めました。また、介護予防・日常生活支援総合事業の担い手を養成するための講座の実施については、民間事業者に委託する市町村もありその入札に積極的に参加し受託することができました。さらに、平成29年度に向けての新たな取り組みとしては、豊中市内の4カ所の老人福祉センターにおける介護予防センターへの移行に伴う運営事業者の公募、みずほおおぞらに隣接する豊中市立みのり園の運営事業者の公募等があり、豊中市における今後の事業展開等を含めて検討を行なったうえで応募し、選定を受けることができました。

これら新たな取り組みと既存の事業の安定的な運営については、人材の確保と定着が必要不可欠であることから、子育てしながらでも働きやすい職場環境作りを実現するため、 永寿園とよなかにおいて国が新たに制度化した企業主導型保育事業の運営を開始するとと もに、非常勤職員も育児休業が取得できるよう、対象職員枠を広げるための規則改正を行いました。 Ⅲ 中長期経営計画

Ⅲ 中長期経営計画

1. 進捗状況の確認について

平成28年度に取り組んだ実施計画は合計109項目となり、その項目ごとに進捗状況の自己点検を行いました。その結果については以下のとおりです。

(1) 平成28年度進捗状況一覧

	A	В	С	D	合計
介護・生活支援サービスの充実	1 4	8	1	3	2 6
専門性の高いケアの提供	1 1	8	2	1	2 2
経営基盤の安定に向けた取り組みの推進	1 7	1 0	1	5	3 3
人材育成のための環境整備	1 1	1	5	0	1 7
地域福祉の推進	6	3	2	0	1 1
合計	5 9	3 0	1 1	9	109

(A:計画どおり進んでいる B:概ね計画どおり進んでいる C:やや遅れている D:遅れている)

2. 平成28年度における中長期経営計画の進捗状況について

平成28年度の実施計画の進捗状況については、Aの「計画どおり進んでいる」Bの「概ね計画どおり進んでいる」の割合が約81.6%となり、平成28年度の計画は概ね順調に進捗した結果となりました。これらの取り組みについては、本報告書の「IV.管理」の部分で具体的に示しております。ここでは、Dの「遅れている」と評価した主な項目について、以下のとおり報告いたします。

「介護、生活支援サービスの充実」では、チームケア力を向上させるための取り組みとして、新たな介護職員のキャリアパスとして位置付けられた認定介護福祉士の確保を計画的に行う予定でしたが、当該制度については、国による認定介護福祉士制度が進まなかったことから、今後の動向を見極め計画の見直しも含めて検討していきます。

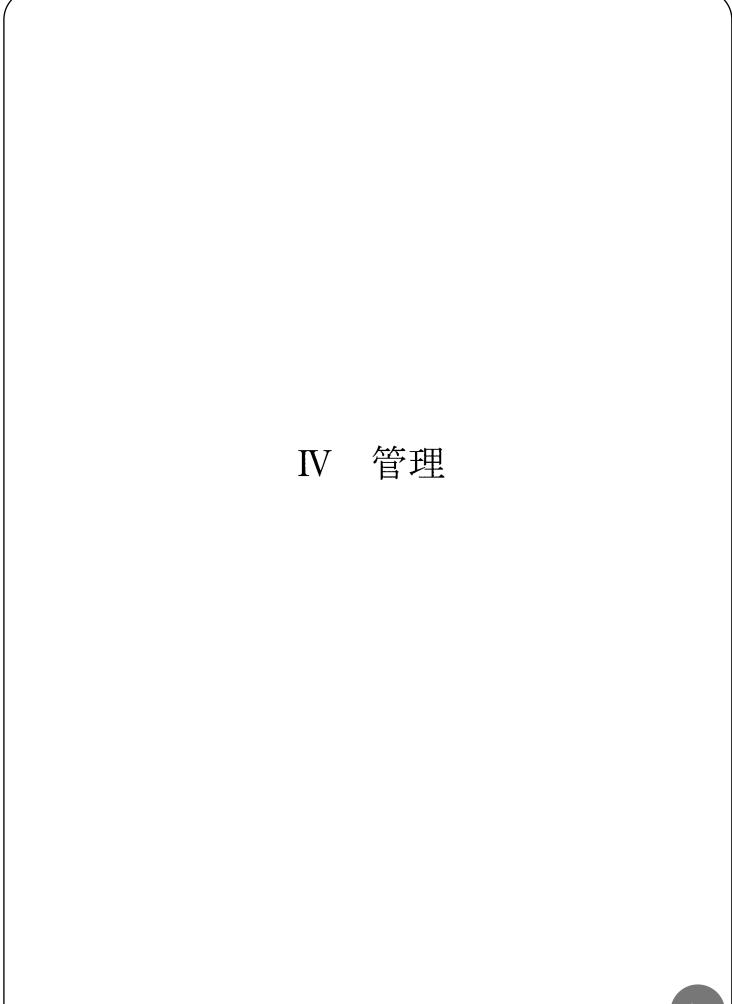
また、各種マニュアルで求められる基準と職能要件で求められる基準の一本化を図るため、今年度は、マニュアルで求められる基準を明確にし、各種マニュアルをより実用的なものに見直す予定となっていましたが、全てのマニュアルについて十分な見直しを終えることができませんでした。

「専門性の高いケアの提供」では、地域における認知症ケアの充実を図るため、認知症対応型事業 所等において、相談支援が実施できる体制整備を進める計画としていましたが、日々の相談の受け付 けや地域行事等に出向いての相談等には応じてはいたものの、事業所ごとに改めての相談窓口を設置 するまでには至りませんでした。

「経営基盤の安定に向けた取り組みの推進」では、法人の魅力を PR する機能の強化の取り組みとして、各施設を含めた法人全体のホームページの全面見直しを図る予定となっていましたが、その方向性についての検討を進める中で、各施設が様々な委託業者や制作方法でホームページを作成していたことから、業者選定を一年間で完了させることは困難であるとの判断になり、平成29年度への継続検討項目となりました。

また、あらゆるリスクに備えた体制整備については、リスク発生時の対応訓練を行う計画となっていましたが、そのためには、リスク発生時の指針となるリスク事例集を作成したうえで訓練を行わなければ、効果的な結果が得られないことが想定されたことから、平成28年度はその事例集の作成を行うこととしました。

これら、進捗できなかった項目については、平成29年度以降に再度取り組みを進め、着実に中長期経営計画が達成できるよう進捗管理を行います。



1. 建物・設備管理

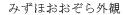
(1)敷地及び建物状況一覧

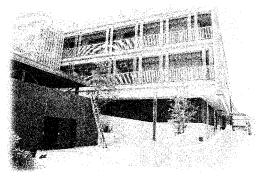
名 称	敷地面積(m²)	建物面積(㎡)	構造
特 別 養 護 老 人 ホ 一 ム 美 原 荘	8, 595. 58	5, 474. 93	R.C 3階建(一部鉄骨)
特別養護老人ホーム美原荘 「 す ご う の 郷 」 美 原 荘 グ ル ー プ ホ ー ム 「 す ご う の 郷 」	2, 055. 00	2, 796. 25	木造耐火 3 階建
特 別 養 護 老 人 ホ 一 ム 春 日 丘 荘		4, 109. 77	R.C 2階建(一部平屋建)
春日丘荘グループホーム	10, 368. 95	337. 12	R. C 2 階建
特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」		2, 455. 66	R. C 3 階建
特 別 養 護 老 人 ホ 一 ム 四 條 畷 荘	5, 569. 30	8, 660. 22	R. C 4 階建
特 別 養 護 老 人 ホ 一 ム 光 明 荘	8, 507. 31	5, 300. 91	R.C 平屋建 (一部 2·3 階建)
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 高 槻 荘		3, 937. 03	R.C 2階建(一部平屋建)
高槻荘グループホーム「ゆらら」小規模多機能センター高槻荘「ゆらら」	6, 420. 80	1, 170. 36	木造耐火 3 階建
高槻荘郡家デイサービスセンター	780. 02	483. 28	R. C 2 階建
特 別 養 護 老 人 ホ 一 ム 白 島 荘	4, 371. 25	3, 196. 91	R.C 3 階建 (一部 2 階建)
白島荘グループホーム「華の家」		249. 81	R. C 2 階建
東大阪養護老人ホーム	3, 279. 00	6, 424. 29	R.C 5 階建
0SJ 工房 よりそいの丘	11, 552. 92	3, 131. 96	R.C 2階建(一部平屋建)
軽費老人ホーム(ケアハウス) 豊 寿 荘	5, 034. 78	8, 056. 02	R.C 4階建(一部鉄骨)
豊中市立養護老人ホーム 永 寿 園 と よ な か	2, 354. 82	5, 104. 15	R.C 地下 1 階、地上 4 階建
特別養護老人ホーム永寿園とよなか			R.C 地下 1 階、地上 4 階建
軽費老人ホーム(ケアハウス) 和 風 荘	4, 765. 58	3, 338. 85	R.C 地下 1 階、地上 4 階建
軽費老人ホーム万寿荘	3, 303. 42	1, 639. 07	R.C 2 階建 (一部 3 階建)
軽費老人ホーム河南荘	6, 155. 60	3, 066. 06	R.C 2 階建 (一部 3 階建)
茨 木 市 南 茨 木 多 世 代 交 流 セ ン タ ー 茨木市立南茨木老人デイサービスセンター	2, 320. 87	1742. 8	R. C 2 階建

	·····	1	
茨 木 市 沢 池 多 世 代 交 流 セ ン タ ー 茨木市立沢池老人デイサービスセンター	3193. 62	1619. 57	R. C 2 階建
池田市立敬老会館	8, 062. 00	1, 731. 00	R. C 2 階建
箕面市立光明の郷ケアセンター	936. 01	418. 99	R.C 3階建(2階部分は一部)
堺市立北老人福祉センター	4, 202. 00	1, 368. 65	R.C 地下 1 階地上 2 階建
堺市立東老人福祉センター	東区区役所の一部	1, 086. 78	R.C 地下1階地上4階建ての1階及び2階の各一部
堺 市 立 美 原 総 合 福 祉 会 館 美 原 老 人 福 祉 セ ン タ ー	5, 156. 55	2505. 82	R.C 地下 1 階地上 2 階建
原田介護予防センター	3, 126. 60	1, 383. 00	R.C 4階建のうち1階部分
服部介護予防センター	2, 282. 39	1, 390. 00	R. C 2 階建
みずほおおぞら	3, 344. 96	4, 087. 86	S 4階建

(2) 施設整備等工事状況

豊中市において平成27年10月に着工した、障がい者と高齢者へのサービスを一体的に提供するみずほおおぞらの施設整備工事については、計画どおりに工事が進捗し7月に竣工することができました。また、みのり園については平成29年度からの事業開始に向け内外装及び設備の改修工事を実施しました。さらには、平成27年度から具体



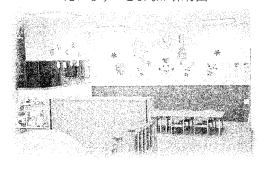


的な検討を開始していた高槻荘大規模改修工事については、地域医療介護総合確保基金の ユニット化改修にかかる補助金を活用し、高槻市との協議を行いながら基本構想を完成さ せるとともに、その基本構想をもとに、詳細な設計図に仕上げて行くための設計業者を決 定し、基本設計作成に着手することができました。

(3) 新規事業への取り組み

東大阪市で平成27年度の公募において選定を受けた地域包括支援センターについては、十分な準備を行いスムーズにその運営を開始することができました。また、豊中市においては、平成27年度から準備を進めていた介護予防センターについて、高齢者の介護予防に資する取り組みとしての「とよなか健康大学」及び通所介護事業の運営を開始する

えいじゅ・とよなか保育園



とともに、平成27年度より建設中であったみずほおおぞらについても、平成28年8月から障がい者サービス、9月から高齢者サービスの事業をそれぞれ開始することができました。

永寿園とよなかにおいては、不足する介護 人材の確保、働きやすい職場環境作りに繋げ られるよう、国の政策である企業主導型保育

事業による「えいじゅ・とよなか保育園」を12月に開園し、当法人において初めてとなる保育事業の運営を開始しました。

平成29年度に向けての取り組みとして、豊中市においては、4つの老人福祉センターについて介護予防センターへの再編に向けた公募があり、当法人は今後の豊中市内における元気高齢者が活躍できる地域づくりを目的として応募し、その選定を受けることができました。また、みずほおおぞらに隣接した生活介護事業所の豊中市立みのり園についても、民間事業者による運営について公募があり、みずほおおぞらとの一体的な運営による、様々な障がい者ニーズに応えられる体制づくりのために応募し、選定を受けることができました。さらには、シルバーハウジング生活援助員派遣事業についても、入札による事業者の選定が行われることとなり、当法人は、原田介護予防センター及び服部介護予防センターの近隣にあるシルバーハウジングについて、それぞれの介護予防センターとの連携に

よる介護予防のさらなる推進、安定的な介護保険事業の運営を目指して入札に参加し、委 託を受けることができました。

2. 事業管理

- (1) 介護、生活支援サービスの充実
- ①食事サービスの充実のための取り組み

現在の給食委託業者との契約については平成29年度末に満了する予定となっており、 給食委託業者選定PTにおいて今まで以上に質の高い食事の提供が可能となるよう、多く の給食業者からヒアリングを行い、委託業者の選定方法と仕様書の見直しについて具体的 に検討することができました。

認知症対応型共同生活介護においては、入居者が日常生活の中で主体的に食事作りに関われるよう、食材の調達方法及び調理方法を見直すことができました。

②介護予防の積極的な推進

平成27年度の公募により選定を受けた、豊中市の原田介護予防センター、服部介護予防センターにおいて、高齢者の介護予防に資する取り組みとして身体機能の向上、交流の機会の提供、活躍の場の提供、生きがい作り役割作りを柱とした「とよなか健康大学」を

開校し、約5か月間の介護予防に資するプログラムの提供をはじめ、卒業生のボランティア活動への参加や、シルバーハウジング生活援助員としての雇用へ繋げるなど、高齢者の活躍の場も少しずつ提供することができました。

また、地域の高齢者の介護予防を推進するための 取り組みとして、各施設の近隣地域において高齢者 の集まる場所で出張介護予防講座等を積極的に開 催し、介護予防に関する知識の普及等に繋げました。



とよなか健康大学入学式

③障がい福祉サービスの推進

豊中市においては、地域生活支援拠点として障がい者の重度化や高齢化、そして、親亡き後も見据えて、障がい者が地域で安心して生活できるよう長期的な視点に立ち支援を行う、みずほおおぞらの事業を開始するとともに、みずほおおぞらに隣接する豊中市立みのり園についても、平成29年度から運営事業者として選定を受け事業開始に向け準備を進めました。

また、箕面市の光明の郷ケアセンターにおいては、今まで以上に多様な障がい者ニーズ に応えられる体制を構築するため、長年地域活動支援センター等の運営により培ってきた ノウハウを活かしながら、生活介護事業の運営を開始しました。

④虐待防止の為の取り組み

平成28年度は、全国的に高齢者施設や障がい者施設等における虐待事例が報道され、 その度に各施設における虐待防止委員会でその事例検討を行ってきましたが、当法人においても介護技術が未熟な事による不適切なケアが見られました。

そのため、再発防止に向けて、全ての職員が事例を共有できる人権研修を開催するとと もに、全施設の管理者を対象に外部講師を招き、職員の人権意識の向上や虐待のない施設 作りに向け、管理者は何をすべきかについての講義や実践演習を行いました。

また、虐待防止マニュアルについては職員の気付きが高められるようチェックリストの見直しを実施し、発生時の早期対応から連絡手順等をより明確にし、実用的なものに見直しました。さらには、各施設の職員が支援を行う中で気づいた不適切なケアに繋がる可能性のある関わりについて、その事例を積み上げ共有することで、虐待を未然に防ぐための体制づくりを進めました。

(2) 専門性の高いケアの提供

①認知症ケアの推進

認知症ケアを充実させるための体制を整備するために、認知症介護実践者研修及びリーダー研修の積極的な受講を行うとともに、平成27年度に引き続き、高槻荘、美原荘においては、大阪大学と連携した認知症高齢者への対応について個別の事例検討会を開催し、専門的な見地からのアドバイスを頂きながら、認知症ケアの質の向上のための取り組みを進めました。

また、各施設においては認知症サポーター養成講座の積極的な開催やキャラバンメイトの養成を進めるとともに、サポーターの組織化に向けて過去に受講したサポーターへのフォローアップ講座を開催し、これらをきっかけとして、平成29年度からの認知症カフェの開催に向けての計画を立てることができるなど、地域における認知症ケアの拠点づくりの取り組みも進めることができました。

②医療的ケア等の充実ための取り組み

特別養護老人ホームにおける医療的ケアの提供体制を整備するため、介護職員による50時間のたん吸引研修の受講を進めることができました。看取りケアについては平成27年度に引き続き積極的に取り組みを進め、各施設の看護職員が中心となり、看取りケアの充実を図るための研修会の開催や入居者と家族が求める最期に対して、どの様に職員が関わるのか等についての看取りケアマニュアルの再作成に着手しました。

③医療的サービスへの参画に向けての準備

高齢者の在宅生活を維持していくための一貫したサービス提供体制作りのため、医療的サービスへの参入の必要性はますます高まっていることから、訪問看護事業の開設に向けて公的な機関による収支実態調査等の報告書をもとに情報収集を開始しました。その中で、看護職員の確保、診療所との密接な関係作りへの課題が上がっており、職員確保対策の検討と、当法人が運営している診療所への機能強化に取り組んでいくこととしました。

(3)経営基盤の安定に向けた取り組みの推進

①経費削減への取り組み

新たな経費削減の手段として新電力導入の検討を行いましたが、供給体制について不安が残ることから、安定供給とコストの削減の両立が可能な業者を探すための検討を進めることとしました。また、四條畷荘においては、目標の電力を時間単位で設定できる新たな電気デマンド監視システムを導入し、平成29年度早々にその導入効果を検証することとしました。さらに、スケールメリットを生かした他法人との共同購入を進め、紙おむつ等複数の契約について共通の仕様書を作成し、一括での入札を実施することができました。

②中長期的な視野を持った資金管理の徹底

平成30年度の介護報酬改定による減収予測や平成31年度から予定されている消費税増税による支出増の予測、そして、法人の施設保全計画の予定を踏まえた収支シミュレーションを実施し、各年度に必要となる積立額を勘案した予算を作成しました。しかし、施設保全計画のより具体的な内容を含めた計画の更新、職員定数に基づく人件費の推移等、資金管理の重要な要素となるこれらの内容の見直しについては、平成29年度への課題となりました。

③社会福祉法等の一部改正にもとづく取り組み

平成29年度に向けて会計監査人の候補者を選定し、その候補者による会計監査予備調査を受審するとともに、その指摘事項の改善を行いました。併せて、法人内部監査チェックリストを更新し、それをもとに内部監査を実施するとともに、改善報告においては、より具体的な改善報告書の作成を求めることで、指摘事項が確実に改善できるよう見直しを行うなど、会計規律の確立に向けた取り組みを行いました。

定款変更や関係規則の改正、評議員及び理事の定数見直し等については、厚生労働省から示されたスケジュールに基づき、評議員選任・解任委員会にて平成 29 年度からの評議員の選任を行いました。

④事務の集中化と担当職員の育成

平成28年度より3施設8拠点区分の経理事務の集中化を試行的に実施しましたが、実際の運用の中で、より効率的な事務処理を行うための課題も明らかになりました。経理担当職員の育成については、新たに施設に配属となった職員の育成を中心に会計基礎研修を実施するとともに、予算、決算などについての具体的な処理方法等については、その時期を迎える前に個別で研修を行いました。

⑤内部監査体制とリスクマネジメント体制の強化

事業規模の拡大に伴い、法人内のコンプライアンス体制を一層強化する必要性が高まっており、法人の内部監査をこれまでよりも多くの人員で実施するとともに、期間を延長し、

詳細な項目について監査できるよう体制を整備しました。また、事業運営におけるサービスや労務管理等のさまざまなリスクに対応するための手引きとなり得るよう、法人内で実際に発生した事故、苦情、感染症、労務トラブル等の事例をもとにしたリスク事例集の作成に着手しました。

⑥人材確保のための取り組みの推進

人材確保のための取り組みとして、退職した 職員に再就労の場を提供し、その職員が培った 能力を活かして安心して働ける環境の整備に向 け、ジョブリターン制度を制定しました。

また、北摂ブロックにおいて、施設の見学だけでなく現場で働く職員の声を聞く機会を作り、 求職者等に当法人の魅力を伝えるためのバスツアーを開催しました。結果、27名の参加があ 施設見学バスツアーの様子



り、その中から3名の方が採用試験を受験されました。

あわせて、平成 27 年度に引き続き、ハローワークと密接に連携するとともに、ハローワークで開催された介護体験セミナーにおいて、介護技術を体験してもらえる機会を提供することで、介護経験が全くない求職者に介護の楽しさと奥深さを知ってもらえる取り組



絵本の読み聞かせ会の様子

みを行いました。

さらに、次世代の人材確保のための取り組みとして、「大阪府介護人材育成確保支援事業」の補助金を受け、介護に関する絵本を作成し、子どもやその保護者に対して、介護の仕事についての理解を進めるため小学校等での読み聞かせや介護体験イベントを実施しました。

⑦人材定着のための取り組み

職員がより安心して働き続けることができる職場環境を構築するため、育児のための短時間勤務については、養育する子どもが 3 歳になるまで取得可能であったものを、小学校就学まで取得できるようにその期間を拡大しました。また、育児休業については、全職員を対象に子どもが最大 3 歳になるまで取得できるよう規則を改正するとともに、介護休業については通算 1 年間まで取得可能としました。

さらには、互助会への入会対象を非常勤職員にも拡大したことで、より多くの職員が互助会のイベントに参加することができ、職員同士の交流やリフレッシュに繋がり好評を得ました。

また、平成28年度のOSJ ぷらざでは合計385人の参加があり、各施設の取り組みの発表や職員表彰、懇親会による職員同士の交流だけでなく、当法人の魅力を深く知ってもらうため、学校関係者や学生にも参加していただきました。

⑧法人の魅力を発信するための取り組み

職員採用や新規事業の運営、地域住民を対象とした活動の実施状況など、当法人の取り組み内容のPRを進めるためSNSの活用を検討し、公式フェイスブックページの運用方針を定め、平成28年11月よりその運用を開始しました。

また、子育てしながらでも働きやすい職場として認定を受け、その PR を行うことで人 材確保に繋げられるよう、次世代育成支援対策推進法にもとづき、子育てサポート企業と して認定される「くるみんマーク」の取得について、平成 29 年度早々に取得できるよう 行動計画を策定し提出しました。

⑨介護職員等の負担軽減に向けての取り組み

特別養護老人ホームにおいては、介護職員の移乗 介助や転倒防止のための見守りなど、介護職員の日 常業務における負担を軽減するため、各市町村から の地域介護・福祉空間整備等事業費補助金を活用し て介護ロボットを導入し、今まで介護者への身体的 負担が大きかった移乗介助が負担無く行えるように なる等の効果を得ることができました。また、個別 浴槽にて入浴介助を行う際、介護職員が利用者を抱



介護ロボットの活用

えることなく、安全に入浴していただけるリフト付きシャワーキャリーを導入し、入浴介助時の介護負担軽減に取り組みました。

さらには、大阪府の中小企業支援室によるロボット関連技術支援研究会において、介護 現場からの情報提供の打診があり、当法人の施設からそれら意見を集約したものを提供す るなど協力を行いました。

(4) 人材育成のための環境整備

①中核を担う職員の育成等の取り組み

平成27年度に引き続き、将来の法人運営の中核を担う職員を育成するため、OSJ 経営塾、リーダー養成自己啓発研修を開催するとともに、新たな取り組みとして、施設で発生する様々な経営課題に対して、トップマネジメントとしての役割を担える力量を向上させるため、年間8回の施設長勉強会を開催しました。また、平成27年度に引き続き、大阪府障害者福祉事業団との職員交換研修を実施するとともに、地域包括ケアシステムの理解を深めるため、長野県にある社会福祉法人恵仁福祉協会が運営する「アザレアンさなだ」を訪問し、施設機能を拠点とした地域作りの取り組みについて学ぶことができました。

②新規採用職員への研修体制の強化

平成28年度は、各施設に人材育成担当職員を配置したことにより、新規採用職員への 「採用前・採用時基礎研修」等の確実な実施が可能となり、初めての業務でも基礎知識を 身につけてから現場に入ってもらう体制としました。また、採用後も複数回のフォローアップ研修を実施し、新規採用職員が職場で感じている戸惑いや介護技術等に関する不安等について軽減することができました。

③外部研修の積極的な受託

介護予防・日常生活支援総合事業における緩和型サービスの担い手を養成するため生活 支援サービス従事者養成研修については、委託事業として各市町村による入札や公募によ る事業者の選定があり、くすのき広域連合、豊中市、箕面市でその事業を受託することが できました。

また、堺市より受託している堺市認知症介護実践研修等開催業務については、研修体系が見直され堺市認知症介護基礎研修を新たに追加することとなりました。さらには、平成28年度は、新たに大阪府より介護福祉士実務者研修の養成校指定を受けることができ、平成29年度からの事業実施に向けての準備を行いました。

④地域への研修機能の還元

OSJ研修・研究センターにおいて、介護に興味のある方や介護業務にブランクのある 方を対象に介護ミニ講座を複数回に渡って実施し、年間を通して26名の方の参加があり ました。また、研修・研究センターで実施している介護福祉士や介護支援専門員の受験対 策セミナー、苦情対応研修等を他法人にも公開することで、地域における介護従事者等の 知識・技術向上にも取り組みました。

(5) 地域福祉の推進

①地域公益事業の推進

既存制度では解決できない地域課題やニーズについて、その解決に向けての役割を果たしていけるよう、平成27年度に制定した地域公益事業実施要綱をもとに、各施設において地域ニーズに合わせた取り組みを進めることができました。

特に、四條畷荘では、独居高齢者が多く生活されている地域において、空き店舗を借り上げ、地域の 高齢者が集える場を提供するだけでなく、生活課題 豊寿荘あいあい食堂での介護予防体操の様子



を有する住民の方に対しての直接的な支援、地域住民による見守り体制を構築するなどの取り組みを進めるとともに、その内容について対外的に発表を行うこともできました。また、豊寿荘においても同じく空き店舗を借り上げ、低価格の食事の提供をとおして、地域住民同士の交流が図られるとともに、介護予防への取り組みの拠点としての役割を担うことができ、ボランティアの組織化も芽生えるなど、今後の活動の基盤づくりが行えました。

②総合防災訓練の実施

平成 28 年度の総合防災訓練は、人的フォロー体制の強化と水害土砂災害への対応に主眼を置き、災害発生時の判断や対応についてより実践的に訓練できる内容としました。各施設の想定被害状況を訓練開始と同時に職員に伝えることで、災害発生時の混乱の程度・職員の現実的な行動・避難に要する時間・緊張感などを確認することができました。

また、当法人と大阪府障害者福祉事業団との間で被害想定にもとづき、不足物資及び職員派遣についての協力訓練を行うなど、より具体的な訓練を行うことができました。一方で、職員参集訓練では、徒歩での移動になったことから多くの時間を要し予定より職員が参集できなかったことや、通信手段の確保として、携帯電話会社の協力を得て衛星電話を試行的に使用したものの、天候や障害物の影響を受け電波状況が悪く通信できない状況となってしまうなど、災害時の通信手段の確立についての課題が残りました。

③災害派遣等への取り組み

平成28年4月の熊本地震の発生を受け、5月には義援金の寄付を行うとともに、6月からは被害を受けた特別養護老人ホームと養護老人ホームへ2名の職員を延べ28日間派遣しました。

また、10月に発生した鳥取県中部地震については、平成25年に鳥取県厚生事業団と締結した災害時協定に基づき、発生後速やかに被害状況の確認と物的支援、人的支援の必要性の有無についての確認を行った結果、それらの必要性は無いとのことから、職員からの義援金を募り寄付を行いました。

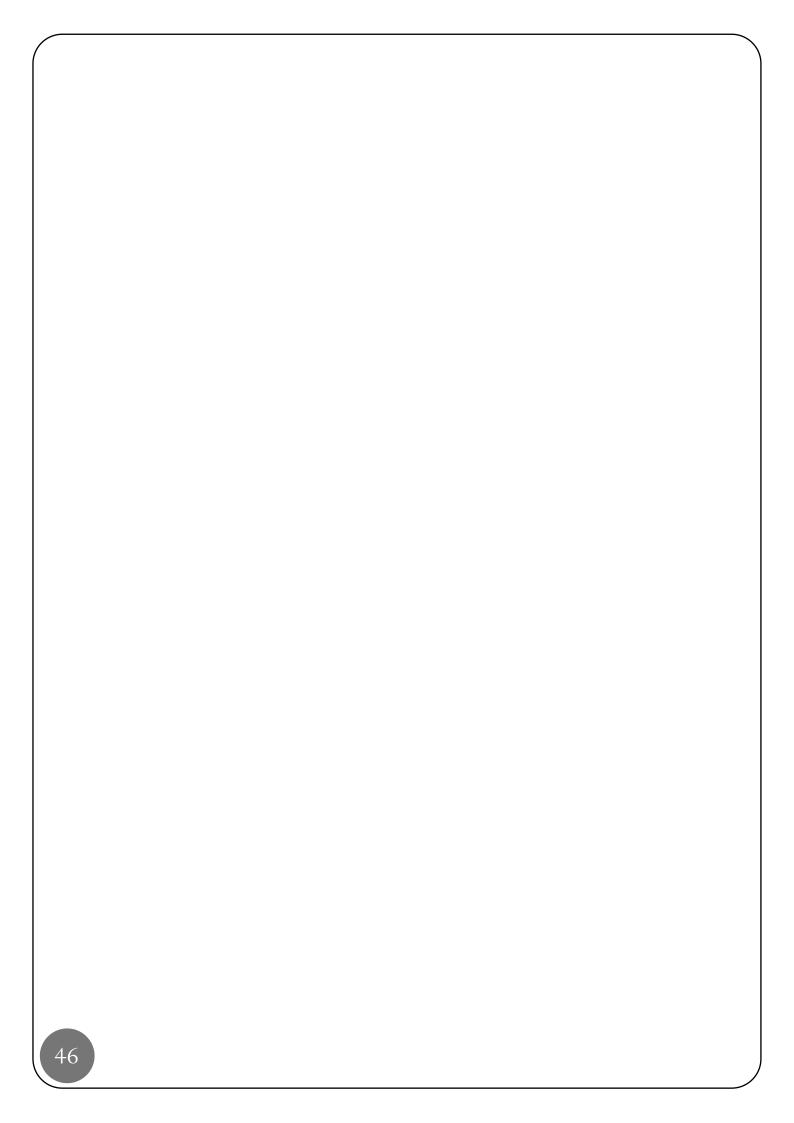
④子どもの居場所作りの取り組み

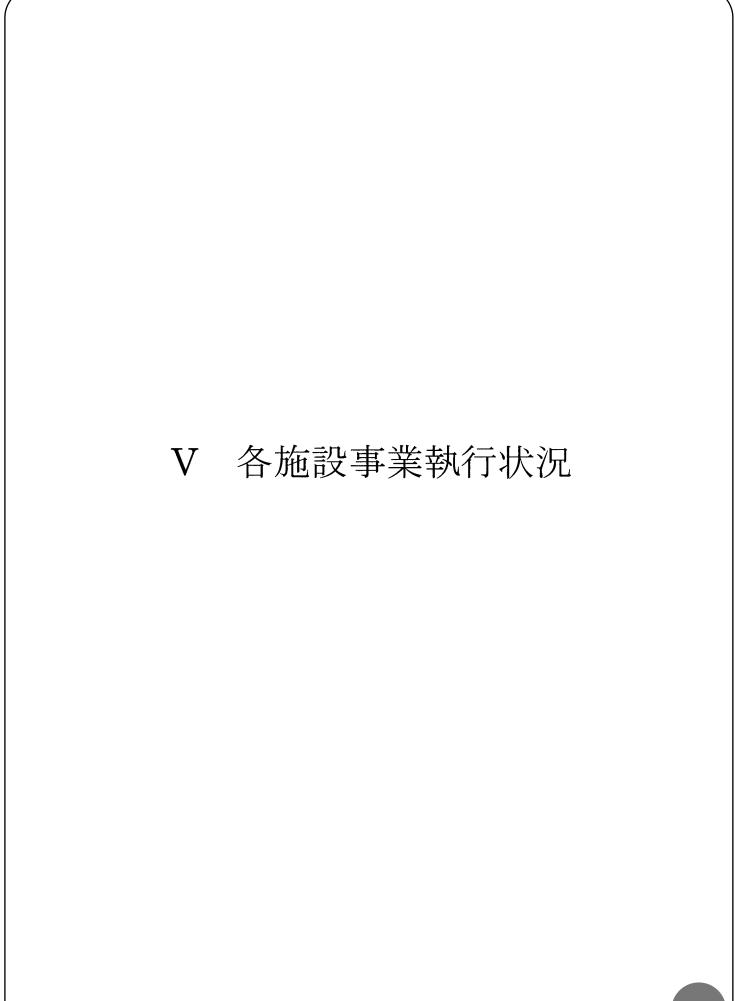
子どもたちの高齢者を敬う気持ちを育むとともに、地域との関係を構築するための取り組みとして、OSJ研修・研究センターのスペースを活用しながら、福祉・介護を知ってもらうための車椅子体験学習や高齢者体験、併設しているグループホームでのプチボランティアを年間通じて5回開催す

子どもわくわく体験の様子



ることができました。また、企画にあたっては学びだけでなく子供たちが楽しみながら参加できるよう、昔遊びや映画鑑賞会、クッキング、お菓子デコレーションなども取り入れました。開催後には、子どもたちからの喜びの声はもちろん、その子どもたちの保護者や開催案内の配布について協力頂いた小学校からも、このような取り組みについて歓迎して頂ける声を頂くことができました。





特別養護老人ホーム美原荘 軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘 特別養護老人ホーム美原荘「すごうの郷」

1. 事業の執行概要

平成29年度より堺市介護予防・日常生活支援総合事業が開始されるため、市の動向を確認しながら参画について検討しましたが、現行相当サービスが当面残されるため、現行相当サービスの提供を継続することとなりました。また、堺市立老人福祉センターの自主事業として、「地域における互助意識の醸成」事業を検討する中で、「りんりん(隣鈴)サポーター養成事業」について堺市の状況を確認し、開催につなげました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) ISO9001・2015規格への移行と職員力量評価の推進(特別養護老人ホーム) 平成28年度は、2008から2015規格への移行認証を最大の目標としました。 4月には、品質管理責任者及び介護科長が規格移行についての研修を受け、内部監査員に対して、伝達研修を行いました。7月には法人内他施設と合同で新規格での内部監査員研修を開催し、3名が修了しました。新規格に対応するため「品質マニュアルの改編」、「内部監査チェックリストの改編」を行いました。2月に維持監査及び規格移行審査を受審し、新規格での認証を受けることができました。

職員力量評価については、相談科と看護科の力量評価項目について見直し、評価を実施しました。

(2) 認知症介護への理解を深め、認知症ケアの充実につながる取り組みについて (ケアハウス)

学習療法については、担当職員の質を高めるため、月次検討会の目的を明確にし、学習支援者となる職員が学習療法の目的を再認識したことで、効果をより期待できる結果となりました。また、職員が学習療法チームとして入居者に対する新たな気づきを共有することができ、学習療法が個別ケアの一助となってきました。脳活性化プログラムでは、回を増すごとに参加入居者が他者と会話する等、一人ひとりが刺激を受けている場面が増えてきました。

認知症介護の学びを深めるため、認知症介護実践者研修修了者が講師となって5回の研修を実施し、個別の認知症ケアを実践できるよう努めました。また、新たに脳内血流を良くする有酸素運動プログラムに取り組むことができるよう、外部講師を招いての介護予防研修を実施しました。

(3) 地域における互助意識の醸成への取り組み(堺市立老人福祉センター)

堺市及び地域の状況を踏まえて、「りんりん(隣鈴)サポーター」の役割や講座の内容について検討し、身の回りの要援護高齢者等を、その状況により民生委員児童委員や地域包括支援センターへつなぐ、もしくはアドバイスできる方を養成することとしました。6月には、堺市で実施している「さかいお節介士講座」を老人福祉センター統括職員が受講し、講座内容を参考とし、美原第1地域包括支援センターの協力のもと、3月に美原老人福祉センターで「りんりんサポーター養成講座」を開催し、24名の方が受講されました。

認知症サポーター養成講座についても、各地域の地域包括支援センターの協力のもと、北、東、美原の各センターで開催しました。

3. 施設の管理

- (1)建物・設備等の管理について
- ①建物・設備のメンテナンス(修繕など) (特別養護老人ホーム)

給湯ボイラーの燃料に水や汚れが混入し不具合が起こるため、原因把握を目的に 地下貯蔵タンクの清掃を行い、水の混入箇所と考えられる配管を修繕しました。その他 にも設備の老朽化による不具合があり、入居者へのサービス低下につながらない様、 善処しました。

(ケアハウス)

経年劣化による、共用スペースの空気調和機の配管修繕工事、エアコン内洗浄を行いました。また、入居者サービス向上のため脱衣所に温風機を設置し、物干し場に屋根を設置しました。入居者の安全のために、喫煙室の扉を横開きにする工事及び、居室内に手すりの設置を順次実施しました。

(2) 事業管理について

①経営

【美原荘(すごうの郷含む)】

施設サービスにおいては、上半期は入院者が多い上、なかなか新規利用者の確保が追い付かず、利用率が低迷しました。美原荘グループの生活相談員が連携し、医療機関や他事業所へ営業した結果、新規依頼が増加し、利用率を回復させることができました。通所介護事業は上半期、利用中止者が重ったと同時に、新規利用者が確保できずに低迷し、またインフルエンザ感染のため5日間の休止も伴い、利用率の回復には至りませんでした。訪問系事業については、人員確保が難しく供給体制が不十分であったため、サービス提供の増加には至りませんでした。

全体的にサービス実績が低迷したことにより、補正予算では減額補正をする結果となり、支出を極力抑えて、減額の幅を出来る限り小さくする様努めました。

【ケアハウス】

今年度は入居者の入院が増加したことにより、利用率が低下しました。また、入居者へのサービス向上のために工事(喫煙室、エアコン機器の修繕)を実施したため、当初予算を超えた修繕費用を計上することとなりました。

②危機管理

2月下旬にデイサービスにおいて、利用者19名と職員6名がインフルエンザに感染し、5日間営業を休止しました。発症後の対応策について、職員の手洗い・うがい・体調管理の徹底や、利用者の一早い体調変化の把握に努めると同時に、環境面では加湿及び空気清浄の徹底に努めました。

③人員の確保

ハローワークへの定期的な訪問による情報交換、ハローワーク主催の介護施設説明会等への参加や大阪府福祉人材センターへの登録など、できるだけ公共の求人方法を活用すると共に、求める年齢層に応じて折り込みチラシやインターネット、フリーペーパーなど使い分けました。また、間接的な業務や短時間の雇用を受け入れ、人員不足の解消と合理的な雇用に努めました。

(3) 労務管理について

①職員の健康管理

新しい産業医の就任に伴い、労働安全衛生委員会の開催日を変更し、また、美原荘とすごうの郷で従業員数が200名を超えるため、衛生管理者を2名体制としました。

(4) 虐待防止の取り組み

5月と2月に特別養護老人ホームで不適切な介護の事案が判明し、OSJ研修・研究センターの協力のもと、全職員への人権・接遇・介護記録・アンガーマネジメント研修を実施し、管理者の巡回強化、虐待防止の標語の読み合わせ、虐待防止外部委員の巡回、虐待防止にかかるチェックリストの見直しと実施による啓発・予防活動等に取り組みました。

(5) 地域公益事業の取り組み

【取り組み1】生活困窮者就労訓練事業に参画している「みはらカフェ・グリーンデイ」において、対象者に3ヶ月程度就労訓練を実施し、その後デイサービスでの雇用につなげることができました。

【取り組み2】「みはらカフェ・オレンジデイ (堺ぬくもりカフェ)」において、若年性認知症者の活動の場として、受け入れを継続しました。2月より、新たに1名加わっていただき、計2名の方が活動されています。

また、年度当初より、アロマセラピストの方からの希望で、新たなコーナーとして、 月1回「アロマハンドマッサージ」のコーナーを開催することができました。

【取り組み3】和風荘では、入居者の ADL 低下や認知症者への取り組みの一環として、近隣の平尾小学校やみはら大地幼稚園への訪問等に力を入れ、運動会やもちつき等の行事に積極的に参加しました。新しい取り組みでは、平尾小学校の花壇の一部の管理を任せていただき、入居者と一緒にサツマイモの苗植え、収穫までの世話を行いました。地域へのアピール、施設への理解を得るための取り組みでは、隣接する府営住宅の住民に和風通信を配布しました。その効果もあり、和風喫茶や移動スーパー、歌おう会等への参加につなげることができました。

4. 事業・サービスの推進

(1) 特別養護老人ホーム

①グループケアの取り組み

グループケアをより充実・向上させる為、職員一人ひとりの力量を把握し、人材育成担当職員と連携を図り研修体制を強化しました。また、職員目線ではなく、入居者目線での考え方も浸透させてきました。その結果、家族の信頼に繋げることができました。ケアプランについては、24時間シートの活用には至りませんでしたが、居室担当がカンファレンスに参加できるような体制づくりができた事で、ケアプランの重要性の認識とプランニングがより具体的なものに変わりました。

今年度は不適切ケアが2件発生してしまい、人権・接遇研修も全員参加を必須とし、 入居者・職員の人権を守る為の学習を繰り返しました。

他部署との連携については、ISOの規格を活用しつつ、入居されている方にとってどうあるべきなのかという視点で話し合いができました。

②看取りの取り組みの推進

今年度は、看取りの実績はありませんでしたが、取り組みの一つである看取りケアの 充実という点では外部研修に参加することにより、看取りに対する家族の考え方やスタ ッフの考え方、対応等を学ぶことができました。そしてより具体的な内容を盛り込んだ 施設内研修を実施することができ、各部署・スタッフ間の情報共有はもちろんのこと、 入居者本人及び家族にとって最も望ましいケアの形について、意識統一を図ることが出 来ました。

また、現在取り組んでいる感染症予防、口腔ケア等についても会議や研修を通じてケアに対する意識統一や各部署との連携強化(チームケア)に努めることが出来ました。

③ 機能訓練の取り組みについて

今年度は、入居者の褥瘡予防を目的に、ベッドマットや車椅子の把握、ポジショニングやシーティングの見直し、ベッドマットの購入、褥瘡についての研修を実施し、他職種と連携し、褥瘡予防・軽減に努めることができました。

また、外部からの嚥下指導を利用し、誤嚥性肺炎発症のリスク軽減することで誤嚥性 肺炎予防に努めました。入居者や家族の希望に出来る限りそうように努めることができ ました。さらに、移乗の介助量軽減や皮膚剥離防止のため、跳ね上げ式車椅子の活用や スライディングボード

(2) 軽費老人ホーム

①介護事故及び再発防止に向けた取り組みについて

職員にヒヤリハット報告書提出増加を呼びかけるとともに、ヒヤリハット報告書の分析を行い職員に伝達することで、介護事故防止への意識を高めました。再発防止については、事故発生直後における事故現場での検証会議を行い、全職員に周知しました。これらの取り組みの結果、重大事故は昨年度と比べ、4件減少しました。

②食事の提供

郷土料理や季節を感じてもらえる食材や献立を今まで以上に増やしたことや食堂の環境への配慮も合わせて実施したことで食の満足度アップに繋げることができました。

③地域との交流等について

近隣幼稚園との交流、小学校でのサツマイモの苗植え・収穫の手伝いや運動会の見学を行う等の多世代交流のほか、地域行事にも参加しました。

また、定期的なショッピングツアーや外食会の他、恒例となったバスツアーでは、難波にあるホテルにて昼食後、デパートでの買い物を行いました。

(3)地域密着型特別養護老人ホーム

ユニットケア推進委員会を立ち上げ、「すごうの郷のめざすこと」という理念に根差 したユニットケアの推進を図り、入居者へのサービスの向上へつなげました。

また、24時間シートについては、少しずつ整備していっているものの、システム化するところまでは確立していません。ケアプランとの連動という点については、ケアプランチェック表をなくし、24時間シート上でケアプランが確認できるように整備を進めました。

ユニットリーダー会議でケアの方向性を定め、ユニットケア推進委員会で実践していくという流れを確立させるために、ユニットリーダーや委員会メンバーが明確な役割をもち、自分たちが中心となって進めていける体制をつくっていかなければいけないという課題を確認することができました。

(4) 認知症対応型共同生活介護

今年度は、開設2年目ということもあり、近隣スーパーへの日常的な買い物や地域イベントへの参加、菅生地区の夏祭りや309号線の清掃活動などに取り組み、地域の一員としての使命を果たすべく取り組みました。また平尾小学校への運動会見学などの世代間交流にも取り組みました。また、家族と密な連携を図ることで、面会の増加につなげ、信頼関係の構築に努めました。春先には、家族参加のバーベキュー、1周年記念行事では、炊き出しを行う等、共に活動することが出来ました。また、各ユニットの取り組みとして、手作りおやつを入居者と一緒に作ることで、楽しみのある日課作りに努めました。

(5) 短期入所生活介護

①利用促進に向けた取り組みの実施について

美原荘本体とすごうの郷との間で利用ニーズに合わせた情報共有を行い、居室の空き 状況に合わせて連携を図ることができました。また、営業活動を定期的に行い、新しく 10の居宅介護支援事業所から紹介がありましたが、利用率に関しては年間の目標値に 達することができませんでした。

様々なニーズに対応する体制作りについては、特に医療ニーズについて看護職員と連携を図り、透析利用者を受け入れることができました。

(6) 訪問介護

利用者の入院による影響で、年間派遣時間は計画に対して減少となってしまいました。 一方、利用実績が止まっていた喀痰吸引の必要な利用者の受け入れ体制を整え、実績を 上げました。

前年度は新規雇用が無かった登録ヘルパーについて、サービス提供責任者とヘルパー

間との関係作りときめ細やかな対応を意識したことで、今年度3名採用した職員の内、 ヘルパーからの紹介が2名ありました。

研修に関しては個別研修計画書を見直し、サービス提供責任者の積極的な外部研修への参加ができ、伝達研修を随時実施することが出来ました。

(7) 通所介護

今年度は幅を持たせたサービス提供時間の導入等、利用者・家族のニーズに沿った個別ケアの充実に努めました。また、医療との連携を重視し、体調不良等のケースがあれば家族・ケアマネージャー・主治医に働きかけ、早期に適切な診療が受けられるよう支援を行いました。一方で稼働率については、長年利用された方の入所や入院が相次いだ事と、年度末のインフルエンザの発症により、計画未達成となりました。

(8) 居宅介護支援事業

年度当初の管理者・主任ケアマネの異動にも揺らぐこと無く、地域包括支援センターからの困難ケースも積極的に受け入れる事で、着実にケース数を伸ばしました。堺市のケアプラン点検を通して、事業所内のケアマジメント力の向上に努める事でケアプランチェッカーからも高い評価を頂き、事業所内職員の意識向上に繋げることが出来ました。また、特定事業所加算算定要件でもあるケアマネ登録研修を終えた実務研修者の受け入れを行い、主任ケアマネの質の向上にも努めました。そして、堺市が進める日常生活支援総合事業へスムーズに移行出来る体制を整えました。

(9)地域包括支援センター

高齢化率の増加に伴い、地域からの相談件数も増加し、相談内容も多様化しており、 ・虐待ケースなど含め関係機関との連携強化を図ってきました。

活動内容として25地域の「いきいきサロン」に出向き、寸劇を通して消費者被害の 啓発活動を実施、キャラバンメイトの活動として地域住民向けにサポーター養成講座を 実施、地域からの要望でわかりやすい介護保険を寸劇を交えて説明する等、地域の支援者の方々からの相談にも繋がり「顔の見える関係作り」に努めました。

地域ケア会議を通して、関係機関と地域課題の把握を行い、地域づくり・資源開発に取り組む事が出来ました。

(10) 定期巡回·随時対応型訪問介護看護

運営については、法人のリクルーター制度を活用しながら求人活動を行い、職員確保 に努めるも、職員が定着せず慢性的な人員不足を打破する事が出来ませんでした。現在、当サービスの主なニーズは、定期の服薬介助を含む食事時間の派遣が大半を占めています。

今年度は、地道なPR活動による効果として、懸案であった北区の関係事業者への事業推進の成果が実り、北区の新規利用者を獲得出来ました。利用実績としては、北区や東区、美原区の他事業所を含め年平均で18.3名の方々に利用いただきました。

(11) 老人福祉センター

今年度から新たに指定管理者として運営管理事業を、下記の3つの基本方針に基づき 実施してきました。

利用受付業務については、平成28年10月からパソコン導入でのバーコード読み取りによりシステム管理に替わり、より正確かつ円滑な受付対応ができるようになりました。全体として、指定管理事業はもとより、自主事業の充実と新規事業の取り組みとなりました。

基本方針1つ目の『介護予防の推進』については、機能訓練指導員主導のもと看護職員が中心となって、介護予防体操事業「いきいきシニア応援事業」を3センターにて開始しました。東と北のセンターは、月2回開催で1回の定員を5名~6名で行い、美原センターは、毎週開催で開催時間帯を2つに分けて5名ずつ計10名定員で実施され好評でした。東センターは、さらに介護予防事業として男性専科の「3B体操」をクラブ

指導者の協力も得て、定期開催されました。また、東と北の2センターでは、新規事業としての毎日健康づくり応援事業「ウォーキング五十三次」を、センター周辺の環境を生かしたオリジナルコースで1クール5名定員で実施しました。

基本方針2つ目の『積極的な社会参加と生きがいづくりの支援』としての、「3センター交流行事(合同作品展)」事業は、その内容の見直し年度として開催を見送り、29年度開催をすすめることとしました。その他就労支援事業として、今年度北センターで「生活お役立ち情報コーナー」を開設しました。

基本方針3つ目の『地域における互助意識の醸成』については、地域包括支援センター等の協力のもと、今年2月に各センターにて「認知症サポーター養成講座」を開催し、新規事業の「りんりん(隣鈴)サポーターの養成事業」も、3月に美原老人福祉センターにて講座を開催することができました。

美原総合福祉会館内の喫茶コーナーでは、月2回の認知症カフェが定期開催され、好評でした。

特別養護老人ホーム春日丘荘 特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」

1. 事業の執行概要

ISO9001:2008から2015への認証更新が終了し、グループホームの第三者評価更新や「彩の家」の指導監査が無事終了しています。今後も法令遵守やサービスの質の向上への取り組みに努めてまいります。

人材の確保については、従来の求人媒体に加えて、ハローワークでの定期的な説明会や事業所バスツアー、近隣地域へのポスティング、介護ミニ講座の実施等、口コミ等による求人対策を行い、非常勤職員の雇用に一定の成果がありました。職員の育成については、法人主催や施設内外の研修を受講するとともに、介護講座や初任者研修の講師を職員自身が務めることでステップアップへの意識向上にも繋がりました。

経営面においては、施設、在宅サービスともに苦戦を強いられ当初予算の減額補正を行うことになりましたが、一方で小規模多機能居宅介護が利用を伸ばす等次年度へ繋ぐ希望も見えました。課題が多い現状ですがサービスの質向上と関係機関へのPR等に努めてまいります。

2. 平成28年度ステップアップ事業

- (1) 人材育成について
- ①個別ケアチェック表に基づく統一したサービスの提供について

ご入居者の「わたしらしい生活」の実現を目指して、97 項目のエンディングノートである「わたしの一と」をご本人とご家族に記入していただき、24H シートとケアプランの充実を図りました。また、個々のご入居者の 24H シートとケアプランの内容、及びサービスの提供状況が一目で把握できるように個別ケアチェック表を作成しました。この個別ケアチェック表を用いることで、個々のご入居者に応じた統一したサービスを提供できるように努めました。

②継続性のある職員の指導と育成について

その日のリーダーが1日の流れに沿って指導した内容について、できたことや再度指導が必要となる内容を「指導記録表」に記録して、次のリーダーに引き継ぐようにしました。このことで指導の進捗状況を把握することができ、申し送りが具体的になり、指導内容を継続して行うことができました。

また「標準化チェックリスト」を活用し3者面談(新人職員・ユニットリーダー・主担者)を行うことで、常勤、非常勤を問わず継続した指導を行いました。

3. 施設の管理

- (1) 建物・設備等の管理について
- ①建物・設備のメンテナンス (修繕など)

大きな費用のかかる修繕は行わず、経年劣化に伴う小規模な修繕を予算に沿って計画的に行いました。春日丘荘の大規模改修から6年が経過し居室廻りのクロス張替等順次メンテナンスを行いました。また、オープンから5年が経過した彩の家でもトイレや浴室の建具等の修理を行いました。

今後の課題は大規模改修時には対象とならなかった厨房やトイレの修繕等、事業開始から 10年以上経過した春日丘荘デイ・グループホーム等の計画的な修繕も検討していきます。

②建物の衛生管理

○害虫駆除について

樹木の消毒(2回/年)、施設内の害虫駆除(毎月)を実施しています。

○清掃について

受水槽の点検清掃(1回/年)、床洗浄ワックス(1回/年)、窓ガラス清掃(2回/年)を実施しました。

(2) 事業管理について

①経営

○品質マネジメントシステム IS09001 の審査基準更新について

ISO9001 認証の移行に伴い、今年度は ISO9001:2008 から ISO9001:2015 への更新審査を受け認証を取得する事ができました。ISOの要求する PDCA サイクルを具体化させた「目標管理シート」を一部事業所で使用し、計画的な事業執行管理を行うよう努めました。

○課題事業への取り組み

春日丘荘の特養では、待機者減少の影響を受けて一時利用率が低迷しましたが、法人内 他施設や関係機関への協力を依頼する等、ニーズの掘り起こしに努めて利用率は回復しま した。感染症の影響もあり当初予算は達成できませんでしたが、年度末には次年度へ続く 良い兆しは見えてきました。

数年来実績の無かったグループホームデイでは「彩の家」の認知症デイサービスと情報を共有し受入準備を行い、認知症デイのご利用者をお誘いし体験利用を経て実際に利用して頂ける事になりました。

また、小規模多機能居宅介護ではニーズを模索するばかりで行動が伴わず通い中心のサービスで利用者数は足踏み状態でしたが、地域包括支援センターへの PR 等を行い独居高齢者の安否確認や服薬管理等の訪問ケースを紹介して頂くことで利用者数が増加すると共に、多様性のあるサービス提供形態が芽生えてきました。

○事業支出の削減について

厳しい予算達成状況の中、光熱水費の削減に努めました。節水シャワーの導入により水道代を抑制しLEDの全面導入やデマンド管理で電気代を抑え支出削減に努めました。

②危機管理

施設の防災訓練実施に加えて、法人の大規模地震を想定した総合防災訓練に参加して備品やマニュアルの確認を行いました。茨木市全域防災訓練(シェイクアウト訓練)では、茨木市と連携して福祉避難施設の開設訓練を実施しました。今後は、茨木市のBCP策定研修会に参加する等、法人のガイドラインに則って災害対策に努めてまいります。

(3) 労務管理について

①職員の勤務時間管理(所定外労働の抑制)

年度の前半まで所定外労働が多くありましたが、非常勤職員の雇用と配置を推進するとともに、基本に立ち返り、規則に則った労務管理を行い、年度後半には以前と比較し時間外労働は減少しました。

②職員の健康管理

○移乗介護ロボットの導入について

介護職員の身体的な負担を軽減する目的で特養2施設で介護ロボット(サスケ)を購入しました。機能訓練指導員が中心になり介護職員へ研修を実施し安全面に留意して運用していきます。

(4) 虐待防止の取り組み

毎月の虐待防止委員会では施設における虐待や不適切な介護の有無について確認し、行政や新聞記事など最新の虐待に関する情報を提供して意見交換しました。また、年2回の虐待防止チェックを行い、虐待を未然に防ぐ取り組みを行いました。併せて、インターネットで公開されている施設職員向け研修ビデオを活用して虐待防止研修を行いました。

(5) 地域公益事業の取り組み

①「彩ランチ会」の実施について

地域の民生委員・児童委員との意見交換の中で「地域で開催している独居高齢者の食事会に参加したくてもできない人がいる」とのお話があり、春日丘荘主催の地域向けの食事会を開催し、高齢者の集える場所を提供する取り組みを始めました。

8月のプレランチ会では地域の福祉委員から弁当の内容、味、値段等ご意見をもらい参考にさせて頂きました。10月より沢池多世代交流センターの1室を借りて4名の利用者から実施し、希望者には施設による送迎をしました。12月は6名の参加者でクリスマスの飾りつけを行い、2月には骨密度に関する講座を開催しました。参加された方や民生委員・児童委員、福祉委員さんの反応では、彩ランチ会の開催は高評価をもらっています。在宅介護支援センターのCSW、沢池多世代職員、相談員等多くの職員が関わりを持ち、回を重ねる毎にリピーターが増え、口コミの輪が広がっており、29年度は毎月開催の予定です。更なるニーズの掘り起しの為PRに努め、独居高齢者等地域住民が楽しく集える場所づくりを目指します。

②「介護ミニ講座」の実施について

近隣の地域住民を対象に介護ミニ講座を実施しました、介護体験や交流会を行い、介護について少しでも関心を持って頂けるよう努めました。

交流会では在宅介護をされている方から悩みをお聞きして共有することで、「気持ちが少し楽になった」と喜んで頂き、実際に就労に繋がったケースもありました。これらの経験は、3月の介護職員初任者研修実施にも繋がりました。地域のネットワーク拠点を目指して、地域住民の方々へ施設の役割を果たしていけるように今後も取り組んでいきます。

4. 事業・サービスの推進

- (1)特別養護老人ホーム春日丘荘
- ①その人らしい生活を目指して

生活歴や人柄、趣味等入所時のアセスメントに力点を置き、24 時間シートの活用とケアプランの充実に努めました。また、看取りケアについては看取り後にご家族へのアンケートを実施し振り返りミーティングを行ってご家族の想い(グリーフ)を共有する事で、「質の高い看取りケアを目指したい」というモチベーションアップに繋がりました。

また、傾聴ボランティアや書道・編み物・音楽関連など多岐に渡るボランティアの協力 を得てご利用者の生活向上に努めました。

②ノーリフト・機能訓練への取り組みについて

介護職員の腰痛予防・軽減を図るために多職種が連携し、ご利用者の情報を共有して移 乗方法マニュアルを作成しました。ノーリフト運動の一環でスカイリフト研修・SASUKE 研修を行い、積極的に"抱えない介護"の意識づけを図りました。SASUKE(介護ロボット) の導入にあたっては個別研修を積極的に推進しており効果的な活用に努めます。

個別機能訓練では、誤嚥性肺炎予防を予防する為、食事場面に積極的に介入し早期発見に努めました。また、研修会や勉強会を積極的に実施することで、専門職種間での知識の 共有・スキルアップに努めました。介護職員向けのポジショニング研修では、生活の中で 介護職員が取り組める姿勢調整およびその必要性の理解を促進出来ました。随時、車椅子 調整や姿勢調整を行う事を心掛け、ご利用者の機能維持と向上に努めました。

③食事サービスについて

法人内同委託業者施設と委託業者で定期的に会議を開催し、クックチルの安全性、効率性、作業分化性の検討を行いました。

一次加熱後、二次加熱までの温度帯の記録工程を追加(配送時の温度記録に加え、配送 車から搬出時の温度を記録)し、安全確認の強化を行いました。

クックサーブに比べクックチルでは劣る揚げ物料理については、施設にフライヤーを導入し、作業効率を落とさずサテライト調理を実施して利用者満足度を上げました。こうしてセントラルとサテライトでの適切な作業分化を確立しました。

(2) 特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」

①地域交流拠点を目指して

音楽ボランティアや地域の方の手伝い・参加を得て居酒屋を年間6回実施しました。地域保育園児との交流や小学生向け福祉体験も実施し、様々な世代の方に春日丘荘「彩の家」へ来て頂くきっかけづくりを行いました。また、多世代交流センターの行事への参加やボランティアの紹介を受けるなど、関係強化に努めました。今後は居酒屋の毎月開催や多世代交流センター等の関係機関と連携して、地域住民の交流の場となるよう事業展開していきます。

② 看取りケアの充実について

看取りをさせて頂いた後、ご家族の協力を得てアンケートとカンファレンスを実施して、「彩の家」の看取りケアについてご意見をお聞きすることで、今後の支援に活かしていけるように取り組みました。

また、"わたしのーと"と"みとりのしおり"を活用してご入居から看取りまでをサポートしていますが、運用方法を見直してすべての職員が実施できるように取り組みました。

- (3) 通所介護(沢池、南茨木、春日丘荘、春日丘荘「彩の家」、春日丘荘グループホーム) 毎月1回、春日丘荘グループのデイサービスで合同会議を行い、情報交換やご利用者を 漏れなく受け入れる体制作りを進めました。積極的に中重度者の要介護者及び軽度医療ニ ーズ者の受け入れを行いました。
- ①茨木市立沢池老人デイサービスセンター
- ○認知症ケアの充実について

認知症介護実践者研修を受講した職員が職場実習を行うことで認知症の方への対応や理解がスムーズになり、職員の意識向上に繋がりました。

○利用者本位の柔軟なサービス提供について 短時間利用等の柔軟なサービス提供に努めましたが、利用者増に繋がりませんでした。

○利用者サービスの向上について

同じ建物にある多世代交流センターと連携して園児やボランティアとの交流の場を設け、 手作りおやつやそろばん、麻雀、「ふるさとおやつ」等の多様なレクリエーションの充実を 図り、活気のあるデイサービスを目標にして運営しました。年度後半になってようやく利用 数が増加して実を結びつつあります。より一層利用者サービスの向上に努めていきます。

②茨木市立南茨木老人デイサービスセンター

○短時間利用希望者の受け入れについて

以前から積極導入していた効果から「短時間利用ニーズを柔軟に対応するデイサービス」 という認識が広がり利用者増に繋がりました。

○利用者サービスの向上について

利用者サービス向上の為、「個別レク」の推進に努めました。個々のテーブルごとに、手芸やゲーム、麻雀や囲碁のグループを形成し、職員がフォローしながら利用者が主体となって楽しんでもらえるよう努めました。また、入浴については、「バラ風呂」「ひのき風呂」「リンゴ風呂」などを企画してご利用者に喜んでいただきました。それらの取り組みは口コミで広がっており、今後も引き続きご利用者が主体的に喜んでもらえる雰囲気づくりを心掛け、個別性を重視したリハビリプログラム等を実施して活気あるデイサービスを目指します。

③春日丘荘デイサービスセンター

ニーズが高い朝食・夕食サービスの提供や短時間利用等を柔軟に対応し、個別ニーズに応じたサービスの提供に努めました。食事サービスは好評で串物や天ぷら、お寿司等のバイキングが人気を博しました。入浴サービスについては、入浴剤の使用や足浴マッサージ等、快適に入浴していただけるよう工夫をすることで、ご利用者に満足していただけるよう努めました。

職員研修は正規職員のサポートで契約職員やパート職員が中心になり講師を務め、共に学び合う事でスキルアップに努めました。

④デイサービスセンター春日丘荘「彩の家」(認知症対応型通所介護)

認知症ケアの充実につきましては、研修計画に沿って受講し3か月に1度振り返る場を設けることで、職員のスキルアップを図ることができました。また4DASを用いたアセスメントでは、利用者個々の状況をより把握することができ、その人の状態に合わせたプログラムを提供することができています。併せて通所介護計画書の様式を見直し、アセスメントや実施記録をより細かく記載して職員に周知することで、すべての職員が同じ目線で介護を行うことが出来ています。園芸療法やアロマテラピーでは利用者はもちろん職員からも癒されると好評を得ています。

ご家族のレスパイトに関しては、家族交流会を小規模多機能型居宅介護事業所のご家族と合同で行いました。たくさんの方々に参加して頂き、それぞれの事業所の特色を知って頂きながら日頃の苦労話や実際の介護方法などを話し合い、盛況に終わることが出来ました。今後は家族交流会や「彩の家」地域密着型事業合同の運営推進会議を実施して、さらなる家族負担軽減と情報発信に努めます。

⑤春日丘荘グループホームデイサービス(共用型認知症対応型通所介護)

認知症デイサービスの事業再開を目標に取り組んでまいりました。受け入れに当たり、「彩の家」認知症デイサービスの管理者と共に、受け入れに必要な書類や、業務体制等の見直しを行いました。職員の半数がデイサービスの経験がない為、サービスの流れや、利用者情報が確実に共有できるように申し送りの徹底を行いました。平成29年2月に体験デイサービスの実施を行う事ができ、3月より本格的に利用の受け入れを再開しました。今後は課題であるプログラムの充実と、居宅介護支援事業所へのPRを行っていきます。

(4)多世代交流センター

①茨木市沢池多世代交流センター

介護予防の実践を目的とした教室を始め、利用者ニーズを反映した行事開催、地域活動への参加、保育園・小学校等へ広報活動の実施により利用率の向上に努めました。耀き福祉会・ 沢池デイサービスセンターと定期的な交流を図りました。

平成 27 年度に「老人福祉センター」から「多世代交流センター」へ移行した際には、平成 26 年度利用者数の 70%が当面の目標延べ利用者でしたが、平成 28 年度は 89% (高齢者が約8割、18歳以下が約2割)まで回復して目標を達成できました。今後も地域に根差した施設としての役割を推進し、高齢者・子育て世代を支援してまいります。

②茨木市南茨木多世代交流センター

高齢者事業として生活機能の維持又は向上を図る為の介護予防事業に取り組みました。従前から実施している講座に加えて、各種関係機関の講師を招き高齢者に特化した教養講座の実施を行いました。

18 歳未満を対象とした「ふれあい体験学習」では、てづくりクッキング、フラダンス、将棋、そろばん教室を通して高齢者との交流を実施し、夏、冬、春休みの期間を利用しての子どもの居場所づくりに努めました。

10月には南茨木ディと児童発達支援事業「風」と合同で「南茨木合同秋祭り」を初開催することができ、地域に根付いた施設になりつつあります。

今年度は、前年度を大きく上回る利用者の増加となりました。(平成 28 年度は 20,318 人 来館:延べ7,655 人増)

(5)在宅介護支援センター

①春日丘荘在宅介護支援センター

沢池・西・穂積の各小学校区にて「まるごと相談会」への協力・セーフティネット会議の維持管理を行い、他には必要な研修・会議に出席しました。

地区内で上がってくる個別の困難ケースにおいては、積極的なアウトリーチ・関係機関との連携を通して制度の狭間にある方の支援に取り組み、地域支援では民生委員・児童委員、福祉委員の方を始め地域の方との親交を深めながら、地域資源やニーズの把握に努め、次年度以降の新たな資源開発の礎を築くことができました。

②南茨木在宅介護支援センター

地域のセーフティネットワーク事業の趣旨を深め、民生委員・児童委員、地区福祉委員、小学校、中学校と地域連携をもとに多世代交流センターを交え、関係機関含めて信頼関係の構築を図りました。その為の基礎となる情報周知の機会を最大限に活かす努力を行い、「地域交流を通して顔見知りの輪をつなぎ、支えあうご近所さん作り」が根付いてきました。

(6) 居宅介護支援(春日丘荘、南茨木)

主治医(かかりつけ医)と積極的に連携を行ない、認知症の方へのきめ細やかな支援を行いました。病院連携については茨木市サービス事業所連絡会の居支・包括・在介部会で研修企画段階から関わって研修会を開催しました。病院からのターミナルケース等への迅速な対応を行ない、地域の往診専門医との連携も強まり信頼関係を築くことができ、新たなケース獲得へつながっています。

質の向上に関しては総合事業に関する各種説明会、自立支援型計画書の作成、ICF、インフォーマル活用法について研修に参加し、繰り返し学ぶ機会を持ちました。また、虐待防止、人権、接遇研修に参加して相談援助職としてのスキル向上に努めました。

地域連携会議へ参加して独居閉じこもり高齢者食事会企画に協力し、地域ニーズの把握と地域との顔の見える関係づくりを行いました。

(7) 地域包括支援センター春日丘荘

①地域ケア会議の実施

地域ケア会議については、テーマ・内容に応じて全圏域・中学校圏域・小学校圏域でそれぞれ開催する等、会議の在り方を模索しながら、地域包括ケア推進の為に積極的に実施しました。

災害時における高齢者の安否確認ネットワークをテーマにした地域ケア会議では、災害時の高齢者避難場所の確認と安否確認の方法、ネットワークの活用方法や社会資源の発掘等について、民生委員・児童委員、福祉委員、医療や福祉機関の方々と忌憚ない意見交換・情報交換を行いました。

また、小学校区圏域での会議では「地域の強みを活かす!」をキーワードに、セーフティーネット会議を主催する CSW と連携して地域住民との意見交換を積極的に行い信頼構築に努めました。

②総合事業の開始

28年4月から開始した総合事業については、圏域内の対象者に対し不安や不利益等の混乱が生じないよう、わかりやすい説明と迅速なアウトリーチを心掛け、茨木市と連携して地域住民本位の支援に努めました。

また、市の方針に基づき 10 月からは居宅介護支援事業所への委託を推進することになった為、総合事業の事務手続きがスムーズに進められるように、居宅のケアマネジャーに対して明瞭な説明と親身な対応を努めて行いました。

(8) 小規模多機能センター春日丘荘「彩の家」

年度末になってようやくご利用者が 20 人を超えることで、この事業に対する地域住民からの期待やニーズを実感することができました。新規ご利用者の多くは地域包括支援センターからの相談が利用に繋がりました。新規ご利用者は独居で認知症状がある方が多く、個々のご利用者に応じて主に安否確認や服薬管理等の訪問サービスを柔軟に提供しています。

今後も地域包括ケアの一翼を担う事業所として、明確になりつつある事業へのニーズに応えて、その役割を担っていきます。

特別養護老人ホーム四條畷荘 養護老人ホーム四條畷荘

1. 事業の執行状況

質の高いサービスの提供を図ると共に、事業所が地域社会の一員であり、社会資源の一部としての役割を担う一環として、環境への影響を積極的に意識しその改善に貢献する目的で、ISO9001の認証範囲を全事業に拡大し、ISO14001の認証を新たに取得しました。

平成27年度から展開している地域公益事業の「四條畷荘いっぷくステーション『よろか』」においては、地域住民の活動拠点としての充実を図る事が出来、また、アウトリーチを実施して積極的に地域住民の課題解決に取り組んでいきました。

また、全職員を対象に、虐待防止研修、メンタルヘルスケア研修を実施し、入居者、利用者に対する人権意識の向上に努め、風通しの良い職場環境づくりに努めました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) ユニットリーダー研修実地研修施設指定更新

毎月2回開催する「熱血!!ユニットケア向上委員会」にて、ユニットリーダー研修実施研修施設チェックシートの99項目の内容を把握するため、ユニットケアについての勉強会を実施し、知識・理解を深めました。またユニットリーダーを中心に、「ユニットケア99項目チーム」、「パブリックスペースなどの設えを整えるチーム」、「24Hシートの充実を図るチーム」と3チームに分かれ調査の準備を進めました。特に記録の充実を目標に、ユニットケアの考え方の基礎となる①起床②朝食③入浴について、24Hシートに照らし全ユニットで入居者のご様子と職員の関わりを記載するよう統一を図りました。その結果、目標点数には届きませんでしたが、指定更新をすることができました。

(2)「四條畷荘いっぷくステーション『よろか』」における地域公益事業の強化

多様な地域住民ニーズに応えるために他分野・他法人の関係機関、また地域ボランティアと協働し、新しく13の生きがいプログラムを企画・実施しました。また見守りが必要な認知症高齢者や生活困窮者6名について、年間述べ36回のアウトリーチ活動を行い、「よろか」での見守りをはじめ、四條畷荘緊急生活支援サービスやフォーマルサービスへつなぎました。その他、地域包括支援センターによる「家族交流会」の開催や商店街組合主催の各種イベントに参加するなど活動範囲を広げました。

3. 施設の管理

- (1) 建物・設備等の管理について
 - ①建物・設備等のメンテナンス (修繕など)
 - (ア)乗用エレベーターについて、設備の核となるインバーター(制御装置)の交換 時期が来た為、取り換え工事を実施しました。
 - (イ)入居者、利用者が安心・安全に移乗できる様に、また介護職員の負担軽減を図る為、特別養護老人ホームと短期入所のユニットに介護ロボット(移乗用リフト)を導入しました。
 - ②建物の衛生管理
 - (ア) 予算計画に基づき、法定点検・自主点検・清掃を実施しました。
 - (イ) 法改正により新たに点検が必要になった、業務用空調機・冷蔵庫のフロン点検 について、ISO14001と連動を図り、計画的に実施しました。

(2) 事業管理について

①経営

毎月の経営マネジメント委員会で経営実績の分析を行い、各事業の経営課題に対する 対応策を検討することで情報共有を行うとともに、経営に関する意識向上を図りました。 ②危機管理

リスクを統括するものとして新たにリスクマネジメント委員会を立ち上げ、各種委員会で把握しているリスクの分析を行うと共に、施設全体のリスク把握に努めました。予測可能なリスクに対しては予防策としての研修を推進し、全職員が参加できるように共用フォルダーでのビデオ視聴による研修を行い、職員が勤務時間の合間に受講できるよう環境を整えました。また委員会からの発信として、特養の肺炎を原因とする入院者増に対し、肺炎対策チームを結成して肺炎リスクに対するアプローチを行いました。3月には消防署立会いのもと、夜間想定の避難訓練を行い、重度の方については職員が代役を務め、実際にシーツを使用した避難を行って、全入居者参加の実践に即した訓練を行うことで意識づけを行いました。

(3) 労務管理

①職員の勤務時間管理

労働安全衛生委員会の年間目標に掲げ、職員相互の声掛けやスポット職員の配置などによる時間内労働に取り組みました。

②職員の健康管理

年2回の定期健康診断の受診率及び、要再検査者の受診率を100%とする目標を立て て取り組み、達成することができました。また日々の健康管理に関しては出勤時の体調 チェックに心の安定度の項目を新たに設け、メンタルヘルスの自己チェックも行うこと でその意識付けを図ることができました。

(4) 虐待防止の取り組み

4月に発生した不適切ケアの再発防止と人権意識の向上を図ることを目的とし、全職員へ向けて虐待防止研修を開催しました。虐待防止委員会には第三者委員として、外部有識者の参加を得てアドバイスを頂くとともに、入居者総会や家族連絡会にて虐待防止員会への参加を呼び掛けた結果、定期でご入居者2名、不定期でご家族様2名に参加頂く事が出来ました。新たな試みとして、職員が言い出しにくいケアの悩みや疑問を気軽に発信できるツールとして、虐待防止版のヒヤリハットとなる「みんなのリリースカード」を作成・周知しました。28年度は2件の提出があり、委員会で協議して職員にフィードバックを行ないました。

また、職員が感情のコントロールをはかれるよう、全職員対象のメンタルヘルスケア研修を3回1クールで開催し、リーダー級、サブリーダー級の受講が終了しました。2月にはユマニチュード研修に職員2名が参加し、認知症ケアの新しい技法を学ぶことで、虐待の予防につなげました。

(5) 地域公益事業の取り組み

①地域行事美化活動

月一回、定例で行う施設周辺の清掃活動や自治会主催の地域清掃への参加に加えて、 近隣の江瀬美川の川ざらいや公園・広場の清掃活動を通して、関係機関や地域住民の方 との交流を深めました。

②四條畷荘緊急生活支援サービス

「四條畷荘いっぷくステーション『よろか』」を活用し、閉じこもり高齢者などの生活困窮者に対してアウトリーチでアプローチし、計4名の方に緊急入浴サービスや緊急配食サービス、福祉用具や生活用品の一時無償貸出・譲渡などを行いました。

4. 事業・サービスの推進

(1) 特別養護老人ホーム

「美味しく食べて、スッキリ出して、ぐっすり眠れる」健康な生活への取り組みを実施しました。美味しく食べて頂くために、機能訓練指導員に全入居者の下腿長測定を依頼し、そのデータをもとにお一人お一人に合った高さのテーブルと椅子を用意し姿勢を整えることができました。また食事形態について、極刻み食をソフト食に変更したことで、より安全な食事を提供できるようになりました。便秘がちの方へはオリゴ糖の使用による便秘の解消を試みました。また、食後の口腔ケアについても、数種類のマウスウォッシュを用意し、入居者に少しでも進んで口腔ケアを行なって頂ける様工夫しました。これらの試みから、肺炎による入院の軽減を図る事が出来ました。

(2) 短期入所生活介護 (障がい含む)

ショートステイでは障がい者の受け入れをスタートし、7名が利用されました。四肢麻痺にてご自宅で移乗用リフトを使用されている方については、受け入れに向けて事前に数台のリフトを購入し、受け入れ体制を整えました。8月には在宅部門と連携し、適宜痰吸引の必要な利用者の受け入れを行いました。

(3)養護老人ホーム

①入居者の特性を配慮したケアの推進について

精神疾患、認知症についての研修を実施し、課題の多い入居者にはケアプラン会議を増やしました。またご家族の協力を得て粘り強く話し合いを続けました。前年度実施したアンガーマネジメント研修もふまえ、落ち着いた応対ができるようになりました。

②柔軟な外出支援の提供について

引き続き、丁目ごとの外食会、外出会を実施しました。また、個別の買い物や銀行等の 外出支援も実施し生きがい支援につなげました。

(4) 訪問介護

喀痰吸引等研修を5名受講し、利用者の医療ニーズに応えることができる体制を構築しま した。

(5) 通所介護

『よろか』を定期的に担当するとともに、四條畷荘緊急生活支援サービスの内、入浴支援について3名を受け入れました。また中庭での園芸スペースの設置などを通して、利用者の活動・参加型のサービスに取り組みました。

(6) 居宅介護支援

ケース会議の記録様式を改善し、ケアマネジメントの振り返り・モニタリングスキルの向上に取り組みました。また、『よろか』を拠点に、介護相談会として介護保険サービスの紹介や手続きの説明などを定期的に行いました。

(7)地域包括支援センター

地域ケア会議を年間 17 回開催し、会議を通して関係機関とのネットワーク化、課題の抽出・まとめに取り組みました。

特別養護老人ホーム光明荘

1. 事業の執行概要

平成28年11月に品質マネジメントシステム「ISO9001・2008」を特養・在宅全事業で維持審査を受審しました。全部署での内部監査をそれぞれが実施し各部門の課題に直結した目標設定ができ、業務改善への意識を強く感じたと評価を受けました。引き続き2015年版への移行を進めていきます。

短期入所における個別機能訓練に重点を置き、光明荘を利用することで在宅生活をより「その人らしく」継続できるよう進めることが出来ました。改めて口腔ケアを見直すことで、感染症の蔓延を防ぎ、ひやりハットを検証する中で、重大事故を軽減することで安定した運営・経営をすることが出来ました。

2か所での「認知症カフェ」も定着する中で、福祉ニーズの掘り起こしを検証し、「送迎サービス」についての検討を進めてきました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) 光明荘におけるリハビリのあり方の検討会

ショートステイの個別機能訓練を新規開始し、35名の方に実施できました。年間目標の20人を上回り、目標達成率は175%となりました。特に今回の取り組みを行った事で、他職種との連携力がさらに強くなり、結果として利用者のサービスの向上につながりました。またショート利用者の在宅生活の継続につながり、ショート利用率も増えました。

(2) グッドコミュニケーション委員会

特養における職員のコミュニケーションの円滑化と職場環境の改善に取り組みました。

- ① 介護川柳の募集やクリスマスイベントの企画提案をし、各部署で取り組んで頂きました。
- ② コミュニケーションリーダーを各部署に設置し、ワンダフルカード記入へ繋げ職員の モチベーション維持に取り組みました。
- ③ 手書きの施設内新聞「三丁目のかわら版」を発行しました。

3. 施設の管理

(1)建物・設備等の管理について

①建物・設備のメンテナンス

特養にて使用していました特殊浴槽(チェア浴)の老朽化に伴い、2 台ありました特殊浴槽の1台について入替(購入)を実施しました。なお、購入に際しましては、職場定着支援助成金(個別企業助成コース)の申請を行い、助成金を活用して入替を行いました。

(2) 事業管理について

①経営

施設全体では、ほぼ予算どおりの執行で収支差額は当初より若干多くなりました。これは特別養護老人ホーム、短期入所事業などの利用率が年間を通して安定していた為です。 課題となった事業として居宅介護支援事業と通所介護事業が課題となりまた。取り組みとしては光明荘周辺にあるコンビニエンスストアへのアプローチを行うと共に8月より地域のスーパーにて介護相談を行いました。通所介護については在宅全体でより効果的な 営業方法について検討を行い、その方法を変えると共に障がい者を多く受け入れました。

④ 危機管理

今年度は大きな感染症の発生がなく、これは職員だけでなく面会者など来荘者にもマスク着用のご協力をお願いし、職員に毎朝の検温、出退勤ごとの手洗い・うがいなどの基本的な予防対策を徹底したことも効果があった要因です。

(3) 労務管理について

①職員の勤務時間管理

特別養護老人ホームの看護職員の退職により、看護科に時間外労働が多く発生しました。 また介護職員の人員不足もあり求人誌等で職員募集しましたが、なかなか応募者がなく充 足できませんでしたが、下半期に職員の平均勤続年数が長いことをアピールすることによ り、応募者が増え採用に至ることができました。

②職員の健康管理

今年度は労働災害が5件発生しました。内訳は通勤災害が2件、業務災害が3件でした。 通勤災害は2件とも単独のバイク(自転車)転倒によるもので、業務災害は単独の転倒、 介助中の腰痛、バイク走行中の交通事故によるものでした。時期はすべて昨年10月以降 に集中していました。前年度の1件から大幅に増えましたので、朝礼、各会議、衛生委員 会などで繰り返し注意喚起などを行ないました。

(4) 虐待防止の取り組み

不適切介護に対する取り組みとして、「三丁目の放課後」と名付けた職員複数名が介護上の不安や悩み・その他を話す場を作りました。話し合った内容は非公開とする事で遠慮なく普段の悩みを話・相談が出来、孤独感や不満感、虐待行為に至るような精神状態にならないように職員自身の意識向上・離職防止を図る事が出来ました。また苦情解決委員会にオンブズマンにも出席してもらうことで、苦情にならない声も表面化することができました。

(5) 地域公益事業の取り組み

①地域の老人会館にて毎月第2日曜日に「伏屋町カフェ」(認知症カフェ)を行いました。 民生委員・児童委員、校区社会福祉協議会ボランティアの協力を得て閉じこもりの方・認知症の方及びその家族への声掛けを行いました。参加者はほぼ固定しているが、専門機関への周知により認知症初期集中支援にて関わりを持った方も来られるようになりました。 ②コミュニティーレストラン等の必要性について地域の会議にて検討したが、必要性を感じられている自治会は無く、相談会等の関わりの要望があった為、その支援を計画しました。

③送迎サービスについて、7月より事業を開始しましたが、職員の配置や車の使用時間に 検討が必要となり、地域へ広く周知する事が出来なかった為、実働は2回のみとなりまた。 来年度に向けて民生委員・児童委員等の地域住民向けのチラシを作成し、ツアーの計画を 行いました。

4. 事業・サービスの推進

(1)特別養護老人ホーム

①感染症予防への取り組み

日頃からの手洗い・うがい・消毒の徹底と湿度の調整等に努め、冬期(11月~3月)は 持ち込みによる発症や蔓延を防ぐため、職員はもとより業者を含む外来者全員対象にマス クの着用を実施しました。また各部署、チームワークによっての迅速な対応で、感染症発生の減少に繋げることができました。

②機能回復訓練

利用者の能力を最大限生活の中で生かせるよう、利用者の生活面へのアプローチを強化し、他職種との連携強化に努め事故防止にも取り組みました。ポジショニング指導や嚥下指導も積極的に実施し、可能な限り褥瘡発生や肺炎予防につとめました。

また、施設サービスだけでなく短期入所への個別機能訓練を本格的に開始し対象者の拡大を図りました。

(2) 短期入所生活介護

短期入所利用者への医療的な個別ニーズを把握し、利用者の利便性が向上するよう特に重度者の受け入れに注力しました。また、昨年度より開始した個別機能訓練加算の活用を推し進め、リハビリに力を入れ、機能訓練指導員と協力し、日常生活リハビリも積極的に取り入れた。その結果、在宅生活支援に向けて取り組むことができ、利用者の満足度とサービス向上を果たしました。

(3) 訪問介護

①同行訪問の見直しについて

質の向上やスキルアップのため継続しています。特に初級ヘルパーの同行指導に力を入れ ステップアップを目指しました。

②喀痰吸引の実施について

登録へルパー1名、サービス提供責任者1名が喀痰吸引の資格を得ることができました。 新規依頼があり、来期対応できるようになりました。

(4) 訪問入浴介護

①中重度の受け入れについて

医療ニーズの高い方の新規利用もあり、医療機関との連携をして受け入れることができる 体制を継続して維持していきます。

(5) 通所介護

① 中重度の受け入れについて

介護度平均も2.8となっており、中重度者の受け入れは行えています。退院と同時に利用される利用者も多くなってきている事もあり、今後も継続して受け入れができるように医療機関や関係機関と連携を取りながら受け入れ体制を整備していきます。

個別機能訓練についても個々に目標を設定し、維持向上を図りました。また短期入所生活介護と重複して利用している利用者については短期入所生活介護と連携して取り組む 内容の検討を次年度以降に行います。

(6)居宅介護支援

①個別から地域のマネジメント構築について

ダイエー光明池店との連携にて、今年度8月から毎月第4水曜日に「介護相談会」を開催 し、相談会やアンケート等を通して地域及び利用者ニーズの把握に努めながら、課題解決 に向けた働きかけを行うことができました。

また、近隣の医療機関や地域包括支援センター等を訪問し、各関係機関との連携強化を図りながら、個々のスキルアップに取り組みました。

(7) 地域包括支援センター

- ①地域ケア個別会議を開催し、地域住民や、サービス事業所、居宅介護支援事業所との連携を図り、個別課題の解決に取り組みました。金銭管理が困難な高齢者の支援においても、市社協や司法書士と連携し、日常生活自立支援事業の活用や成年後見申し立てについて支援を行い、高齢者の権利擁護について共通の認識を持つように取り組みました。
- ② 小学校区別で住民が取り組んでいる地域福祉活動計画の達成に向け、協議の場に参画し、認知症高齢者の理解や災害時の対応について、住民の方々と協議しました。
- ③認知症高齢者支援については行政、地域住民と協力し、郵便局や新聞配達員に向けたアプローチを行っています。
- (8) いきいきネット相談支援センター (CSW)
- ①総合相談窓口としての地域での活動 地域で実施された各種会議やいきいきサロン、子育でサロン等に可能な限り参加し 地域住民への周知活動を行ないました。
 - また、関係機関との連携を強化する為、行政書士や保健所等と勉強会を行ないました。
- ②大阪府社会福祉協議会で実施された研修会に参加し、CSW としての基礎を学び、スキルアップに努めました。

特別養護老人ホーム高槻荘

1. 事業の執行概要

高槻荘の理念である「豊かで潤いのある生活」を実現できるよう、施設サービス・在宅サービス・地域密着型サービスの充実と適正な運営を図りました。特に特別養護老人ホームにおいては、ISO9001:2015年度版の移行審査を受審し、新規格での認証を取得しました。

在宅サービスにおいては、デイサービスセンターとヘルパーステーションの利用者確保が依然課題として残っている状況下でご利用者に選んでいただける事業所となるべく、サービスの質の向上と居宅介護支援事業所等への営業展開の双方向で様々な取り組みを実践し、来年度につながる礎を築いてきました。

認知症ケアの充実においては、大阪大学、OSJ認知症ケア研究会で定期的に事例検討等を重ね、認知症ケアの専門性の確立と、認知症サポーター養成講座修了者に対する組織化を基とした取り組みによって、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりへの一翼を担いました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1)新生高槻荘

平成28年度当初より特別養護老人ホームにおいて、従来型としての改修と個室ユニット型としての改修の両面で検討を行いました。双方を考慮した上で各部署からも意見を募り、仕様書作りに取り組みました。その後、特別養護老人ホームは個室ユニット化への改修が決定し、ご利用者の安心・安全・豊かな生活を追求し、職員の効率的な動線の確保や、休憩室の確保等働きやすい施設作りを意識しながら、基本設計作成に向けた検討を重ねました。また、デイサービスセンターの建物についても、どのように改修していくのかを具体的に図面を見ながら検討を行いました。

(2) 認知症ケア充実事業

①取り組み内容について

認知症サポーター養成講座を修了した高槻荘登録サポーターに向けて「高槻荘サポーター通信」を定期発行し、勉強会の実施や、サポーター登録の促進として「高サポカフェ」を開催し、地域で活躍できる人材育成につなげました。また、アウトリーチ型研修として、高槻市社会福祉協議会との共同研修や、地域の小学校で認知症サポーター養成講座の開催をする等、認知症施策の推進に取り組みました。

②達成目標について

高槻荘登録サポーターは、年間で12名増員の33名となり、内2名の方が特別養護老人ホームでの下膳ボランティアとして、内1名の方が地域密着型施設「ゆらら」の喫茶ボランティアとして運営に携わることとなりました。

アウトリーチ型の取り組みとしては、地域の小学校での認知症サポーター養成講座(教職員と生徒で123名が受講)と福祉体験(高齢者疑似体験、福祉用具体験)を二日間に分けて実施しました。

3. 施設の管理

- (1)建物・設備等の管理について
- ①安心感のある建物設備の維持

経年劣化による設備等の故障,不具合が頻繁に生じ、大規模改修を見据えながら修繕の可否を判断してきましたが、予想を上回る改修が必要となりました。

②介護ロボットの導入について

介護職員の腰痛予防対策及びご利用者の安全な移乗を目的として、移乗支援用の介護ロボットを導入しました。

(2) 事業管理について

①既存事業の適正な運営

昨年度開所した地域密着型サービスが今年度後半より軌道に乗り始めましたが、既存事業であるデイサービスセンター及びヘルパーステーションにおいて、新規利用者の確保に課題が残り、要支援者の利用比率が高くなったこともあり収支状況が悪く当初予算を達成できませんでした。

(3) 労務管理について

①人材確保とやり甲斐のある職場作り

人材確保については、昨今の介護人材不足の影響もある中で、おおむね必要な人員を確保することが出来ました。しかしながら、訪問介護員と看護職員については継続した人材確保対策が必要であり、働きやすい職場風土作りの更なる強化と、多職種連携のための仕組み作りが課題となりました。

(4) 虐待防止の取り組み

①虐待防止委員会の拡充

全部署が出席する虐待防止委員会を月1回開催し、その中で不適切ケアにつながる恐れのあるヒヤリハット報告や課題解決に向けての検討、その後の経過等の報告を行いました。また、他施設で発生した事例の検討を多数行い、原因や解決方法を検討する事で自施設での虐待防止や不適切ケア防止への対応方法を考え、内容を全職員にフィードバックし虐待防止の意識を高めました。あわせて、第三者委員への報告によって違う視点でのアドバイスをもらいました。

②各意見の集約

虐待防止に関するチェックリストを年2回実施し、必要があればその都度面談を行いました。また、「不適切ケアのヒヤリハット」「気づきカード」を作成し、特別養護老人ホーム・在宅事業共に不適切なケアを見逃さないような体制を整え、現場での活用を図りました。

(5) 地域公益事業の取り組み

高槻荘独自の取り組みとして、「キレイ所」と称した地域住民に対する住宅内外の清掃活動と、「サポリ隊」と称した要介護者をサポートする家族に対して、在宅生活継続の為の助言と介護技術の指導という2事業を展開しました。実績としては、「キレイ所」について要請が3件あり、高槻市社会福祉協議会と協働で支援を行いました。

4. 事業・サービスの推進

(1)特別養護老人ホーム

①相談科

入退所の円滑な調整の為、次期入所予定者をショートステイで長期的な受け入れを行い、 入院者の状況をタイムリーに状況把握することでスムーズな入退所調整に努めました。しか し、入院者の動向が激しく、利用率98.8%(ショートステイを含む)となりました。

②介護科

ご利用者の意欲を引き出すツールとして、ご家族の協力を得ながら「ダイバージョナル・アセスメントシート」を作成する事が出来たと同時に、このシートを通してご家族とのコミュニケーションが増す結果となりました。また、ケアプランも「解決すべき課題」としてではなく、ご利用者の「楽しみ」と「ライフスタイル」に焦点をあてたことで、より個別性の高いケアプランの作成が出来ました。

③健康管理

ご利用者の健康状態の把握に努め、異常時の早期発見・早期受診を心がけるとともに、ご 家族とのコミュニケーションも積極的に図りました。また、業務の標準化をさらに推進する ため、処置実施表等の記録類の見直しや多職種連携のための意識を高めました。

④機能訓練

ご利用者とご家族の希望に沿った立位や歩行などの個別訓練を提供しました。同時にご利用者の個別性を意識した福祉用具の活用を推進し、拘縮・褥瘡予防に努めました。また、介護職員とも連携し、ご利用者自身の残存機能が発揮できる生活リハビリを提供し機能維持に繋げました。

⑤食事サービス

毎月1回委託業者と法人内セントラルキッチン、サテライトキッチンの栄養士で調整会議を実施し、業務の効率化や安全な食事の提供、献立内容の充実などに取り組みました。また、施設内では他職種と情報共有をしながら、出来る限り個人に対応した食事を提供できるよう工夫しました。

(2) 短期入所生活介護

①適切な運営をめざして

居宅介護支援事業所やご家族に対して、ご利用時の状況報告を密に行うことで継続的なご 利用をしていただけるよう努めました。また、関係機関に定期的な空床情報をお伝えすることで、緊急ショートステイを積極的に受け入れました。

(3) 訪問介護

①介護予防に対する取り組みの充実について

ご利用者に対し、介護予防に関する機関紙を月1回発行し啓発活動を行いました。また、在宅事業において、管理栄養士を配置し、ヘルパーとともに自宅を訪問し、食材の選択や調理方法等、栄養指導を行いました。

②O J Tの充実について

キャリア段位制度を用いたOJTについて、そのチェック項目が施設職員向けの内容であった為、現認が難しくレベル認定までには至りませんでしたが、ヘルパー訪問時にはサービス提供責任者が出来る限り同行し、個別指導を行いました。

③居宅介護・重度訪問介護について

定期的に障がい者特有の分野における研修を行うことで職員の知識を高め、スムーズな精神障がい者の地域移行をサポートしました。

(4) 通所介護

①介護予防(リハビリテーション)の充実について

3カ月に1度の居宅訪問を計画的に行い、ご利用者の日々の状況を確認し現状把握を行いました。その中で得た情報を個別機能訓練計画内のプログラムに反映させる事が出来ました。 しかし、アウトカム評価ツールの開発については課題が残りました。

②軽度利用者及び予防給付対象者へのサービスメニューの充実について

午後からのレクリエーションメニューが少ないとの声が上がっていた為、午後からもゲームの時間を作るとともに手芸クラブ、折り紙クラブを立ち上げました。各クラブ活動では職員の手本を見た後にご利用者同士で協力し合う姿も頻繁に見られ、各ご利用者が主体的に活動出来る場が構築出来てきました。

③ I SO9001の認証取得に向けた検討について

特別養護老人ホームで認証取得しているISO9001の内部監査員資格取得の講習を受講し、内部監査員としてISO9001の手法を学び、次年度以降デイサービスで取り入れるきっかけを作りました。

(5) 認知症対応型通所介護

①認知症初期のご利用者に対する支援の充実について

今年度より食事場面に着目し、食器棚の設置と食器管理を始めました。実際の食事場面に おいて、調理前の準備から調理、食事、片づけまでを一連の動作としてパッケージ化し、ご 利用者の機能を引き出せるよう努めました。

②認知機能の改善に向けて

認知機能の改善を目的とした、「やすらぎファーム」を開園しました。農作物の栽培から収穫、調理までの流れを継続的に体感いただき、周辺症状の改善に努めました。

(6) 小規模多機能型居宅介護

①訪問サービスの充実

計画作成担当者が中心となって、在宅生活の維持・継続のために、ご利用者・ご家族に対して、泊りや通い中心のサービスから、訪問サービス中心の組み合わせサービスへの理解を得て、月の訪問回数が 150 回程に至りました。

②軽度利用者への介護予防メニューの充実

ご利用者の個別性を見極め、自宅での生活の継続を前提とした生活リハビリに重点を置き、個別プログラムも作成・実施しました。

(7) 認知症対応型共同生活介護

①認知症初期の利用者に対する支援充実について

グループホーム独自の日常生活各場面に着目したアセスメント表を活用し、「ケース月間総括記録表」を作成しました。毎月居室担当者、計画作成担当者が身体状況、健康面、精神面、活動を評価し、課題分析、支援課題と目標を設定し、質の高いケアの実践に向けて取り組みました。

②食事サービス全般の見直しについて

今年度より高槻荘厨房からの配膳を中止し、「食事に係るすべての工程を職員とご入居者で行う」ことに移行しました。その中で、ご入居者にお台所当番という役割分担が芽生え、調理そのものが生活リハビリとなり、四季折々の食材の活用による古き良き日本の知恵がよみがえる等多くの効果が生まれてきました。また、「ゆらら農園」を開園させ、季節感のある農作物と触れ合うことの楽しさを分かち合いました。

③地域住民としての取り組みについて

ご入居者が地域住民の一員として暮らすことができるよう、近隣の小学校、公民館の催事に出かけ、また小学生、地域住民のボランティアを受け入れ、地域との交流を深められるように取り組みました。また、地域住民の居場所のひとつになれるよう「ゆらら喫茶」「ゆらら居酒屋」を開店しました。

(8) 訪問入浴介護

①医療ニーズの高い中重度の利用者への対応について

医療ニーズの高い中重度者への対応について、介護・看護職員の知識を高める等受入れ体制を整えましたが、年間を通して新規利用者のご依頼がほとんどありませんでした。

(9) 居宅介護支援事業

①認知症初期のご利用者に対するマネジメントの充実について 認知症ケアパスに関しては上手く取り入れることができませんでしたが、初期症状の利 用者に対して、専門医療機関との連携は図ることができました。

②医療機関との連携強化について

医療機関主催の研修に積極的に参加することで、連携を図る場面が増えました。在宅診療においても、医師の意見を十分に傾聴することで、介護と医療のサービスも柔軟に組合すことができました。

(10) 地域包括支援センター

①認知症初期の利用者に対する支援

圏域内での認知症講座を3か所、サロン1か所を定期的に開催し、述べ600名が参加され、地域のネットワークづくりを進めました。認知症初期集中支援チームへの発足に向けては、市と医療機関に働きかけ、参画に向け関係づくりに努めました。

②地域包括ケアシステムの構築について

介護予防教室を通して、圏域内住民自主グループの立ち上げ支援を1か所行いました。介護予防教室の参加者は、延べ456名となりました。地域包括ケアシステム構築のために、地域の社会資源の開拓に向け、現在の地域資源の情報を収集しました。

特別養護老人ホーム白島荘

1. 事業の執行概要

今年度は、実習生や新任職員の育成を担当する職員を専任として配置することで、 実習校との連携を深め顔の見える関係づくりが行えました。また新任職員や介護技術 等に不安のある職員を対象に採用時研修、現場での個別研修を行うことで、介護経験 のない職員も安心して働くことができ離職防止に繋がりました。ハローワークには専 任職員による個別指導や研修体制が充実していることを伝えたことで、ハローワーク から求職者へ介護の仕事の紹介を進めてもらえ人材確保に繋がりました。

また、箕面市立光明の郷ケアセンターにおいては、箕面市と協議を重ね、9月1日より生活介護事業を開始することができ、計画相談支援事業と連携することで地域の障がい者ニーズにサービスをスムーズに提供することができました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) 在宅サービスにおける効果的、効率的な「記録」と「計画書」の作成

利用者の生活歴や日課及び意向を丁寧に聞き取り、生活場面のこだわりを見える化し、全職員が統一した支援を行いサービスの質の向上に繋げることを目標に、小規模多機能型居宅介護支援「ひねもす」、白島荘訪問介護事業所「はくしまヘルパー」、グループホーム「華の家」の職員を中心にライフサポートプランの「わたしの暮らしシート」を参考にして「在宅わたしの24時間シート」を作成しました。

全ての職員に「在宅わたしの24時間シート」作成の目的を伝え理解を深めると共に、利用者ごとに担当職員を定めて「在宅わたしの24時間シート」原案を作成しました。全ての職員が内容を確認しやすくするために、その原案は介護サービス計画書と共に綴り、担当以外の職員が得た情報はその都度追記することで直近の利用者状況がわかるようになり、その人らしさが見える「在宅わたしの24時間シート」を作成することができました。

計画作成者だけでなく非正規職員を含めた介護職員も「在宅わたしの24時間シート」を作成することで、ご利用者が「どのような人生を歩んできたのか」「どのように支援してほしいのか」の理解がより深められ、ご利用者に真摯に向き合う機会となりました。また、日常業務のなかでご利用者と積極的に会話する時間も増え、職員からも「今までよりご利用者と会話する時間が増えて楽しく作成することができる」仕事のやりがいにも繋げることができました。

(2)地域交流スペースの活用

地域交流スペースを活用してもらえるよう、地域交流スペースの紹介リーフレットを 作成し、ラジオ体操に参加されている地域住民や、施設見学に来られた箕面市民生委 員・児童委員、実習生、NPO法人等に配布し積極的に案内しました。

その結果、大阪音楽大学の実習生が練習のために活用したり、民生委員・児童委員からは定期会議の場所として毎回ではないが使用したいとの申し出がありました。また、NPO法人と協力し生活困窮者自立支援事業にて毎月NPO法人が主となって、地域交

流スペースで喫茶を開催することとなりました。近隣小学校も年に一度ではありますが、 入居者やご利用者に対してバトントワリングの披露や歌の披露などに来てくれるよう になりました。近隣高校では福祉の授業の一環で白島荘に福祉ボランティアに来てくれ るようになりました。目標としていた5団体の登録は達成しましたが、週に一度や月に 一度と地域交流スペースを利用して頂くことにはなっておらず、近隣の保育所や幼稚園、 または小学校で行われている野球クラブ終了後などに気軽に来荘できるよう、場所づく りという課題が残りました。

3. 施設の管理

- (1) 建物設備等の管理について
- ①適正な建物管理について

白島荘は建設後2年が経過し、建物2年点検を実施し、定期的な設備メンテナンスを 行いました。その他、台所のつまりや洗濯機からの水漏れがあり、早急に対応し修理を 行うことで入居者に安心安全に生活して頂けるよう努めました。

箕面市立光明の郷ケアセンターでは雨漏りがあり、箕面市と協議を重ね、専門業者の現場確認、見積書を箕面市に提出しました。

(2) 事業管理について

①災害時における拠点づくりについて

福祉避難所の協定締結に向けて箕面市と協議を重ね、協定書案について箕面市に提示することができました。

備蓄品の見直しを行い、水や食糧、乳幼児用の紙オムツ等必要物品を購入し、福祉避難所として要介護者や乳幼児の受け入れ体制を整えることができました。

②地域との連携

昨年度に引き続き地域の消防団への加入を消防団に依頼しましたが、地域住民以外の加入は行えませんでした。箕面市や消防署本部にも加入について相談しましたが、消防団加入は困難との返答にて断念することとなりました。ただし、箕面市や消防署本部、民生委員・児童委員に合同の消防訓練の実施や必要な手助けについて相談することで、全市一斉消防訓練の際、通常報告以外に要介護者の受け入れ訓練(模擬)を行うこととなり実施しました。また、地域での防災訓練への参加を平成 29 年度より開始する予定となりました。その他、備蓄品を備えていることや施設設備等を自治会の会議や地域のサロン等で説明を行い知ってもらえるよう努めました。

(3) 労務管理について

①子育て世代の人材育成のための職場環境作り

子育て世代が働きやすい職場環境のために時短勤務は当然のこと、春休みや夏休みなど長期間保育所や小学校が休みの際に地域交流スペースを自習室として開放し、働いている間、子供たちの居場所を施設内に作り安心して働ける環境作りに努めました。

②労働災害の防止に向けた取り組み

介護業界の職業病の一つである腰痛による労働災害がなくなるように、機能訓練指導員を中心に介護職員の移乗や入浴介護技術の指導を行うことで、今年度は腰痛による労働災害はありませんでした。

また、入居者の状態変化により移乗が難しくなった入居者については、ユニット職員を対象に福祉機器の活用や介助方法を検討し、入居者・介護職員双方の負担を軽減するための介助方法について研修・指導を行い腰痛予防に努めました。小さなことの繰り返しにより「腰痛ゼロ」とまではいきませんでしたが、腰痛を訴える職員も少なくなり、正しい姿勢で介助することでご入居者への負担も軽減し介護職員の負担も軽減することができました。

(4) 地域公益事業の取り組み

箕面市が増進しているラジオ体操を今年度も週3回定期的に開催しました。また、体力測定を年2回開催し子供から高齢者まで幅広く地域住民との交流が図れ、健康寿命増進の一助に努めました。また、地区福祉会とも協力し、今後は独居高齢者や高齢夫婦などのための無料送迎を行い、閉じこもり高齢者の力になれるよう相談することができました。その他、法人事務局と協力し、子供向けのイベントや親子で参加できるイベントを開催することで多世代交流に繋がりました。

4. 事業・サービスの推進(施設サービス)

(1) 特別養護老人ホーム事業

①ユニットケアの充実

ユニット型の施設に建て替え3年目を迎えました。より良いユニットケアを行うため、今年度は排泄ケアに力を入れました。入居者一人ひとりにあった排泄間隔の把握やパットの見直しを行いました。また、接遇向上委員会を中心に介護職員に対するアンケートを実施し業務中の言葉の表現を見直し、排便やトイレなどの入居者が他人に知られたくない言葉を番号で言うようにし、入居者の羞恥心に配慮するよう心がけました。更に、アンケート結果を基に整容や環境整備にも気を配るように周知し取り組み前と比較すると数パーセントながらも改善が見られました。

また、ユニットケア向上委員会を中心にユニットケア研修を4か月に1回全介護職員対象に実施し、自施設におけるユニットケアの振り返りを行いました。昨年度に引き続き正規職員を対象に24時間シートの研修も実施し、24時間シートに対する理解を深め一覧化シートの作成を行いました。一覧化シートの内容を充実させ全ユニットで使用方法の統一を図りました。

6. 事業・サービスの推進(居宅サービス・障がい含む)

(1) 訪問介護事業

①認知症ケアの充実とパーソナルケアの実施について 利用者の生活歴や状態をより深く知りケアに活かしていく「パーソナルケア」を中心 に認知症ケア研修を年3回行うことで、認知症の理解をより深めることができました。 また、登録ヘルパーで「チーム会議」を実施し、利用者の認知症による「BPSD(行動・心理症状)」と呼ばれる行動への支援方法について、パーソナルケアを意識しながら認知症ケア方法について検討を行い、ヘルパーによってサービス内容に差がないようケア内容の統一を図ることができました。

(2) 居宅介護支援事業

①快適なくらしの支援について

利用者とのカンファレンスや毎月の訪問で利用者の把握に努め、地域特性に応じたサービスの提案を行いました。NPO法人なにわ和楽日の会など介護保険外のサービスも紹介し、切れ目のないサービスを提供し生活の質が向上できるよう取り組みました。

②災害時の対応について

利用者の家族構成や周辺状況、地域特性などを把握することに努め、災害時にどのような行動をすれば良いのか提案を行いました。また、難病や人工呼吸器使用等が必要なケースについては、サービス担当者会議を通じて利用者、家族と各種サービス事業者と緊急時の対応について話合い、対応方法を共有することができました。

(3) 小規模多機能型居宅介護支援

①住み慣れた地域での生活を大切に

利用者のこれまでの在宅での生活を継続できるよう、通いサービスや宿泊サービス に偏ったサービス提供ではなく、在宅生活継続のために訪問サービスを重視するよう 心がけ取り組みました。また、訪問診療医、訪問看護、訪問リハビリ等、他職種との 連携を積極的に図ることで、連続した切れ目のないサービス提供に繋がりました。

その他、地域で開催される夏祭りやサロンに利用者と共に積極的に参加し、利用者と地域との関係性が深まり、地域の中での生活の継続を重視した事業所作りが行えました。

②認知症ケアへの取り組み

「たとえ認知症になったとしても住み慣れた地域で暮らし続けたい」そんな思いを実現するため、職員が利用者にこれまでの人生の歩みや思い出を聞き取り、より深くその人を知ることができる「私の人生の記録」の作成に取り組みました。職員一人ひとりが聞き取りを行うことにより、利用者と積極的にコミュニケーションを図れるようになり、その人の思いや願いを考える機会となり、サービスの質の向上に繋がりました。

(4) 認知症対応型共同生活介護

①認知症ケアの充実

認知症の進行防止や認知症からくる不安や混乱を緩和するため、今年度は認知症リハビリ運動プログラムとしてデュアルタスクエクササイズ (二重課題運動) を実施しました。実施した結果、職員より「少し穏やかになった気がする。笑顔が増えた」などの効

果が実感できました。また、ブログで活動の様子を紹介し、入居者、及び利用者の家族から好評を得ました。さらに、大阪青山短期大学との共同研究で、認知症の進行を軽減する取り組み研究として、「ふみふみカルタ」のプログラムを実施しました。一定期間での効果検証でしたが専門家による指導や助言により認知症リハビリプログラムの知識と技術の向上が図られました。

②地域の認知症に関する相談窓口の設置

認知症介護の相談窓口ではデイサービス利用者の家族から自宅での排泄介護に関する具体的な相談や、認知症の進行に関する悩みが直接電話やメールにて寄せられました。 また、4月には地域住民を対象に初の試みとして認知症サポーター養成講座を実施し、 その後には認知症相談窓口として認知症に関する悩みを話せる機会を作りました。

③おいしい食事の実現に向けて

平成 29 年 4 月 1 日から全食グループホームで食事作り、提供を行えるよう、今年度は計画的に試行を行いました。利用者の調理への参加方法や地域での食材購入などを毎月の会議で検討し、9 月より食事作りを一部行いました。また、食事作りの一部実施と並行して衛生研修を全職員対象に実施し衛生面について学び、安全でおいしい食事作りの準備が行えました。

(5) 通所介護事業

①箕面市東部地域における役割について

地域の小学校より課外授業(職場インタビュー)の受け入れを行いました。また、民生委員児童委員やボランティア等日頃からの繋がりにより、地域の自治会やサロンへ「出前講座」を実施する機会を得られました。「出前講座」は自治会やサロンからの要望もあり『介護予防いきいきエクササイズ出前教室』として3団体に対してそれぞれ1回ずつ実施することができました。さらに、箕面市立光明の郷ケアセンター全体の取り組みとして、箕面市や東部地域包括支援センターの協力のもと、「親子認知症サポーター養成講座」を開催し30名程参加がありました。

②日常生活支援総合事業の本格的取り組み

当該事業の対象者及び希望者を対象に、脳と身体を同時に活性化でき、認知症予防にも効果的なデュアルタスクエクササイズ(二重課題運動)を実施しました。個別に『ステップアップシート』作成し、内容の振り返りや達成度の確認を利用者目線で行い、利用者からも好評で自宅に帰ってからもご家族に対して「楽しかった」などの感想を伝えられ、事業所にも感謝の言葉を頂き、サービス利用の継続に繋げることができました。

(6) 短期入所生活介護

①ユニットケアの向上について

初回利用前には生活相談員と介護職員が、介護の場面だけではなく日常生活全般に渡って詳細な聞き取りを実施し、利用者個人の生活リズムに合わせたサービスが提供出来

るように一人ひとりに合った環境作りを行いました。また、利用者・家族の意向を基に ADL 表・24時間シートの作成を行い、多様化している個別ニーズについても柔軟に対 応出来る体制を整備し、夜間浴の実施や食事提供方法などの個別サービスを提供しました。その結果、初回利用者に対するアンケート調査では、サービスに対する満足度について高い評価を得る事が出来ました。

(7) 居宅介護・重度訪問事業

①障がいの研修の実施について

障がいサービスの提供時間数が増えるにあたり、障がい者虐待や不適切な支援の防止のための研修を実施しました。また、利用者に安心してサービスを受けて頂けるよう登録へルパーに対して個別に介助方法や支援方法について指導し、信頼される事業所作りに取り組みました。さらに、障がい者の介護が未経験の登録へルパーに対して、サービス提供責任者が同行訪問したり、一人での訪問時に電話等にてサービス提供責任者が相談に応じて、不安軽減に取り組みました。

(8) 相談支援事業

①地域課題の把握について

まだまだセルフプランでの更新の利用者が多く計画相談を必要とされているが、事業所や相談支援専門員が不足していることが課題の中、箕面市からの依頼や地域ニーズに対して積極的に受け入れを行い、箕面市における計画相談の推進に協力・貢献することができました。また、光明の郷ケアセンター祭りにおいて、各事業と合同でミニシンポジウム(高齢者及び障がい者の理解について等)を行い、地域に向けて相談支援事業並びに白島荘をアピールすることができました。

(9) 生活介護

①利用者に合った創作活動及び生産活動

地域活動支援センターⅢ型からの移行による利用者の混乱について、ゆっくりと丁寧に利用者と向き合うことで予想より混乱せずに移行することができました。また、利用者の特性を理解し、少人数での生産活動により利用者一人ひとりにあった生産活動を利用者と選択し作業する事で寄り添ったサービス提供が行えました。さらに、就労訓練として外部での音楽発表会や無料喫茶でウェイターとして飲み物等を運んだり、食器洗いを行うなど職員以外と関わることで社会性を体験できる環境作りに取り組みました。

7. 事業・サービスの推進(指定管理による事業)

- (1) 箕面市立光明の郷ケアセンター
- ①地域活動支援センターⅢ型について

外部に向けた文化的活動として紙芝居コンクールに応募しました。利用者全員で職員と共にストーリーや絵などを考え作成することで、達成感と共同作業による一体感を感じてもらえ、利用者から笑顔がより見られ、満足して頂けました。また、手作りの楽器による音楽療法を実施し、白島荘の老人デイサービスや特別養護老人ホームで披露し

ました。始まるまでは緊張と不安でいっぱいだった利用者も発表後には「上手にできた」と大きな声で自慢されていました。その他、四季折々の創作活動を利用者に合わせて提供することにより、飽きのこない創作活動を実施することができました。

東大阪養護老人ホーム

1. 事業の執行概要

これまでも施設を取り巻く地域との係わりは最重要課題として取り組んできましたが、今回は特に入居者向けに行っていたクラブ活動を開放し、地域住民の方々にも参加していただきました。地域住民にとっては養護老人ホーム内の地域交流室を新しい社会資源として活用していただくことができ、入居者を含めての交流が見られました。また近畿大学と積極的に交流を図り昨年度に引き続き3階娯楽室の変更、近畿大学での認知症サポーター養成講座等を実施しました。また、近畿大学との関係性の波及効果として空き家の有効活用に向けての事業への参画や就労機会の紹介を受けることができ次年度の足掛かりができました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) 地域における介護・認知症支援の連携

今年度より開所した地域包括支援センター上小阪と連携し施設内だけではなく、施設外でも認知症サポーター養成講座を年間4回実施し、延べ180名の方々に受講していただき地域の互助力形成の一翼を担うことができました。

3. 施設の管理

- (1)建物・設備等の管理について
- ①環境に優しい施設運営

厨房機器の修繕・メンテナンスを早い段階で行ったことで、非効率に使用していた電気を効率よく使用できるようになり、厨房内の電気使用量の削減につながりました。

(2) 事業管理について

①経営

今年度外部サービス利用型特定施設入居者生活介護から一般型特定施設入居者生活介護へ変更を実施しましたが、入居者への混乱を招くことなく移行することができました。 医療機関との調整を迅速に行うことで入院日数の軽減を図り、入退所業務をスムースに行い月初の定員150名を確保することで、安定した経営結果となりました。

また、各部署との連携に意識的に努め、入院者の減少に着目し取り組みを強化したことにより95.8%以上の在所率を確保することができました。さらに、加算算定について、年度途中より個別機能訓練加算の算定を実施し、サービスの質を担保するよう取組みました。

緊急一時保護事業においては、行政機関との連携に努め、虐待ケースを中心に困難な事例も積極的に受け入れを行い、一時保護受け入れから施設入所へと切り替えを行う等、セーフティネットとしての役割を果たすことができました。

② 危機管理

今まで行っていた入居者向けへのマスク配布や定期的な水分補給の機会を増やすだけでなく、正面玄関及び2階食堂等に微酸性次亜塩素酸水生成装置を設置し、消毒・うがいを積極的に促すことで入居者への感染症の罹患予防を啓発し、発生を抑えることができました。

(3) 労務管理について

①職員の勤務時間管理(所定外労働の抑制)

東大阪養護老人ホームにおいては、緊急時以外について再度事前申請を徹底することで所定外労働を抑制することはできました。OSJ工房よりそいの丘については、作業工程の見直しを行いましたが、大幅な改善には至らず微減となりました。

②職員の健康管理

傷病からの職場復帰に際し、業務の配慮が必要な職員に対し、通常の面談に加え産業 医との面談を行うことで、段階的な業務復帰のプロセスを構築することができスムース な復帰が行えました。

(4) 虐待防止の取り組み

虐待防止委員会には第三者委員にも参加をしてもらい、虐待報道等を事例として検討し各部署における予防策の協議を行いました。また、全職員を対象とし不適切ケアについての研修を開催し虐待に至るプロセスの理解を深めることで、虐待を未然に防止できる体制づくりを行いました。

(5) 地域公益事業の取り組み

これまで、入居者向けに行っていた各種のクラブ活動を地域住民へも参加を呼びかけ、施設機能の一部を地域に向けて開放することで、入居者へ地域交流の機会と社会参加の機会を設けることができました。

また近畿大学の准教授を講師として、地域包括支援センター主導で介護予防・日常生活支援総合事業の勉強会等を地域住民向けに実施することで、地域包括ケアシステムの一員としての役割を担うことができました。

OSJ工房 よりそいの丘において、4月に行われた「桜まつり」について、地元自治会、地域包括支援センターと協力して、施設内を利用して盛大に催すことができました。社協の高齢者サロンや、東大阪アリーナでのわんぱくフェスタにも出店し、パン販売の他、チラシやパンフレットの配布を行い、「よりそいの丘」の認知度アップに努めました。フリールームの活用についても、自治会を中心に利用の推進を行い、地域の方々に利用していただいています。

4. 事業・サービスの推進

(1)養護老人ホーム

①近畿大学との交流について

建築学部と共同で3階娯楽室の設えを変更し、入居者から好評を得ました。

認知症サポーター養成講座を授業の一環として取り入れてもらえるよう地域包括支援 センターと共にアプローチしたところ、建築学部、総合社会学部にて実施することができ、 近畿大学の学生延べ120名程受講して頂けました。

②介護予防の実施について

入居者の機能維持に向けた働きかけとして、ラジオ体操や歩こう会を日課に取り入れ、毎日実施しました。

また、特定施設入居者介護の入居者においては、これまでの集団機能訓練に加え、個人の身体状況に合わせた個別機能訓練プログラムを実施できるよう機能訓練指導員を専従配置し、課題となっていた居室内での転倒、ずり落ち予防等のADLの維持及び低下軽減に努めました。

③健康管理と入院者を最小限に抑える取り組みについて

体操や脳トレを含んだレクリエーションを取り入れ、基礎体力の向上や認知機能面の維持と集団ならではの他者とのコミュニケーションを図りながら健康増進に努めました。

診療所では、血液検査・心電図検査の細めなチェックを行い、異常の早期発見 早期医療機関への受診対応を行う事で、緊急入院の減少につながり、特定施設入居者の入院数が減少しました。感染症対策では、今年度導入した微酸性次亜塩素酸水による手指消毒、うがいを行うことで、入居者のインフルエンザやノロウイルス等感染症発症を防ぐことができました。

④利用者の適切な栄養管理の実施について

食事摂取基準を満たすため、給食業者と協力し、入居者の健康維持・増進に努め、日々の食事、行事食においても、楽しんでいただける食事提供に取り組みました。また、嚥下力の低下された入居者の食事について、他職種での検討を行い個々に合った食事提供に取り組みました。

(2) 訪問介護

①人材確保 · 会議

登録ヘルパーの確保について、ヘルパーの知り合いの紹介等口コミで4名増員となりました。

また、他事業所の専門職を講師に招き、感染症・食中毒・介護技術等の研修を実施し登録へルパーの技術向上を図りました。また、介護予防・日常生活支援総合事業についても勉強会を実施し、次年度に向けた準備を行いました。

外部の居宅介護支援事業所への積極的な営業活動を行うことにより、養護老人ホーム入居者に限らず、地域からの新規利用を増加することができました。

(3) 通所介護

①よりよいサービスを目指して

地域密着型通所介護として新たなスタートを切り、養護老人ホームでの介護保険対象者 及び地域住民の方のニーズに応え、利用促進に取り組みました。その中で、各居宅介護支援事業所との連携で利用者への支援方法を検討しました。

利用者それぞれに担当職員を決め、生活歴や日々の状態の把握に努め職員間で情報共有を行うことで個別ケアへの第一歩を踏み出すことができました。事情により住所地の移動ができない利用者に対しても地域密着型通所介護が利用できるように都度、当該市町村へ申請を行い利用調整を図りました。

(4) 居宅介護支援

介護支援専門員を1名体制から2名体制へ変更し、新規利用の受け入れ体制を強化しました。これにより、養護老人ホーム入居者だけでなく、地域からの相談依頼や利用契約も増え、地域基盤の一翼を担うことができました。

(5) 地域包括支援センター

開所1年目として、主に介護予防に向けた取り組みを重点的に行い、校区自治会等にアプローチし、16回の介護予防教室を実施致しました。

また、権利擁護事業活用の必要性を積極的に発信することで、任意後見については1件、 法定後見については市長申し立て2件、親族申し立て3件の支援を行いました。

地域の課題把握に努め、地域ケア会議開催し、地域にある社会資源や住民の居場所づくりの発掘についても着手してきました。

(6) 就労継続支援

①利用者支援スキルの向上について

年間研修予定を作成し、毎月の職員会議の際に全職員に対し研修を行いました。特に「人権」「接遇」「障がい者に特化した研修」を重点的に実施することで、職員のスキルアップに繋げることができました。

②パン製造事業の収益確保のついて

自治会や社会福祉協議会などのお祭り行事などで連携を取り、販売に繋げる事ができました。また、高齢者サロンでの販売の機会をいただくなど、新規の販路の開拓ができました。

納入先の施設入居者や職員へアンケート実施や向け外部講師を招き、工程を見直すことで、高齢者向けへの品質向上と新たなメニューの開発に取り組みました。

③利用定員の増加について

ハローワーク、就業支援センターからの紹介で、A型2名、B型8名の新規利用者が利用に繋がりました。しかし、A型6名 B型3名の利用中止が有り、合計で1名増に留まり、定員増には繋がりませんでした。

豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか

特別養護老人ホーム永寿園とよなか

1. 事業の執行概要

永寿園とよなかの理念「その人らしく、ここで…」を実現するため、具体的理念を基にサービス提供が行える様、ユニットケアリーダー研修実施施設のチェックリストを活用し、現状のサービス提供の課題を食事・入浴・排泄の三大介護を中心に見直すと共に、永寿園とよなか独自のチェックリストの作成を行ないました。

虐待防止・接遇向上やステップアップ事業等、各種委員会の取り組み内容を職員一人一人へ伝える機会を各部署会議に設け、意識強化を図りました。

運営面では、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム共に入居者の ADL 低下に伴い入院 等による空床が見られたものの、感染症等での影響が少なかった事もあり安定した利用率 を維持する事が出来ました。更に、養護老人ホームについては現状満たしている介護報酬 加算要件に関して積極的に申請を行い収支の安定を図りました。

昨年12月には通所介護事業の廃止により出来た空きスペースを活用し、企業主導型保育園を開園し、保育園待機者の解消、法人事業所の職員の確保、更に養護、特養入居者との世代間交流の場として開園することができました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) 認知症サポーターの組織化

過去に開催した認知症サポーター養成講座の受講生を対象にフォローアップ研修及び会議を11月に行いました。第2部での会議では「認知症サポーターによるボランティア活動の組織化」について討議を行い、20名の参加を得ました。その中で組織化を図る第一歩として認知症サポーターが主体となって運営する「認知症カフェ」を平成29年5月にオープンさせることを決定し、更にオープンに向け開催の頻度や曜日、メニューや価格、地域への周知方法について検討しました。

3. 施設の管理

- (1)建物・設備等の管理について
- ①建物・設備のメンテナンス (修繕など)

担当職員により日常点検票を作成し日常点検とメンテナンスを行いました。異常箇所が あれば、豊中市へ管理運営に関する年度協定書に沿って報告相談し保守管理を行いました。

②建物の衛生管理

毎月、施設産業医、衛生管理者、所長、介護科長、職員代表で施設巡視を行い施設産業 医から改善等の指摘を受ければその都度対応し改善を行いました。

(2) 事業管理について

①経営

豊中市との連携を密に図り、緊急の短期入所の受入を積極的に進めると共に措置機関からの要望があれば迅速に対応しました。また、経営の安定を図る上で重要となる入院日数の減少を図るべく、施設内での事故についての分析をすすめるとともに、入院の大きな原

因となる転倒を予防をする為の啓発ポスターを作成し注意を促したり、ラジオ体操や歩こう会など筋力維持の為の取組に力を入れました。

短期入所については「また利用したい」という声が聞かれ、リピーターとして多くの利用がありました。日中はレクリエーションやリハビリを多く取り入れ、職員がとても親切で丁寧との評判を得ました。利用者からの紹介で利用を決めて下さる方も多く、リピーターの確保、新たな利用者の拡大を常に意識し経営の安定に努めました。

②危機管理

昨年他府県にて起こった障がい者施設での痛ましい事件をうけ、入居者及び職員の安全 確保の為、職員通用口での暗証番号の定期的な変更や厨房職員出入り口への内カギ設置な ど、外部からの侵入に対する対策を行いました。

災害対策として法人の総合防災訓練の課題から防災グッズの必要性を再認識し、特養で不足していた防災頭巾をみずほおおぞらに依頼し補充いたしました。

(3) 労務管理について

①職員の勤務時間管理(所定外労働の抑制)

超過勤務を正しく申請する事に対しての意識づけのため、職員面談等を通じてタイムスケジュール管理を意識づけ、所定外労働の軽減に努めました。

②職員の健康管理

腰痛予防の為の福祉用具の導入や就業前に行う腰痛体操のリーフレットの配布を行い、 腰痛等による職員の離職防止に努めました。また、福祉機器の導入も行い、養護老人ホーム入居者の ADL 低下に伴うリフト浴の導入、特養に地域介護・福祉空間整備等補助金(介護ロボット等導入支援事業)を活用した非着型移乗介助機器の導入を行いました。

職員個々の健康面については定期面談を実施しました。また、体調に不安を感じている職員や健康診断の結果で産業医より面談が必要と判断される職員については、産業医と面談を行ない健康問題の解決に努めました。

(4) 虐待防止の取り組み

今年度は職員の不適切と思われるケアに関する報告が2件あり、対象職員には研修推進室と協同し個別研修の実施と定期的なフォローアップ研修を行いました。全職員には全体研修や日々のミーティングで不適切ケアの内容を周知することで再発防止を行いました。又、年2回記名式の虐待防止に係るチェックリストによるアンケートを実施し、回答内容が気になった職員に対しては、管理職員あるいは主担者が個別に聞き取りとチェック内容や記述内容の確認を行うことで、日々のサービス提供の振り返りや自己啓発、改善に努めました。

虐待予防・防止委員会は介護相談員の園内巡視を月1回実施していますが、不適切と思われるケアが行われたことにより、更にもう1回一般外部者の園内巡視を行う様すすめ、入居者及び職員の様子で気になった点等を報告してもらえるように体制を強化して、不適切なケア防止対策に取り組みました。

(5) 地域公益事業の取り組み

認知症サポーター養成講座の定期講座を6回と出前講座を4回実施し、新たに150名の認知症サポーターを誕生させました。また、地域住民の方を対象に健康や暮らしの知恵をテーマに公開講座を地域交流スペースにて毎月開催しました。

この地域交流スペースでは、地域主催の子育てサロンや交流喫茶、自治会行事、地域の保護者と子供との集いなど年間 81 件利用していただきました。その他、夏期には幼児用プールの一般開放や花火大会等での屋上一般開放も行い、地域の財産として一般の方々にも施設を活用していただきました。

4. 事業・サービスの推進

(1) 特別養護老人ホーム

ユニットケア推進の取り組み

ユニットケアを推進していく為、各ユニットが食事、入浴、排泄、設えを工夫することにより、それぞれのオリジナリティが出る様に取り組みました。これらの取り組みにより出てきた課題について話し合い、その内容についてユニットから数々の取り組みの発信を行ない刺激し合うことにより、施設全体のケアの質向上につながる様に努めました。また、理念に沿ったケアが行われているかチェック表を作成しました。

(2) 短期入所生活介護

在宅生活の継続についての取り組み

送迎時に介護職員が添乗を行う様にし、利用時の様子を直接家族に伝えるようにすると共に、引き続き安心して利用してもらえるよう、積極的に家族との関わりを持つようにしました。また、短期入所は在宅生活の延長線上にある事を意識し、個々の利用者に合わせた様々な雑誌や新聞の設置、音楽体操や作品制作等のレクリエーションを多く取り入れる等、自宅での生活の延長、自宅とは違った活動を通して他の利用者や職員と関わる時間の提供、といった利用者個々の趣向に合わせたサービス提供に努めました。

(3) 養護老人ホーム

入居者の重度化に伴い安心して入浴していただける様リフト浴を導入しました。全職員が安全に使用できるよう職員勉強会を行い、ひとりひとりのスキルアップを図りました。 日々の生活を元気で明るく過ごして頂くため、現在の身体機能を維持して頂く為に事業 所内保育園の園児の協力も得ながら、保育園児と一緒にラジオ体操や歩こう会を実施しま した。

(4) 保育

①保育園開園にむけての取り組み

12月の開園に向け、10月より準備室を設置し、園児及び職員の確保、運営に関する内容等について準備を行いました。

園児の確保についてはポスターの掲示、近隣マンションへのチラシの配布、ハローワークでの紹介依頼等を実施するも、年度途中ということもあり少人数でのスタートとなりました。

職員の研修については、法人協力保育園での実地研修を受けられる等、充実した研修を 受けることができ、万全の体制で園児を受け入れることができました。

②園児の保護者が安心して子どもを預ける環境作り

登園時、降園時の家族とのコミュニケーションに重点を置き、家での状況、園での状況 を家族と会話することにより、安心して預けてもらえるように努めました。

火災時や震災時等での避難、不審者侵入による避難誘導訓練も毎月実施し、他事業所と の協力、情報の共有を図りました。

軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘 特別養護老人ホーム豊寿荘

1. 事業の執行概要

平成28年4月から開始した、原田・服部介護予防センターでのとよなか健康大学とデイサービス事業につきましては、ニーズの把握や広報活動の遅れのため、決して順調な船出ではありませんでしたが、徐々に周辺住民や介護保険事業所での知名度や運動プログラムによる健康管理が浸透し、他職種間でも連携が強化されています。特別養護老人ホームの総括といたしましては、第三者のご意見を真摯に受け止め「喜ばれるサービス」を前面に介護と看護、相談員がコミュニケーションを深めて家族様との調整にあたり、スムーズな入退所やショートスティでの新規利用登録者数の向上にもつながり、安定した収入の確保に努められました。反面、在宅事業についは介護支援専門員を増員し地域包括センターから新規依頼、地域連絡会に積極的に参加しニーズの掘り起こしや自施設事業所を支える役に徹しましたが、特に登録ヘルパーの人材確保が進まず、利用率の向上につながりませんでした。地域公益事業である「豊寿荘あいあい食堂」につきましては、低賃金で提供を行う食堂営業時間前後に介護予防プログラムを取り入れました。民生委員・児童委員や行政からの評価をしてもらい、新千里東町の通いの場としての顔となりつつあります、また、地域健康相談活動に職員が出向き、信頼される施設づくりに徹することができました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) ISO9001認証取得について(ケアハウス)

今年度当初から認証取得に向けて、コンサルタント会社の助言をいただき、品質マニュアルを作成しました。介護科を中心に、相談科、看護科、栄養科それぞれの内部監査員研修を行い、11名の内部監査員習得及び更新取得ができました。運用は12月からとなりましたが、事前にケアハウス全職員の勉強会を実施し、ISO9001認証取得の意味から運用方法を学び、意識の統一を確認の上、運用を開始いたしました。年度末には審査をクリアーし、認証が認められ、取得することができました。

(2) ユニットケア推進 (特養)

ユニットリーダー研修に新しくリーダーになった 4名の職員に参加してもらい、職員理解を推進しました。また、24時間シートの記載方法を見直し、文言の統一を図りました。ケアプラン内容とは別に「ちょっとした手助け」が誰でも分かるよう、具体的な記載手法を用いました。また、暮らしの継続が施設でもできる環境づくりに取り組み(ユニット玄関の設えコンテスト)、職員全体でユニットの個性を生みだしていけるようになり、家族や入居者からも高評価を得ることが出来ました。

3. 施設の管理

(1) 建物・設備等の管理について

①建物・設備のメンテナンス (修繕など)

各部署の担当者が自主点検表による毎月の安全点検を実施し、問題があればその都度メンテナンス対応を行いました。3台あるコージェネレーションシステムについて、保守業者よりエンジンは3台とも交換が必要と報告があり、内1台は稼働停止となっています。費用対効果等の検討を行い、使用可能部品を2台に集約して稼働中ですが、機器刷新に向けて今後の対応が必要です。また、ケアハウス4階浴室・2階当直室より漏水が発生し、バイパス管設置等にて対応しました。全館の配管について今後の修繕必要箇所発生が予想されます。

②建物の衛生管理

全館の水回り・植木等害虫駆除を年2回実施し、厨房内害虫駆除は毎月実施しました。 その他法定点検・清掃等を計画的に実施しました。また、エアコンフィルター清掃を年2 回行いましたが、分解洗浄について次年度より計画的に実施予定です。

(2) 事業管理について

①経営

施設事業は安定した利用率を維持できましたが、原田、服部デイサービスを含め在宅事業が収入目標値に対し大幅な乖離が見られ、全体の収支差額が落ち込みました。在宅事業の活性化と地域住民からの更なる信頼を得るため、豊中市から公募があった介護予防センター(原田・庄内・柴原・千里)、シルバーハウジング生活援助員派遣事業(原田・服部)に応募し、平成29年度からの運営をいずれも受託しました。

②危機管理

健康管理面を最重要化し、敏速な対応を掲げた結果、入居者におけるノロウィルスが 0 名、インフルエンザが 4 名と最小限に抑えられました。常勤医師の指示のもと、早期対応にあたったことも要因です。苦情対応も早期に全職員が対応にあたり、大きな問題に至りませんでした。一方事故については、ケアハウスでの骨折事故が増え、今後、健全な体力作りが課題となっています。

(3) 労務管理について

①職員の勤務時間管理(所定外労働の抑制)

介護補助員や事務職員を増員し、本来業務に専念できるようにし、施設職員については 規定時間での業務を終えるようになりました。在宅事業については事務所を巡回し、今日 すべき仕事なのかの判断を管理者に確認してもらいました。

②職員の健康管理

ストレスチェック、満足度調査の集計結果を各事業所の主担当者に周知し、管理者からの何気ない声掛け、ラウンド数を増やす取り組みを行いました。労災は3件発生しましたが、始業前準備体操の実施を呼びかけ腰痛予防に積極的に取り組みました。

(4)虐待防止の取り組み

5月に管理者からのモラール研修、11月には研修センター職員によるフォローアップ研修、3月には日本弁護士会による出張研修「養介護施設従事者による高齢者虐待対応研修」を開催しました。ユニット会議など各事業所での会議で毎回、虐待、不適切なケア予防についての議題項目を追加してもらい、他施設での事例検討も踏まえ、未然防止の要因探しに当りました。昨年度はオレンジカードが4件と提出枚数が減りましたが、今後もこれを委員会で活用し、不適切ケアや虐待につながる恐れのある芽の早期摘み取り手段としてまいります。

(5) 地域公益事業の取り組み

地域とのつながりの拠点「豊寿荘あいあい食堂」を、平成28年9月よりリニューアルオープンしました。3月末までの間で、2,332名の地域住民の方が利用されました。地域自治協議会各種団体との連携も、一年を通じて地域行事等に積極的に参加する事で、「つながり」の強化を図る事が出来ました。また、「豊寿荘あいあい食堂」から福祉に関する情報発信を行い、地域福祉啓発活動の一翼を担いました。

4. 事業・サービスの推進

(1)特別養護老人ホーム

①個別ケアの充実

他職種連携により看取りを5件実施できました。また、人材育成担当を中心に、フォローアップ研修担当者と連携しながら新人育成プログラムを作成し、施設で対応可能なケアの幅をひろげられ、入居者に安全、安心を提供できました。

②浴室環境の改善

個浴内にリフトを設置するには至りませんでしたが、業者に浴室内の環境を確認してもらい、設置できる物を提案してもらいました。次年度早々には設置に繋げるよう働きかけていきます。

③認知症介護実践者研修および認知症介護実践リーダー研修受講の継続

認知症介護実践者研修は1名参加でき、認知症介護実践リーダー研修には1名参加しましたが、年度途中の異動に伴い実績には繋がりませんでした。引き続き、研修の受講参加を勧め、受講者を中心に施設内研修を充実させていきます。

(2) 軽費老人ホーム

①ケアの充実について

園芸クラブを新たに発足し、野菜の栽培(キュウリ、ナス、トマト、サツマイモ)と花の 栽培を行いました。集中して作業されてやりがいを感じられた様でした。今後も内容の充実 と参加者の拡大に努めていきます。また、サーカスを観覧しに鶴見緑地に出かけたり、小規 模の外出会(工場見学)を企画し工場の見学と製品作り(金平糖作りやラーメン作り)に挑 戦されて参加された方は楽しまれました。

②個別ケアの推進

個別支援シートを 100 人分作成しました。グラフにより利用者の状況を明確化にする事により利用者への支援が充実する様に取り組みました。機能訓練指導員による毎日の昼食夕食前の体操を行い、心身状況の改善を図れました。

(3) 短期入所生活介護

事業団北ブロックの短期入所事業所間や法人内他居宅介護支援事業所との連携により緊急的な利用ニーズに応えることができました。空床情報の短期入所事業所間の情報共有を通して、居宅介護支援事業所への情報提供につなげることができ、主介護者の入院による在宅介護が困難となる事例に速やかに対応することが出来ました。重度の認知症利用者、困難な事例に対しても、受け入れミーティングを図り、介護、看護からの積極性のある受け入れを行うこともできました。

(4) 訪問介護

「ゆたか」「ひがしまち」合同で、「宅内環境に近づけた福祉用具(リフト)の取り扱い研修」「重度介護者対応実践的介護技術研修会」を開催しました。また、利用者の状況変化や要望の即応、終末期のご利用者の受入れも柔軟に対応しました。登録ヘルパーの確保のため、自らで作成した募集ポスターを千里地域にポスティングしました。「ゆたか」に正規職員の登録ヘルパーを配置、早朝対応に幅をきたすことができました。居宅介護・重度訪問介護についは利用ニーズが乏しく、利用率が伸びませんでした。

(5) 通所介護

豊寿荘「ゆたか」

認知症実践研修員からのアドバイスをもらい中重度在宅利用者の受け入れを、積極的に居宅事業所に PR し、医療ニーズや要介護 3 以上の新規利用者の獲得を増やすことができ、問い合わせも頻繁に頂けるようになっています。午後からのレクリエーションの時間に手芸や工作レクの教室をサークル活動の方達をボランティア講師として招く事が定期的に出来るようになりました。利用者へ提供できるレクリエーションの幅が広がると同時に、地域の方との交流機会、共に制作を行う時間を持つ事で社会の一員と実感できる時間を作ることができ利用者と地域の方々が共に楽しい時間を過ごす機会を増やすことができました。

原田「ねいろ」

開所の際のスタッフへの介護技術指導が停滞し、利用者獲得までに至らず秋まで低利用率で推移してしまい、大幅に収支目標に及びませんでした。しかし、利用者個々のサービス提供と相談員のこまめな営業活動が実となり、1月~毎月10名程度新規利用者を獲得できるようになりました。認知症対応に特化すべき、畳のスペースを昔のタンスやテレビ等を設置する事で和の雰囲気に変え、落ち着かれない時等にお連れし、穏やかに過ごしていただきました。

服部「かなで」

4月の開所から送迎・入浴業務がスムーズにいかず相談員が現場に入るため営業活動がままならず、低利用率で上半期が経過してしまいしましたが、9月より中重度のご利用者の受け入れを積極的に行える様、看護師の配置を $2\sim3$ 名に加配し居宅介護支援事業所へのアピールを行いました。在宅酸素・胃ろう・褥瘡処置等の対応を強化することで平均介護度を1.6から1.8~と上げることが出来ました。また、かなでサーキット機能訓練、質の高い入浴サービスを実施した結果、知名度もあがり年度末には高利用率の兆しが見られています。

(6) 居宅介護支援事業

「ゆたか」では独居高齢者に対しての身の回りの整理や体調不良時のかけつけ緊急支援を頻繁に提供していき、地域包括支援センターからの信頼を受けています。「ひがしまち」では、東町近隣センターという立地条件を有効に活用し、あいあい食堂と協力しながら、地域の方が気軽に相談しやすい環境作りを心掛けました。介護プラン件数は目標には及びませんでしたが、直接利用者や家族、民生委員・児童委員から相談や、プラン作成依頼されるなど、「『ひがしまち』に相談に行けば何とかなる」という地域住民の方からの声もいただくようになりました。

(7)介護予防センター

①とよなか健康大学の取り組み

前期後期の年2回開講し、OSJ 研修・研究センターはじめ他事業所や地域関係機関の協力を得ながら、適度な体操と認知症予防、栄養学、口腔ケア、地域包括ケアシステムの理解など多彩な講座を各期50講座ずつ運営してきました。更に、出前講座、交友会、文化祭、多世代交流イベント等の開催を通して地域との関係を深め、「とよなか健康大学」の取り組みが住民主体の介護予防事業の拠点となれるよう、その基礎づくりを推進できました。結果、後期は服部介護予防センターから、入学生を多く受け入れました。成果の一つとして、卒業生が、地域の役割にたてる自信を深められ、ボランティアや趣味サークルの活動、再就労へと繋がったケースが出てきています。

軽費老人ホーム万寿荘

1. 事業の執行概要

利用者皆様が安全で安心して生活が営むことができるよう「聴く」「共感する」「手を差し伸べる」ことを目標に、寄り添える支援をすることが出来ました。

サービス面では、日頃、利用者の皆様と関わる中で、課題となることを拾い上げ、職員間で情報を共有。迅速に個別の対応を行うなど、チームケアの充実を図りました。また、各関係事業所にも情報を提供することで、きめ細やかなサービス提供を行いました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) 取り組み内容(旧居宅介護支援事業所の活用について)

平成 25 年から使用されていない旧居宅介護支援事業所(以下「旧居宅」という)の 建物について、地域貢献の一環として開放することとし、建物の改修とともに、今後の 計画・立案の検討を行いました。

(2) 達成目標

万寿荘及び敬老会館の職員による検討委員会を策定し、来年度に向けて計 16 回の検討会議を行いました。建物の立地条件や仕様等を考慮し、池田市内での活動現場での視察も行い、地域の福祉ニーズの把握と、展開できる事業内容の検討を行いました。その結果、来年度の地域開放のメニューとして、敬老会館で好評となっている「脳トレ」を題材とした「脳トレカフェ」を開催することとなりました。

また、来年度以降、高齢者以外の福祉分野も視野に入れた、地域の福祉ニーズの抽出と世代間交流等の幅広い年代の方々が交流できる事業について引き続いて検討を行ってまいります。

3. 施設の管理

- (1) 建物・設備等の管理について
 - ① 建物・設備のメンテナンス(修繕など)
 - (ア) 電気設備改修工事について(万寿荘)

電気設備の老朽化に伴い電気の波及事故を防止し、安定した電気供給の為、高 圧引込ケーブル移設更新工事を行いました。また、高濃度PCB電気部品の処分 について大阪府環境対策課と調整し処分部品の確認を行い、来年度に向けての処 分方針の決定を行いました。

(イ) 防犯カメラの設置について(万寿荘)

池田市より補助金申請が承認されましたので、ご利用者の安全を考慮し、防犯対策として、防犯カメラと警備会社・警察への非常通報システムを設置しました。

(ウ) 敬老会館の電気設備と岩風呂水漏れの改修について

保守点検している業者が作成した電気設備の改修工事のお願いの文章と見積 書を再度、担当である池田市高齢・福祉総務課へ報告し、改修工事を行ってもら うよう要望しました。

岩風呂の水漏れについては改修工事を池田市と調整し、実施して頂きました。

(エ) 敬老会館の健康管理室の改修について

健康管理室の快適な空間づくりの為、カーペットの張替、女子更衣室の間仕切り工事、ソファーベッド・椅子・本棚を新しく設置しました。

(オ) その他(敬老会館)

経年劣化による、ろ過機のポンプパッキン、補給水弁、温調計、薬注ポンプ部 品取替を行いました。 また、陶芸室前和式トイレの詰まりを解消するため通管作業を行いました。

② 建物の衛生管理

毎週日曜日に全館の手すり・ドアノブ・廊下・共用部分を清掃・消毒を行い、感染症予防に努めました。

(2) 事業管理について

① 経営

市役所高齢福祉課・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・民生委員から、 問い合わせや見学があり、入居申し込みに繋げました。また、敬老会館「独居高齢者 食事会」において、万寿荘の PR を行ったことで、入居に繋げたケースがありました。 また、各関係機関からの紹介だけでなく、民間のデイサービスが運営する老人ホーム紹介センターに入居申し込みの相談を行いました。

心身の状況変化による転居については、家族様の協力が希薄なケースで市役所高齢福祉課・市社会福祉協議会・地域包括支援センター・病院関係者とカンファレンスをおこないました。回を重ねて行くうちに、家族様の協力を得ることが出来、退居に繋げたケースがありました。

経営会議を職員会議に組み込み、全職員に経営の実態を把握して頂くことで、コピー使用量・光熱水費の抑制に努めることができました。

② 危機管理

法人全体の総合防災訓練を含む年3回の避難訓練を行うとともに、定期的に安全会議を開催し、他府県での大規模火災や社会福祉施設での殺傷事件への対応などについて職員の意識変革と利用者への安全対策の検討を行いました。

また、施設が行う避難訓練とは別に石橋地区の地域防災訓練について企画段階より職員が実行委員会に参加し、計画の立案と実施について参画を行いました。また、当日は自衛隊・警察・日本赤十字の各団体や市危機管理課・教育委員会・石橋中学校・地域コミュニティ推進協議会・自主防災会の協力により行い、万寿荘の入居者には、地元中学生が誘導。避難場所に集合することができました。また、関係機関からは様々な防災知識を学ぶことができ、地域との協力関係を深めることが出来ました。

(3) 労務管理について

① 職員の勤務時間管理(所定外労働の抑制)

超過勤務の実態把握を行うことで、タイムカードの打刻時間と実勤務時間の乖離 をなくすことが出来ました。就業後、職場に残ることのないよう、職員の意識教育 を行いました。

② 職員の健康管理

体調を崩し、一時安静が必要な事例がありました。検査結果や主治医の意見を踏まえ、嘱託医と相談することで、スムーズな復帰に繋げることが出来ました。

(4) 虐待防止の取り組み

職員会議にて虐待防止委員会を行い「聴き方・伝え方」をテーマに研修をおこないました。また、事業団や大阪府とともに、新聞記事や厚生労働省等から情報提供される虐待事例を全職員で情報を共有し、その要因・分析を行うことで虐待防止に繋げました。

(5) 地域公益事業の取り組み

① 介護予防対策

地域の高齢者が要介護状態にならないように「介護予防教室」を敬老会館・万寿荘 合同で12回/年行いました。また、新たに池田市立五月山体育館の職員に講演を依 頼。

「高齢者軽トレーニング」を行いました。結果、年間延べ341名の参加がありました。

そして10回/年以上参加された方には、「頑張ったで賞」の表彰と記念品の贈呈を行い、14名の方が受賞されました。

② 独居高齢者対策

地域の各関係機関と連携し、独居高齢者の掘り起こしを行いました。長期にわたり来館されない方への、安否確認を行いました。

また、引きこもり予防や高齢者福祉の情報提供の為、「独居高齢者食事会」を年2回行い、万寿荘のPRや困っている事を話して頂き、問題解決の意見交換を行いました。結果、万寿荘への入所に繋がったケースがありました。

その他、地域高齢者のひきこもり予防と敬老会館利用促進のため、「みんなの居場所」を2回/週、全89回行い、延べ167名の参加がありました。

③ 認知症対策

「脳トレーニングプログラム」を1回/月行い、1年間延べ352名の参加がありました。今年度から最初と最後に同じ問題を解いて頂き、どれだけ脳が活性されたかを比較し、ほとんどの方が向上されていました。

これにより、利用者のモチベーションアップに繋げることが出来ました。

④ 交通安全対策

地域の高齢者を対象に池田警察と協力して年2回「交通安全啓蒙活動」を行いました。また、安全会議や全体懇談会で利用者に交通安全知識の啓発を行いました。

4. 事業・サービスの推進

(1) 軽費老人ホーム 万寿荘

① 人材育成と職場環境の整備

リスク研修・虐待防止研修に加え、転倒防止研修を新たに追加し、ヒヤリハットの活用やケース検討会議を、その都度開き要因と分析を行うことで事故防止の意識付けを図りました。

継続して年2回の接遇自己チェックを実施し、年度最終の研修日には職員全員で実際に体験グッズを使用し、自身の振り返りの機会としました。

② 地域福祉の推進の取り組み

「環境にやさしいまち池田」をテーマに、いけだエコスタッフから講師を依頼。市 環境部環境対策課の協力を頂き、家庭で出来るエコ対策として「エコ教室」を開催し ました。

福祉体験実習の受け入れとして、新たに1校、計3校の受け入れを行いました。実 習内容として「介護予防教室」に、地域の高齢者と共に参加するとともに、万寿荘の 入居者との交流会を実習生自身が企画・立案し、実際にそれを行うことで、世代間交 流を行うことが出来ました。

(2) 池田市立敬老会館

① 老人大学

老人大学「いけてるキャンパス」を12回/年開催し、延べ856名の参加がありました。そして、全ての講座を受けられた方には、「皆勤賞」の表彰と記念品の贈呈を行い、17名の方が受賞されました。

② 健康相談

健康相談を週2回、全89回行い、延べ838名の参加がありました。

利用者の衛生と健康増進を図るため、浴場を全234日開場し、延べ19,562 名の利用がありました。そして、ヘルストロンを全267日開放し、延べ16,18 0名の利用がありました。

また「健康講座」を行い、骨密度を測定して値が低い方には医療と栄養の面から骨 折や骨粗しょう症予防の説明をしました。当日は14名の参加がありました。

③ 生活相談

困った時、相談できる人が誰も居ない利用者の方に地域包括支援センターの役割り を説明し、担当の連絡先の書いた資料を渡して相談に行くよう勧めました。

④ 趣味の部会

趣味の部会補助金交付要綱に該当する部会に補助金を給付し、趣味の部会講師要件に該当する講師に講師料を給付しました。

趣味の部会役員会や部会長会議に出席し、敬老会館行事への出席依頼や意見交換を行うことで円滑な関係作りが出来ました。

また、敬老の里まつりを趣味の部会、万寿荘、白寿荘、石橋保育所などと共同開催 し、1,276名の参加がありました。

⑤ ボランティア支援

ボランティアきっかけ講座を万寿荘と共同開催し、地域包括支援センターからのボランティア団体の紹介、ボランティア団体からの体験談を話して頂き、交流を図りました。なお、当日は20名の参加がありました。

軽費老人ホーム 河南荘

1、事業の執行概要

河南荘は軽費老人ホーム A 型として 90 名の定員で事業運営を行い 4 年が経過しましたが、今年度も南河内圏域だけではなく大阪府下全域を対象としたセーフティーネットの役割を果たすべく、独居高齢者や虐待等による要援護高齢者、生活困窮高齢者の受け入れを積極的に実施してきました。加えて生活保護受給者への経済的な支援として河南荘独自の減免制度を創設し、要綱により対象者を定め生活費の減免を実施しました。成年後見制度については、家族や親族の支援が困難な入居者 3 名の申請を行い関係各位の協力も得て2 名の方に後見人、保佐人の支援が整いました。今後も身寄りの薄い入居者が安心して生活出来るよう制度の活用を続けたいと思います。また、地域生活定着支援事業による矯正施設等からの出所者の受け入れの準備を行い、平成 29 年 4 月には 1 名の方の入所される予定です。

医療ニーズへの対応については看護師 2 名体制で対応をしていますが、日々の健康管理 に加え緊急な受診や入院、処方薬の服薬管理が必要な方の増加もあり、今後の支援体制に ついては検討が必要となっています。

生活支援については、個別支援計画により、生活状態の変化に迅速に対応が可能となり施設での安全・安心な生活が継続出来るような支援を介護職員中心に行えました。また、介護サービスについては、法人内外の在宅事業所と連携し、支援体制を一層強化することができました。加えて生活の活性化、閉じこもり防止の支援としては、外出機会が少ない入所者を中心に近郊の公園の散策や昼食会を実施するとともに、介護予防と転倒予防の目的で毎週何らかの体操プログラムを実施いたしました。

2、平成28年度ステップアップ事業

(1) 軽費老人ホーム A 型の見える化事業

①取り組み内容

平成27年に軽費分科会で作成した「個別支援シート」を活用して個別支援計画の全面見直しを行いました。6か月更新を継続し順次入れ替えながら年度半ばには全入所者が新しい個別支援計画に切り替えることができました。このことで、課題抽出の工程に「見える化」が図られ、課題の出現からサービス提供までにかかる時間が短縮され、ホームが提供する生活支援と外部の介護保険サービスの併用による効果的な課題対応が可能となりました。

3、施設の管理

(1)建物・設備等の管理について

施設全体の老朽化は否めず、雨天の際の雨漏りや居室ベランダ柵に備え付けの花壇のヒビ割れ劣化は日を追うごとに目立つようになってきています。厨房の床のヒビ割れと排水溝の劣化は著しく早急の改修が必要です。共有スペースのエアコンの補修工事は2台実施しましたが、居室内のエアコンの故障はありませんでした。また、赤い羽根共同募金配分金で居室内のトイレ改修が予定通り行われ、蓋の無いトイレについては全て改修されました。なお、昨年度の廊下全面絨毯張り替えの効果もあり雨天時に廊下が湿気で濡れた状態になる事はありませんでした。

(2) 事業管理について

①経営

収入については、大幅な定員割れに伴い予想を大きく下回る減収になりました。新 規入所者の獲得のために、各自治体の地域包括支援センターへ訪問して施設概要と 空き情報等広報活動を行ってきましたが、90名の定員確保には繋がりませんでし た。支出については大規模な補修改修がなく、また経費削減にも努めて予算内で納 める事ができました。

②危機管理

避難訓練を昼夜間想定で2回実施しました。また、河南町の総合防災訓練に入居者とともに参加し防災意識を高めていただきました。法人の合同総合防災訓練では大阪府障害者福祉事業団と連携し、炊き出し訓練を行い相互協力について意見交換を行いました。

感染症については、ノロウィルス感染疑者が1名出ましたが新たな発症者や感染はありませんでした。感染症対策としては定期的な館内清掃、消毒を実施しました。今年度の重大事故は4件、転倒事故も昨年に比べ減少しました。これは廊下の絨毯張り加工や階段の手摺り取り付けによる環境整備と介護予防体操プログラムの実施による効果だと考えています。

(3) 労務管理について

入所者の個々のニーズに対応するため、昨年から引き続き医療ニーズに看護職員2 名体制で対応しました。経理、総務事務は主事職員1名を配置しましたが、相談員補助の非常職員1名を相談員と主事の兼務として効率化を図りました。昨年度に引き続き朝食時の安全確保と見守り強化のためシルバー人材センターから2名の補助職員を配置しました。

①職員の勤務時間の管理(所定労働時間の抑制)

各部署それぞれの適正な業務遂行を徹底し、必要時は業務の効率化とスリム化を検 討して超過勤務の抑制に努めました。

②職員の健康管理

全職員漏れることなく健康診断を実施しました。結果内容で再検査等の必要な職員 については速やかに受診検査するように促して健康管理に努めるように指導しまし た。感染症の時期については毎朝の体温測定と出勤時や外出先からの戻った際など の手洗いうがいの励行にも努めました。

(4) 虐待防止の取り組み

虐待防止への意識が希薄にならないよう全職員向けの定期的なアンケートを行い、研修研究センターから講師を招いての研修会を実施しました。また、職員会議や回覧にて 虐待案件の内容について情報公開を行いその防止について意見交換を行いました。

(5) 地域公益事業の取り組み

河南町の高齢者、障害者を取り巻く交通事情を踏まえて平成28年9月より福祉有償輸送事業を開始しました。事業開始後現在は河南荘の要介護状態の入居者を限定して実施していますが今後は、河南町社会福祉協議会が行っているボランティア移送サービスと連携しながら地域の方々にサービスを提供できるように検討しています。

介護予防体操や音楽療法のプログラムを地域住民参加型にし、送迎支援も行って毎回 3名程度の方にご参加いただいています。今後は、プログラムの実施日を定例化して一 人でも多くの地域の皆様にご参加いただけるようにしていきます。

4、事業・サービスの推進

(1)福祉有償輸送事業

平成28年9月より事業認可を受けて事業を開始しました。入所者登録者20名になり運送回数も90回を超えました。主に通院の送迎ですが入所者の交通費負担の抑制に繋がっています。今後は地域住民にも拡大していきたいと考えています。

障がい者支援施設みずほおおぞら

特別養護老人ホームみずほおおぞら

1. 事業の執行概要

今年度は、年度当初に新施設の開設に伴う準備室を施設内に設け、計画的に事業所移転、 拡充を進めました。新施設の建設も当初予定通りに進み、7月に竣工、8月より障がい者事業を、9月より一部障がい者事業を含む高齢者事業を開始することができました。

事業開始後には、行政機関、事業所、地域住民等の施設見学が相次ぎ、当施設の関心の高さを示す結果となりました。一方で、当初予定していた定員枠については、施設入所支援を利用されると想定していた市外の入所施設利用者からの申込が無く市内の在宅の方からの依頼となるなど、移転後の事業運営直後はなかなか利用に結びつきませんでしたが、丁寧な対応を心得ることで、徐々に利用希望者が増えてきました。

2. 平成28年度ステップアップ事業

(1) TEACCH (Treatment and Education of Autistic and related Communication related handicapped Children) プログラムを活用した具体的支援の実践(障がい分野)

昨年度に引き続き自閉症 e サービスに参加し、TEACCH プログラムの研修に参加するとともに研修内容を具体的な実践に結び付けていく取り組みを行いましたが、8 月の新施設への移転に伴い、施設規模が大きくなり経験の少ない職員が相対的に増えたことから、昨年度からの積み上げには至らず基本的な自閉症の理解、支援の原則の確認にとどまりました。

新しく利用開始された方の中に、これまでTEACCHプログラムを取り入れた支援をご家庭や活動の中で実践されている方がおられ、その支援を引き継ぐことで噛みつきなどの行動障がいをTEACCHプログラムを活用して、どのように軽減されているのを学ぶことができました。目標として、年度末に実践報告会の開催を挙げておりましたが、効果測定を行えるほどの実践には至らず、3月に開催されましたOSJぷらざにて、生活介護・就労継続支援B型、施設入所支援から、それぞれに取り組みを行った自閉症方のケースを発表し取り組みの共有化を図りました。

(2) 24 時間シートの活用について

サブリーダーを中心に委員会を構成し、委員会を中心として 24 時間シートの目的共有や作成手順の見直し等を行いながら、シート作成に着手しました。結果、全員の 24 時間シートを作成することで、ケアを客観視できる指標となりました。一方で、24 時間シートを全職員が十分に理解した上で同じ目線でケアに当たるまでには至りませんでした。今後は、24 時間シートを活用し、ケアにあたる職員が同じ方向を向いてケアができるようにしていく必要があります。

3. 施設の管理

(2) 事業管理について

①経営

全般に、事業開始より当初予定していた利用実績に達しなかったことから、収支面では低調な結果となりました。中でも、障がい事業については、当初は、市外の施設に入所している障がいのある方が豊中市に戻ってくるきっかけとして施設入所支援を利用する想定でしたが、結果としては、市内の他事業所を利用している方が夜間の安心を求めて利用される方が多数を占める結果となりました。結果、生活介護事業については、

当初予定と大きく乖離する結果となりました。

高齢者事業については、特に短期入所生活介護事業の利用が伸び悩み、結果として低調なものとなりました。ただし、丁寧に対応を続けた結果、年度末には、ほぼ定員一杯に利用していただくようになりました。

②危機管理

今年度は、1月から2月にかけて、特別養護老人ホームを中心に、ご利用者、職員ともにインフルエンザ感染者が複数人発生しましたが、都度、臨時感染症委員会を開催し、現状把握及び対応策を見直すことで、集団感染につながることなく終息することができました。

(3) 労務管理について

①職員の勤務時間管理

8月の事業所移転に伴い、事業所定員及び事業所数が増加したため、新たに多くの職員を雇用することとなりました。事業開始直後は、人員に余力がない状態だったため、一部職員に負荷がかかっていましたが、徐々に人員を確保する中で、幾分課題は残っているものの適正な労働時間に終息することができました。

②職員の健康管理について (労働災害について)

労働災害については、年間で7件となりました。うち、3件は道路が凍結しており、自転車等がスリップして受傷したもの、2件は、ご利用者からの他害行為によるものでした。いずれも、通勤に際しては施設が自動車通勤を抑制しているため、自転車等の利用が多いこと、施設が高齢者及び障がい者の受け入れをしており、相対的に若い年齢の方は力が強いため、職員自身が避難することが困難だったことが挙げられます。いずれも、情報を部署間で共有するとともに、衛生委員会でも改善につとめるよう、議題として取り上げました。

(4) 虐待防止の取り組み

虐待防止委員会においては、新たな取り組みとして、他法人理事長にオブザーバーとして出席いただき、スーパーバイズをいただきました。内容は、虐待防止チェックリストの活用等行いました。平成 27 年度短期入所において不適切な支援が認められて以降 、全職員対象に「適切な支援のために」の研修を実施するとともに、虐待防止月間には、『「わからない」を減らそう!!』のアンケートとそのフィードバックを行いました。

研修にあたっては、法人の虐待防止研修・虐待防止フォローアップ研修に加え、平成28年度大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修に参加し、職員への伝達研修を行いました。

(5) 地域公益事業の取り組み

地域でお住まいの障害のある方で、フォーマルなサービスにつながっていない方を対象 として、興味のある行事等に参加してもらうことができないか模索しましたが、結果とし ては、対象者の把握をすることが十分にできませんでした。

そのため、内容を見直すため、相談支援事業所に対し、対象者の把握数や提案内容等についてアンケートを実施しました。次年度は、結果を踏まえて、市内相談支援事業所とも連携をとりながら、より多くの方に参加していただく取り組みにしていきます。

4. 事業・サービスの推進

(1)特別養護老人ホーム事業

①ユニットケアの推進の取り組み

開所以来、ユニットリーダーを中心にユニット個々の特色として、ユニットリーダーを中心に家庭的な雰囲気を感じていただけるよう、リビングの設えに力を注ぎました。

食事場面では、クックチル食材を取り入れることで、普段関わる職員がユニットのリビングで調理をすることが可能となり、調理場面を通じて会話が生まれたり、盛り付けや配膳などを一緒に手伝っていただけるような関係も出来ています。

一方、ユニットケア推進委員会を定期的に実施しましたが、ユニットケアの醸成までには 至りませんでした。

(2) 施設入所支援事業

①新しい環境の受け入れへの取り組み

自閉的傾向の強い方などに視覚優位の障がい特性がある方には、絵カードの活用を積極的に取り入れるなど、視覚的支援を含めた、わかりやすい情報の伝達、見通しのある生活の実現に向けて、一つ一つ改善しながら取り組みました。

②客観的指標作成に係る取り組みの推進

安定した支援の実施を目的に、個人ごとに支援情報を時間軸に配置しながら整理しました。 そのことで、

(2) 生活介護事業

① 発達に応じた支援の実施について

日々の活動場面の中で、ご利用者の強みを活かせる場が提供できるように、一人ひとりの役割や日課を確立し、通所する目的を感じて頂けるように努めました。

また、自己決定の場を増やしていけるように選択肢を用意する、利用者間で考えやすいような話題作りの提供に力を入れて関わりを持つように努めました。

作業に関しては、今まで行ってきた作業内容を引き続き実施するとともに、「生活場面で必要な内容(お金の計算・買い物の練習)の練習をし、その後外出行事で実践する」というプログラムを導入しました。製作活動に関しては、季節感を体感して頂く・他のご利用者と協力して一つの作品を作り上げる。という工程を大切に考えながら、達成感を享受することになりました。

また、8月に施設が移転した、との報告、個別にスケジュールの提示方法を工夫したり、 作業とそれ以外の活動提供の区別がつきやすいようにレイアウト調整を実施しました。

(3) 就労継続支援B型事業

①オリジナル商品の開発・製作について

さをり織りに関しては、豊中市のふるさと納税返礼品として取り扱っているブックカバーの織布の作成を請け負うことができました。当施設を含めて3施設がそれぞれの得意分野を活かして作成にあたりました。

委託作業に関しては、新たに市政だよりを地域の自宅に配布する作業や、豊中市から委託された水道メーターを分解する作業に挑戦しており、ご利用者の中でも達成感を感じておられました。

今後の課題としては契約業者の拡大や外部就労の機会を設けて、特定の作業工程以外にも 挑戦して頂けるように努めていきたいと考えています。

(5) 就労継続支援A型事業

①専門的な技術と合理的配慮に基づいた支援の取り組みについて

今年度は、法人傘下の高齢者施設内にてご利用者が喫食する朝食用のパンを製造する事業 を実施しました。9月より開始し、10月の段階で7施設に納品することができました。 ご利用者の受け入れにあたり、製パン業界の従事者を招いて指導いただき、障がいのあるご利用者への技術指導がスムーズに行える体制を整えることができました。また、様々な障がいのある方が利用されているため、製パン作業の工程を見直すなど、障がい特性に応じた合理的配慮を行うことで、その人の得意なところを活かせるような支援に繋がり、結果として継続して利用することができました。

(6) 短期入所生活介護事業

① 信頼を得る事業所になるための取り組みについて

利用にあたっては、アセスメントを丁寧に実施するとともに、関係職種間で情報を共有することで、利用環境を在宅での生活環境により近づけるように取り組みました。結果、行動制限を極力しない環境で過ごしてもらうことができました。また、緊急利用にも可能な限り対応してきました。

事業開始当初はなかなか利用実績につながらず、期間を通じた平均利用率は 57.5%と低調なものとなりましたが、利用を通じてご家族、居宅介護支援事業所にも信頼を得た結果、3月実績は 99.1%と次年度に向けての良い兆しとなっています。

(7) 相談支援事業

① 利用実績について

3 名の相談支援専門員が専従でケースを担当し、また、事業所内でもこまめにミーティングを開催することで情報共有を図ることができた結果、計画相談支援の件数としては、昨年度末の約 60 件から、100 件を超えるまでに増加しました。併せて、障がい児相談支援、地域移行・定着支援もケースとして関わることが増加していきました。

② 地域に根差した事業所係について

計画相談には結びつかないものも含め、豊中市からの委託ケースについても引き続き取り組んでいます。相談支援事業所連絡会「えん」、自立支援協議会、障害者啓発委員会の定例会議、イベントにも積極的にかかわり、基幹相談支援センターや他関係事業所との良好な協力関係を作ることと情報収集に努めました。

(8) 短期入所事業

- ① 新しい環境を受け入れてもらうための取り組み 以前の事業所場所から移転にともなう環境の変化に混乱の無いよう、視覚支援による情報を提供していきました。結果、安心して利用していただけるようになりました。
- ② 安定した支援の提供の取り組み。 各利用者ごとに、必要な支援を客観的に示している支援実施書を作成し、支援情報が 共有できるよう努めました。
- ③ 利用者受け入れの取り組みの推進 見学・契約へのスムーズな対応、相談支援事業所との連携し情報を共有し安心してご利 用いただける体制作りに取り組みました。

(9) 日中一時支援事業

- ① 新しい環境の受け入れへの取り組み 短期入所事業と同様に視覚的支援やスケジュールの提示を行い移転後の環境の変化に 混乱の無いよう支援に努めました。
- ② 利用者受け入れの取り組みの推進 見学から契約へのスムーズな対応、緊急性にも対応できる体制づくりに努めました。

事務局

1. 事業の執行概要

平成 28 年度は、中長期経営計画後期実施計画の実施 1 年目となることから、事務局においても、この中長期経営計画に定められた多くの項目が確実に進捗できるよう、各施設の取り組みをサポートすると共に、事務局で実施する項目についても積極的に取り組みを進めました。特に今年度は、社会福祉法等の一部改正を受け経営組織のガバナンス強化のための組織体制の再編や会計監査人の導入準備、そして地域における公益的な取り組みとして、事務局においても OSJ 研修研究センターの空きスペースを活用した定期的な子どもの居場所づくりや福祉体験を目的とした、夏休みの学習体験等を実施することができました。

また、昨年度に引き続き人材確保、人材定着を図るための取り組みについても推進し、求職者等を対象とした施設見学バスツアーやハローワーク主催の介護体験セミナーに参加すると共に、魅力ある法人を発信するため、SNS の活用についても検討し、その運用を開始することができました。

さらに、中長期的な視野を持った資金管理の徹底を図るため、平成 30 年度の介護報酬改定や平成 31 年度からの消費税増税を見据え、建物の保全計画の予定を踏まえた収支シミュレーションを実施すると共に、経費削減のための取り組みについてもさらなるスケールメリットを生み出すことを目的に他法人との共同による一括購入を実現することができました。

その他にも、給食業務委託について、平成 29 年度をもって現契約が満了となることから、平成 30 年度からの給食業者選定の実施に向けて、各給食業者からのヒアリングを行い、それらの内容を参考にして仕様書の見直しや選定方法を検討し、その準備を進めることができました。

2. ステップアップ事業

(1) リスク事例集の作成

施設を運営していくには、苦情や事故対応、感染症対策など、あらゆるリスクに 対応していく必要があることから、法人内で実際に発生した事故、苦情、感染症、 労務トラブル等に関するリスク事例をもとに、その対応方法等に関する分析を行い、 より良い対応方法等を記載したリスク事例集の作成に着手しましたが、達成目標で ある事例集の完成には至りませんでした。

3. 事業内容

- (1) 総務がループ
- ①人材確保と定着のための取り組み

求職者等を対象に施設見学バスツアーを北摂地域で2日間開催し、計27名の参加がありました。バスツアーでは、事業団の様々な種別の事業所を見学してもらい、現場で働く職員の声を聞く機会や昼食を召しあがってもらう企画を実施し参加者から好評を得ました。また、ハローワーク主催の介護体験セミナーに協力参加し、介護技術の基本を体験していただくことで、介護経験が全くない求職者に興味を持ってもらえるような取り組みも実施しました。

また、法人の魅力を発信するため、SNSの活用を検討し、公式フェイスブックページの運用方針を定め、平成29年11月より運用を開始し、職員採用情報や新規事業の取り組み、地域公益事業の実施状況等を掲載することで、法人の取り組みを広く外部に発信することができました。

②働きやすい職場作りについての検討

育児の短時間勤務について、仕事と育児・介護の両立のため、従前、養育する子が3歳になるまで取得可能であったものを養育する子が小学校に入学するまで取得できるようにその期間を拡大しました。また、全職員を対象に、育児休業は最大で子どもが3歳になるまで、介護休業は通算1年間取得可能とし、法律を上回る改正をすることで、職員がより安心して働き続けることができる職場環境を構築しました。

③職員のメンタルヘルスケアの充実

ストレスチェック制度に基づいたストレスチェックを実施し、高ストレス者と判定された人に対する医師の面接指導体制を整えました。ストレスチェックの分析については、職種や事業所毎で結果を集計することで課題を抽出し、各施設の衛生委員会にて働きやすい職場環境づくりに向けた検討を行いました。

④職員評価方法の見直しの検討

他法人等の職員評価制度内容を調査するとともに、評価項目をより具体的でわかりやすい内容に変更することや昇給・昇任等のキャリアパスへの活用方法、職員満足度の向上につながる評価方法等について検討しました。

(2) 経理グループ

①会計規律を確立するための取り組み

会計規律を確立する取り組みとして、法人内部監査チェックリストを更新し、その内部監査における指摘事項に対して、より具体的な改善報告を求めることにより、確実にその改善が成されるよう取り組みました。また、平成29年度に実施される会計監査人の候補者を選定し、候補者による会計監査予備調査を実施、その指摘事項の改善を行い、平成29年度の会計監査に備えることができました。

②事務の集中化についての検討と経理担当職員の育成

平成28年度より3施設8拠点区分の経理事務の集中化を試行的に実施することができましたが、その運用にあたり、業務の効率性などの課題も出てくることになりました。経理担当職員の育成については、新人職員の育成を中心に取り組み、会計基礎研修の実施、予算、決算などの特定の業務の前には、全体への説明とは別に当該職員を対象とした説明会を実施することにより育成に努めました。

③経費削減への取り組み

新たな経費削減の手段として新電力導入の検討をおこないましたが、検討の結果、既存の電力を使用することで削減メリットがあったため新電力の導入は見送りました。また、スケールメリットを生かした他法人との共同購入については、3つの契約について他法人との一括入札を実施し経費を削減することができました。

④中長期的な視野を持った資金管理の徹底

平成 30 年度の介護報酬改定、平成 31 年度からの消費税増税や、法人の施設保全計画の予定を踏まえた収支シュミュレーションを実施し、各年度に必要となる積立額を勘案した予算作成をおこなうことができましたが、施設保全計画の更新、職員定数に基づく人件費の推移等、資金管理の重要な要素となる内容の見直しを行うことについては 29 年度への課題となりました。

(3) 企画指導グループ

①新規事業の取り組み

法人で初めてとなる保育事業の実施に向け、平成 28 年 4 月から新たに創設された 企業主導型保育事業についての調査を行い、当該事業を永寿園とよなかで開始する ために必要な施設改修工事の調整や事務手続きを進めるなど、平成 28 年 12 月 1 日 からの開所に向けて施設のサポートを行いました。

また、豊中市においては、4つの老人福祉センターについて、介護予防センターへの再編に向けた公募があり、豊寿荘と共に介護予防に資する取り組みについて、協議を重ねた内容を提案し選定を受けることができました。さらに、みずほおおぞらに隣接した生活介護事業所の豊中市立みのり園についても、民間事業者による運営について公募があったことから、みずほおおぞらとの一体的な運営による、様々な障がい者ニーズに応えられる体制の構築に向けて応募し、その選定を受けることができました。

②医療系サービス実施に向けた検討

高齢者の在宅生活を維持していくための一貫したサービス提供体制作りのため、医療的サービスへの参入の必要性はますます高まってきていることから、訪問看護事業の開

設に向けて公的な機関による収支実態調査等の報告書をもとに情報収集を開始しました。 その中で、看護職員の確保、診療所との密接な関係作りへの課題が上がってきており、 職員確保対策の検討と、当法人が運営している診療所の機能追加等について今後の検討 課題となりました。

②食事サービスの充実

食事については、平成 29 年度で給食委託業者との契約が満了となることから、給食検討 PT において、平成 30 年度からの給食業者選定を実施に向けて、各給食業者からのヒアリングを実施するとともに、より多くの給食業者が参画することで、さらに質の高い食事提供ができるよう、仕様書の見直しや選定方法を検討し、その準備を進めました。

③管理監督体制の強化

近年、事業規模が拡大し、それに伴い職員数も著しく増加していることから、適正な事業運営、管理の徹底を図るべく、平成28年度は法人内施設を南北に分け監査の実施期間を増やすことで、より細かく内部監査を実施しました。また、内部監査の改善報告のあり方も見直し、監査当日の指摘事項について、事務局内で精査をしてから文書指導として改めて各施設に通知することとし、指摘内容を整理してから明確に伝えることで、各施設が指摘事項について十分にその趣旨を理解し改善を図ることができました。

④子育て世代への支援

OSJ 研修研究センターの空きスペースを活用し、子どもの居場所づくりに取り組みました。「子どもわくわく体験」と名打って夏休みには自由研究課題の支援として、車いす体験学習や白島荘グループホームでのプチボランティア体験を実施し、その他にも絵本の音読会や親子ランチ会を開催するとともに、子供わくわく体験の実施にあたっては学びだけでなく映画会やお菓子のデコレーション、昔遊びなどを加えて楽しく過ごせるよう企画しました。子どもやその保護者には福祉・介護を知ってもらう機会となり、高齢者には子ども達との多世代交流が図れる機会となり参加者からは好評を得ました。

OSJ研修・研究センター

(1) 内部研修機能の強化

平成28年度より、新規採用職員に対して、採用すぐの研修の実施やフォローアップ体制の充実を図ることを目的として、人材育成担当職員が各施設に配置されました。「採用前・採用時基礎研修」の講師を担うことで、研修が随時実施され、速やかな研修の受講に繋げることで、より多くの職員が基礎知識を身につけたうえで現場に入ることができました。また、新規採用職員に対して、数回に渡ってフォローアップ研修を実施することで、職員の不安軽減に資することができました。

他法人施設研修として、地域包括ケアの先進的な実践施設でもある、社会福祉法人恵 仁福祉協会 高齢者総合福祉施設アザレアンさなだへの施設研修会を実施しました。市 町村と特別養護老人ホーム等の連携のもと、地域分散型サテライトケアとして各地域で 民家等を活用し、小規模で多機能なサービス拠点を展開しておられる事例を実際に見学 させて頂くことで、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けるために必要なサービス提供 の仕組みや、地域全体で取り組む街づくりについて学ぶことができました。

専門職種別研修においては、看護職員やサービス提供責任者に続き、地域包括支援センター職員に対しての研修も実施しています。

また、法人の中核を担う職員の育成については、リーダー養成自己啓発研修等において、管理者としての円滑な業務の進め方やファシリテーションスキル、効果的なプレゼンテーションに向けての内容を盛り込むなど研修プログラムの見直しを図り、より積極的な参加を促進し、法人運営の基盤づくりに努めました。

(2) 外部研修機能の強化

今年度より新たに大阪府より介護福祉士実務者研修の養成校指定を受けることができました。すでに実施している介護職員初任者研修と連動して運営することで、介護職としてのキャリアアップを促進することができます。

また、地域支援事業「介護予防・日常生活支援総合事業」における生活支援サービス 従事者の養成研修については、くすのき広域連合、豊中市、箕面市の3つの市町村から 新たに受託し、研修を実施しました。研修テキストの作成から講師派遣等研修運営を含 めすべてを担うことで、そのノウハウを法人へ還元することができます。

堺市より受託している堺市認知症介護実践研修(実践者研修)等開催業務については、 新たに堺市認知症介護基礎研修が追加となり、4種類の研修運営を行いました。

(3) 地域啓発機能の強化

OSJ研修・研究センターにおいて、介護に興味のある方や介護業務にブランクのある方を対象に介護ミニ講座を実施しました。10種類の講座を1クールとし、年間通して3クール実施、合計で25名の方が参加され、結果として介護の仕事に繋げることができました。さらに研修・研究センターのみでの実施に留まることなく、春日丘荘・豊寿荘・みずほおおぞら等でも実施し、介護の魅力を率先して伝えています。さらに、とよなか健康大学への講師派遣等、介護予防や健康に関する研修についても実施しました。

また、研修・研究センターで実施している介護福祉士や介護支援専門員の受験対策セミナー、苦情対応研修等を他法人にも公開することで、介護従事者等の知識・技術向上に取り組みました。

事務局企画指導グループ及び白島荘と協働し、地域住民向けに、子どもわくわく体験会を実施しました。高齢・障がい体験やボランティア体験を通して福祉や認知症について楽しみながら学ぶことで、高齢者や障がい者をより身近に感じてもらえるような働きかけを行い、地域福祉の推進に貢献しました。

(4) 研究・開発機能の強化

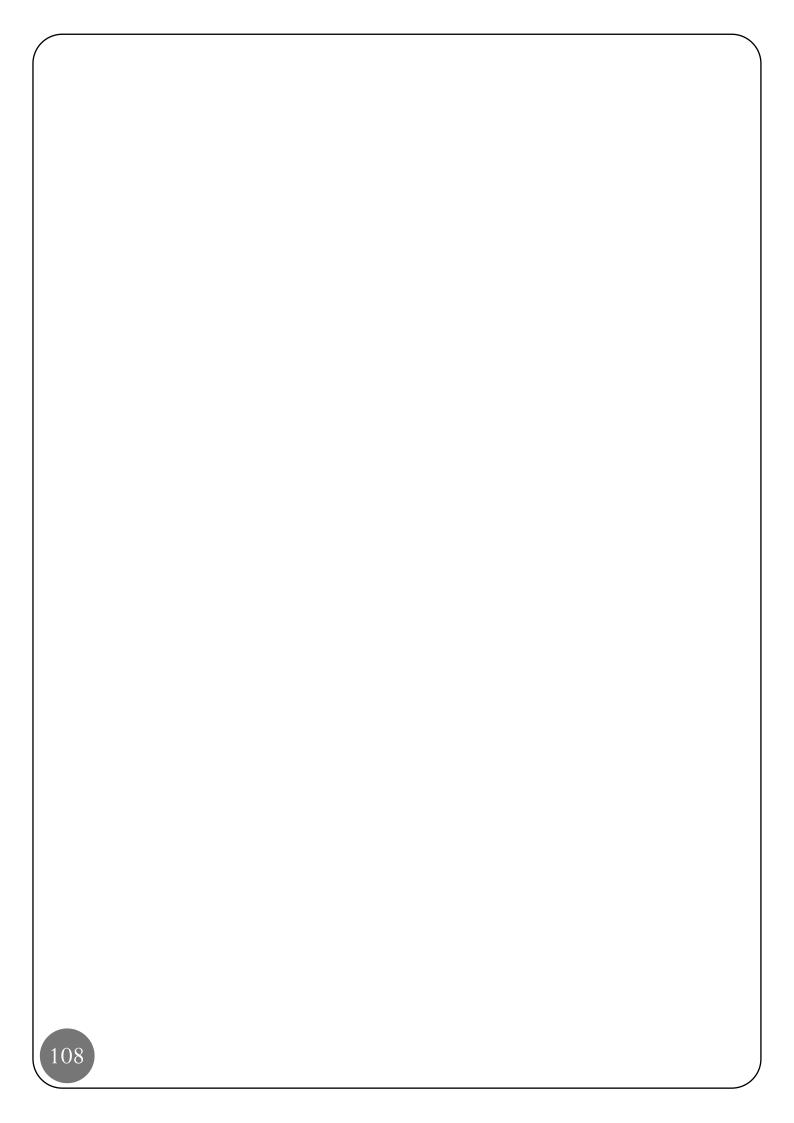
「大阪大学・OSJ認知症ケア研究会」では、高槻荘や美原荘「すごうの郷」で、各6事例の事例検討会を実施し、その取り組みの成果等は研修を通じて法人内に発信しています。

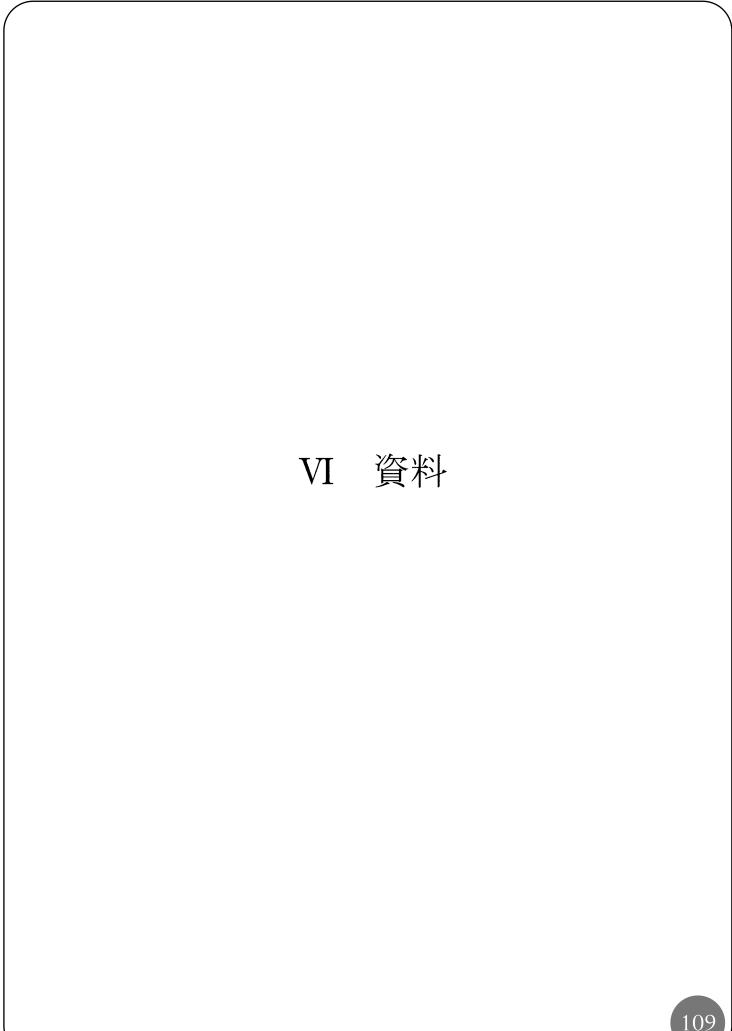
また、共同研究の一環である、ニッセイ財団助成事業「日常会話形式による認知症スクリーニング法の開発と医療介護連携」において、調査内容の計画やデータ収集に携わりました。日常会話により認知機能を評価する方法を開発し、その検査の精度やコミュニケーションとの関係性について検討しました。本研究によって開発された日常会話式認知機能評価(Conversational Assessment of Neurocognitive Dysfunction; CANDy(キャンディ)) は対象者との自由な会話の中から認知機能を評価するものであり、さらに、評価するために会話をすることで利用者とのコミュニケーションも促進されることが示されました。

(5)情報提供機能の強化

研修・研究センターの自習室を開放し、誰もが気軽に立ち寄れる環境づくりに向け取り組みました。介護ミニ講座や研修に参加された方が立ち寄る機会も増え、書籍の貸出しも行っています。併せて、ホームページの見直しを図ることで、研修・研究センターの情報をよりスムーズに閲覧、取得できるよう整えました。

さらに、平成28年度大阪府介護人材育成確保支援事業において、補助対象事業として採択され、「私もなりたい介護職」をテーマに、法人内職員から実体験に基づくエピソードを募り、「さみしくないよ」「ひとりじゃないよ」「うちの子でっせ」の3種類の介護絵本を作成・製本することができました。介護絵本は近隣小学校への訪問や子どもわくわく体験会等において、読み聞かせや認知症〇×クイズ等で活用し、絵本の普及を通じて、魅力ある介護の仕事の啓発に努めています。





1. 入所者・利用者状況

(1) 入退所状況

										入	所											退				所					İ .		_	l	
	区分		家	庭	特	養	老	健	病	院	有料		その	他		累計		死	Ċ	入	院	家族	引取	施設	替え	その	他		累計		年	度末人	人員	年度	末待
	, <u>.</u>		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計	男	女
	美原荘		9	10	0	0	0	0	1	0	0	2	1	2	11	14	25	6	8	2	4	0	0	1	1	1	0	10	13	23	31	91	122	43	70
	すごうの御	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	3	0	2	2	3	1	0	0	0	0	1	3	6	9	8	21	29	12	11
	春日丘荘		8	34	0	1	0	1	5	7	0	2	0	0	13	45	58	4	29	4	11	0	1	1	0	0	0	9	41	50	15	105	120	109	66
	春日丘荘「彩の	O家」	2	6	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	3	9	12	3	4	2	3	0	0	0	0	0	0	5	7	12	6	23	29	14	26
	四條畷荘		4	10	0	1	3	4	1	3	0	1	0	0	8	19	27	5	12	4	3	0	0	2	1	0	0	11	16	27	32	88	120	28	19
特	光明荘		12	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	25	37	4	16	5	15	0	0	0	0	0	0	9	31	40	20	98	118	23	26
養	高槻荘		5	6	0	1	1	7	2	6	0	1	0	0	8	21	29	5	16	3	3	0	0	0	0	0	0	8	19	27	16	84	100	63	82
	白島荘		1	8	0	0	2	8	0	2	0	0	0	0	3	18	21	1	12	2	2	0	0	3	3	0	0	6	17	23	8	80	88	56	95
	豊寿荘		2	4	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	7	9	3	4	0	1	0	0	0	0	0	0	3	5	8	10	40	50	63	142
	永寿園とよな	://	0	2	0	0	0	2	ı	1	0	1	0	1	1	7	8	2	2	3	1	0	0	0	0	0	0	5	3	8	3	26	29	32	38
	みずほおおそ	£6	4	9	0	0	4	8	1	3	0	1	0	4	9	25	34	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1	4	5	8	21	29	11	7
	計		47	114	0	3	10	32	12	24	1	11	1	8	71	192	263	33	107	28	48	1	1	- 7	5	1	1	70	162	232	157	677	834	454	582
	四條畷荘	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	4	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	3	1	4	9	21	30	0	0
	100.00-11	特定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20	0	0
	東大阪養護	一般	6	9	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	10	10	20	4	0	0	2	0	0	0	4	2	1	6	7	13	45	56	101	1	0
養		特定	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	2	0	0	1	2	0	0	1	6	7	16	32	48	0	
護	永寿園	一般	2	2	0	0	0	0	0	I	0	0	0	0	2	3	5	1	0	0	1	0	0	2	2	0	0	3	3	6	16	24	40	0	0
	とよなか	特定	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	3	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	1	3	4	8	21	29	0	0
	計	一般	8	11	0	0	1	0	3	2	0	0	2	2	14	15	29	-5	0	0	3	0	0	5	7	2	1	12	-11	23	70	101	171	ş. 1	d
		特定	0	1	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	1	3	4	0	2	1	3	0	0	1	4	0	0	2	9	11	29	68	97	0	C
	和風荘	一般	2	2	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	4	4	8	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	3	10	27	37	0	
		特定	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2	1	3	0	1	0	2	0	0	3	8	11	14	16	30	2	3
	慶寿 荘	一般	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2	3	8	42	50	9	18
軽		特定	1	7	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	2	11	13	0	2	0	5	0	2	0	2	0	3	0	14	14	4	46	50	9	18
費	万寿荘	一般	2	5	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	6	9	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	1	8	9	20	30	50	12	14
	河南荘	一般	1	5	0	0	0	0	0	0 '	0	0	1	0	2	5	7	3	0	2	0	0	0	1	2	0	0	6	2	8	32	50	82	0	0
	₽÷	一般	6	15	1	0	0	1.	0	1	2	1	1	0	10	18	28	3	1	3	3	0	0	2	11	0	0	8	15	23	70	149	219	21	32
		特定	2	9	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	3	13	16	2	4	1	- 8	0	3	0	4	0	3	3	22	25	18	62	80	-11	21
グ	春日丘荘 グループホー	۸.	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	9	7	24
ル 	白島荘 グループホー	٠,	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	9	9	0	11
プ ホ	すごうの郷		0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	2	1	0	0	0	2	0	0	2	3	5	1	17	18	1	4
Î A	高槻荘ゆら	ò	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	12	18	3	4
	計 (GH)		2	5	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	7	9	0	2	-2	1	0	0	0	3	0	0	2	6	8	8	46	54	11	43
入施	みずほおおそ	·6	14	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	15	7	22	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	14	7	21	11	11
所設	計		14	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	15	7	22	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	ı	0	1	14	7	21	11	11

(2) 利用契約状況

						新	規利	1 用			-		_				契:	約系	冬了				_
	区 分		護		没等		影所	70	0他		累計		死	Ė	施記			集所	その	の他		累計	+
	Jun. 74	\vdash	定	 	所		更	_							-	所	-	更		1	tre		Τ
	佐西井 ニ ハト・ドラト・カ	男。	女	男	女	男	女	男	女	男	女	\vdash	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	+-
	美原荘デイサービスセンター	0	0	0	0	0	1	12	28	12	29	41	3	5	7	8	0	0	1	2	11	15	26
	春日丘荘デイサービスセンター	5	2	0	4	0	0	10	4	15	10	25	4	1	5	9	0	0	2	4	11	14	25
	茨木市立沢池デイサービスセンター	10	30	0	0	0	5	0	0	10	35	45	2	4	1	9	2	0	1	1	6	14	20
	茨木市立南茨木デイサービスセンター	3	5	0	0	2	9	6	12	11	26	37	9	3	6	7	0	0	2	7	17	17	34
	四條畷荘デイサービスセンター「ほほえみ」	0	0	0	2	0	0	10	12	10	14	24	2	3	0	2	1	2	0	0	3	7	10
	光明荘 デイサービスセンター	4	3	0	0	3	0	6	14	13	17	30	1	2	1	2	0	3	1	4	3	11	14
	高槻荘群家デイサービスセンター	1	1	0	0	0	0	23	35	24	36	60	5	2	4	8	1	0	0	0	10	10	20
通 所	箕面市立光明の郷ケアセンター	3	13	0	1	5	5	0	0	8	19	27	1	0	7	18	1	2	1	2	10	22	32
介	デイサービスセンター「ふれあい」	15	23	0	0	0	0	0	0	15	23	38	2	0	1	2	0	0	0	0	3	2	5
護	豊寿荘デイサービスセンター「ゆたか」	20	29	0	0	0	0	0	0	20	29	49	8	9	4	6	6	7	1	5	19	27	46
	原田デイサービスセンター「ねいろ」	36	73	0	0	0	0	0	0	36	73	109	1	2	6	7	3	2	1	6	11	17	28
	服部デイサービスセンター「かなで」	73	63	0	0	0	0	0	0	73	63	136	5	2	0	7	2	0	1	1	8	10	18
	春日丘荘「彩の家」デイサービスセンター	4	12	0	0	0	6	0	0	4	18	22	0	1	2	20	0	1	0	0	2	22	2
	高槻荘やすらぎデイサービスセンター	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1] :
	春日丘荘グループホーム	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	白島荘グループホーム「華の家」	0	4	0	0	0	2	0	1	0	7	7	0	2	0	1	0	1	0	0	0	4	
	計	174	259	0	7	10	29	67	108	251	403	654	43	36	44	106	16	19	11	32	114	193	30
	美原荘訪問介護事業所	14	25	0	0	0	2	0	0	14	27	41	2	3	8	16	1	0	0	2	11	21	3:
	春日丘荘ヘルパーステーション	5	13	1	3	0	1	2	2	8	19	27	1	2	ı	8	0	0	1	5	3	15	1
	四条眼荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」	0	0	6	4	1	5	9	17	16	26	42	4	5	2	3	0	0	1	1	7	9	1
e+	光明荘ヘルパーステーション	5	10	4	12	2	4	11	26	22	52	74	2	5	7	11	0	0	2	3	11	19	3
訪 問	郡家・高槻荘ホームヘルパーステーション	19	44	0	0	0	0	0	0	19	44	63	2	6	4	3	0	0	1	3	7	12	19
介 護	白島荘訪問介護事業所「はくしまヘル	6	12	0	0	0	0	0	0	6	12	18	2	3	3	9	1	0	5	12	11	24	3
改变	ホームヘルパーステーション「ふれあい」	13	21	0	0	0	0	0	0	13	21	34	2	1	0	0	1	0	0	0	3	1	١.
	豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」	2	14	0	0	0	0	0	0	2	14	16	6	13	0	0	0	0	0	0	6	13	1
	豊寿荘訪問介護事業所「ひがしまち」	11	19	0	0	0	0	0	0	11	19	30	4	1	1	5	0	1	1	3	6	10	1
		75	158	11	19	3	12	22	45	111	234	345	25	39	26	55	3	1	11	29	65	124	18
	美原荘居宅介護支援事業所	31	37	1	0	1	1	5	9	38	47	85	12	11	8	20	4	3	9	10	33	44	7
	春日丘荘居宅介護支援事業所	19	13	15	23	6	8	13	20	53	64	117	8	9	13	35	1	3	10	5	32	52	8
	南茨木居宅介護支援事業所	15	27	6	6	3	5	4	6	28	44	72	3	3	17	23	0	1	8	13	28	40	6
	四條畷荘居宅介護支援事業所	10	12	1	9	7	12	0	0	18	33	51	4	3	3	7	1	0	0	0	8	10	1
居宅	光明荘 居宅介護支援事業所	33	26	4	9	3	2	0	0	40	37	77	7	9	22	32	1	1	1	1	31	43	7
介	高槻荘居宅介護支援事業所	40	103	3	10	1	5	0	0	44	118		5	15	6	15	1	4	10	28	22	62	8
護 支	白島荘居宅介護支援事業所	10	14	1	3	4	1	0	2	15	20	35	5	5	0	7	0	1	1	6	6	19	2
援	ケアプランセンター「ふれあい」	11	20	1	0	4	10	0	0	16	30	46	2	0	2	0	2	0	0	1	6	1	-
	豊寿荘居宅介護支援事業所「ゆたか」	104		1	0	7	10	19	-	131	286		13	11	11	23	7	H	4	9	35	59	9
	豊寿荘居宅介護支援事業所「ひがしまち」	6	43	0	0	0	0	0	0	6	43	49	1	2	2	6	1	1	5	-	9	22	3
	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	279	565	33	60	36	54	41	43	389	722	100	60	68	-	168	58387	128.51	48	-	100		1
訪	光明荘	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100
問	高槻荘	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	+
入浴	H	0	0	0	. 0	0	0	1	2	1	2	3	1	0	0	0	0	1000	0	1.	1	2	+
小		10,77	11/60	-	_		_				- 11	-	_	200.0	925			torio in	Sec. 91	2	1	-	+
規	春日丘荘「彩の家」 白島荘ひねもず	3	1	0	2	1 5	1	2	1	4	5	13	3	0	0	1	0	1	0	0	3	2	+
模 多	高槻荘ゆらら	_	1		0	5	4	0	0	8	5		0	1	3	4	1	0	0	1	4	6	+
機	Company of the Compan	0	0	1	1	2	2	0	10	3	13		0	2	4	2	0	1	0	1	4	6	+
能	計 概定期2次同	4	2	1	3	- 8	7	2	11	15	23		3	. 3	7	7	1	2	0-	2	11	14	+
巡定 回期	堺定期巡回	0	0	0	0	0	0	4	7	4	7	3,77	0	0	2	0	0	0	2	7	4	7	+
駅	計	0	0	0	0	0	0	4	. 7	4	7	11	0	0	2	0	0	0	2	7	4	7	+
労	OSJ工房よりそいの丘	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	4	1	4	+
継続	みずほおおぞら	0	0	0	0	0	0	2	4	2	4	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	+
A 駅		0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	8	0	0	0	0	0	1	1	4	1	5	۰
労	OSJ工房よりそいの丘	0	0	0	0	0	0	4	3	4	3	7	. 0	0	0	0	1	0	2	0	3	0	┿
継続	障がい者支援施設みずほおおぞら	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	ļ
В	計	0	0	1	0	1	0	4	3	6	3	9	0	0	0	0	2	0	2	0	4	0	1
生	障がい者支援施設みずほおおぞら	0	0	1	1	1	0	2	1	4	2	6	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
活介	白島荘生活介護事業所「フレンドカラー」	0	0	0	0	3	4	0	0	3	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	l
護	計	0	0	1	1	4	4	2	1	7	6	13	0	0	0	0	0	0	1	0	1.	0	
	みずほおおぞら	0	0	0	0	2	5	10	12	12	17	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ſ
∌1.		0	0	0	0	0	0	10	2	10	2	12	1	0	0	0	2	0	3	0	6	0	T
計画	光明の郷	ľ						_	_			<u> </u>	^	_		_		_	_			0	t
画相	光明の郷 OSJ工房よりそいの丘	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	I۷	1
画			0	0	0	2	0 5	3 23	0 14	3 25	19		1	0	0	0	2	0	3	0	6	0	\dagger

(3) 年齢別状況

			_	i	前身	明清	新藤	舲 者	<u>z.</u>					- 4	爰 ‡	明月	高紫	令者	ž.				(当	单位:人)
			60)	_	60^	_	65	_	70	~	75 ⁻	~	80	_	85 ₂		90^	_	95^	~	100) 歳		
	区分		Î	以下	6	4歳	6	9歳	7	4歳	7	9歳	8	4歳	8	9歳	9	4歳	9	9歳	Ţ	以上	平均年齢 歳 月数	最高年虧 歳 月数
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	美原荘		0	0	1	1	4	0	2	3	4	6	6	19	9	22	2	25	2	11	1	4	86歳 4ヶ月	103歳 8ヶ月
	すごうの組	ß	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	1	2	6	1	6	0	4		1	87歳 6ヶ月	102歳 4ヶ月
	春日丘荘		0	0	0	1	1	3	1	7	4	5	3	15	4	30	2	26	0	14	0	4	86歳 6ヶ月	102歳 1ヶ月
	春日丘荘「彩の	の家」	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	2	2	8	2	5	1	4	0	1	89歳5 ヶ月	105歳 7ヶ月
	四條畷荘		0	0	0	0	4	1	7	3	9	9	6	16	4	17	1	22	0	16	1	4	85歳 1ヶ月	102歳 5ヶ月
特	光明荘		0	0	0	0	1	3	3	6	6	8	6	15	1	28	1	21	2	16	0	1	85歳 8ヶ月	101歳
養	高槻荘		0	0	0	0	1	1	1	5	2	6	5	17	2	20	4	21	0	12	1	2	86歳 6ヶ月	102歳 2ヶ月
	白島荘		0	0	0	0	0	2	0	3	1	5	1	11	3	21	3	23	0	13	0	2	85歳 9ヶ月	102歳 11ヶ月
	豊寿荘		0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	3	6	5	7	0	9	0	9	0	4	88歳 3ヶ月	108歳 1ヶ月
	永寿園とよた	ር <i>ስ</i> ን	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	2	9	0	8	0	4	0	1	90歳 3ヶ月	102嘉
	みずほおお	ぞら	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	8	2	7	1	4	0	0	0	0	84歳 2ヶ月	92歳 11ヶ月
	計		0	0	1	2	11	10	15	34	31	46	38	113	36	175	17	170	5	103	3	24	86歳 10ヶ月	108歳 1ヶ月
	割合																							
	四條畷荘	一般	0	0	0	0	0	2	5	1	2	0	0	8	1	8	1	2	0	0	0	0	81歳 4ヶ月	91歳 3ヶ月
		特定	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	2	3	1	4	1	1	0	2	0	1	84歳 0ヶ月	100歳 2ヶ月
	東大阪養護	一般	0	0	1	0	9	6	12	6	13	14	9	19	1	8	0	3	0	0	0	0	77歳 3ヶ月	93歳
養	/////////////////////////////////////	特定	0	0	0	0	4	0	1	2	1	6	7	5	2	8	0	4	0	4	1	3	84歳 _3ヶ月	107歳
護	永寿園とよな	一般	0	0	0	0	1	0	2	3	6	4	4	12	3	2	0	2	0	1	0	0	80歳 11ヶ月	98歳 8ヶ月
	か	特定	0	0	0	0	1	0	1	3	1	3	1	7	4	4	0	1	0	3	0	0	82歳 7ヶ月	96歳
	計	一般	0	0	1	0	10	8	19	10	21	18	13	39	5	18	1	7	0	1	0	0	79歳 9ヶ月	98歳 8ヶ月
	μ,	特定	0	0	0	0	5	1	3	7	2	10	10	15	7	16	1	6	0	9	1	4	83歳 7ヶ月	107歳
	和風荘	一般	0	0	0	0	1	2	0	1	2	4	2	7	4	6	1	5	0	2	0	0	83歳 5ヶ月	97歳 1ヶ月
	, ,	特定	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4	3	4	2	1	9	2	1	0	0	3ケ月	96歳 10ヶ月
	豊寿荘	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	11	3	13	1	13.	0	3	0	1	87歳 6ヶ月	101歳 3ヶ月
軽	32/4/12	特定	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	11	0	12	1	13	0	8	0	0	86歳 6ヶ月	99歳 1ヶ月
費	万寿荘	一般	0	0	0	0	3	1	2	2	3	1	8	11	4	8	0	5	0	2	0	0	82歳 2ヶ月	96歳
	河南荘	一般	0	0	1	0	1	3	4	4	10	6	12	9	4	15	0	9	0	4	0	0	81歳 4ヶ月	98歳 8ヶ月
	計	一般	0	0	1	0	5	6	6	7	15	12	26	38	15	42	2	32	0	11	0	1	83歳 7ヶ月	101歳 3ヶ月
		特定	0	0	0	0	2	0	1	2	1	1	6	14	4	14	2	22	2	9	0	0	86歳 4ヶ月	99歳 1ヶ月
グ	春日丘荘 グループホー		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	0	1	0	1	0	0	86歳	95歳 8ヶ月
ルー	白島荘 グループホー	<u>م</u>	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	2	0	2	0	0	0	0	83歳 1ヶ月	91歳 3ヶ月
プホ	すごうの組	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	4	0	7	0	0	0	0	0	0	82歳 9ヶ月	89歳
~ ム	高槻荘ゆら	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	3	6	1	1	0	0	0	0	86歳 2ヶ月	93歳 3ヶ月
	計 (GH)		0	0	0	0	0	1	0	2	1	5	3	11	3	20	1	4	0	1	0	0	84歳 6ヶ月	95歳 8ヶ月
施設入三	みずほおお	ぞら	14	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	\angle	
所 支 禐	計		14	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	- 0	0		
	合計		14	7	3	2	33	26	44	62	71	92	96	230	70	285	24	241	7	134	4	29	84歳 5ヶ月	108歳 1ヶ月

(平成29年3月31日現在)

(4) 居住別調べ

				<i>70.</i>)他			
	施設名	所在市町	村	市田	「村	合計		備考
	(圏域ブロック)			圏域内	圏域外	ㅁ莭	1	用与
	美原荘	堺市	82	11	39	122	ブロック名	圏域内市町村
	すごうの郷	堺市	29	0	0	29	豊能ブロック	豊中市、池田市箕面市、豊能町
	春日丘荘	茨木市	94	22	4	120	豆配ノロンノ	能勢町
特	春日丘荘「彩の家」	茨木市	29	0	0	29	三島ブロック	吹田市、茨木市 高槻市、摂津市
	四條畷荘	四條畷市	76	33	11	120	一面ノロソソ	島本町
	光明荘	和泉市	77	32	9	118	北河内	守口市、枚方市 大東市、門真市 四條畷市
養	高槻荘	高槻市	87	1	12	100	ブロック	寝屋川市交野市
	白島荘	箕面市	67	11	10	88	南河内	松原市、富田林市 羽曳野市、藤井寺市 大阪狭山市、大子町
	豊寿荘	豊中市	43	0	7	0	ブロック	大阪狭山市、太子町 河内長野市、河南町 千早赤阪村
	永寿園とよなか	豊中市	29	0	0	29	泉北ブロック	堺市、泉大津市 和泉市、高石市
	みずほおおぞら	豊中市	29	0	0	29	ACTUS III S	太子町
	四條畷荘	四條畷市	4	9	37	50		
養護	東大阪養護	東大阪市	104	104	45	253		
	永寿園とよなか	東大阪市	67	0	2	69		
	和風荘	堺市	33	15	19	67		
軽	豊寿荘	豊中市	93	1	6	100		
費	万寿荘	池田市	26	3	21	50		
	河南荘	河南町	9	28	45	82		
施設入所支援	みずほおおぞら	豊中市	21	0	0	21		
	合計		999		527	1,476		

(平成29年3月31日現在)

状況
生活
常生
Ш
(5)

			1996	参			4	#	\vdash							莽	岩							\vdash				1	と					L	卷股	\vdash	施置	日常生活	居自立度	赵	L	isa	認知症日常生活自	1常生活	自立度	9	(事位: 人)
	I	領券	杖·歩行器	器	車椅子	£		1	\perp	10.		西	星間					長田		後間			10.44	H	御浴	Sh	E	個浴(機械)	6	T	般浴	海坦西	¥ 無台幣	\Box				57.7	-					37.0			
₩	n n	自己で可能し、部介的	自己で可能	一部个的	自己で可能一部 介 助	全 ← 助	自己で可能	一部个助	全 介 助自己で可能	F < B	44 수 55		一部个的	金 介 助自己で可能	1 # 4 #	全 小 助	自己で可能	# 4 B	全 介 助自己で可能	1 龍 矢 盛	44 수 8	自己で可能	1 第 ← 點	全 介 助自己で可能	一部个的	全外的	自己で可能	一部介助	会 < 数	自己で可能	1 部 介 助全 介 助	4 4 5	全 介 助	自己を申録	一部个岛	(4) < ₹	米 松 河	∢	on.	Ü	非 該 当	-	H Q		Ħο	ž.	Σ
**	美原荘	5 3	9	2	22 20	89 (25	52 4	43	7 42	0	0	₂₀	64	0	64	က	11		1 16	3	0	0	85	0	0 0	0	· m	0	0	0	0 71	46		14 1	105	0	90	28	32	0	-	14	17 33	3 10	29	2
+	すごの第	3 0	0	-	5 2	2 18	16	8	101	5 8	6	0	0	0	0	7	5	8	4	0	0	٥	0	12	0	3 0	0	0	23	0	0	0	3	0	01	61	0	6 0	9 13	7	0	-	2	n	4	15	3
#	拳目丘柱	2 2	3	-	19 22	2 65	74	28	81	5 51	15	0	ια	0	0	43	2	6	0	11	∞	٥	2	87	0	3	0	31	15	0	0	0 40	31	'n	56	61	0	0 22	2 79	19	4	-	2	2 37	7 28	43	3
# 2	春日丘荘「彩の祭」	0	4		5	3 15	2	13	6	0 16	6	0	-	0	0	3	0	7	0	0.7	0	0	2	13	0	3 4	0	∞	9	0	0	0	0 4	-	18	10	0	0 17	6 /	en .	0	23	63	9 10	2	4	0
L	四條畷荘	4 2	2 1	60	42 17	7 51	73	14	33 12	12 62	ιņ	0	0	0	0	40	6	32	0	0	0	0	9	72	0 24	4 2	1	44	24	0	0	0	25	9	89	46	0	2 26	9 67	. 25	2	∞	16	15 11	18 24	35	2
*	光明排	5	3	60	26 8	3 72	7.5	14	29	9 38	21	2	0	0	0	48	0	က	0	3 11		0	0	001	0	0 25	0	0	4	0	22	0 48	3 36	2	43	73	0	0 14	1 97	7	0	9	12 1	11 44	4 26	12	4
<u></u>	- 東大学	1 4	4	-	21 9	9 63	39	36	35 4	4 19	34	0	0	0	0	43	73	∞	19	0 11	4	0	0	26	0	0	0	0	0	2	30	8 20	0 40	ro	36	59	Q.	2 20	0 47	31	0	7	12 1	18 37	7 7	16	3
*	中島市	1	2 4	2	27 11	1 41	42	21 2	25 (6 32	20	0	0	0	0	30	rc.	21	-	1	0	0	0	59	0 20	0 3	3 0	23	91	0	0	0	26	5	4.1	42	∞	3 25	5 48	4	14	m	14 1	10 30	0 1	16	0
#44	数寿往	3	2 0	-	14 13	3 18	36	6	5	0 23	∞	0	0	0	0	0 19	0	15	0	0	0	0	0	35	0	0 30	0	0	20	0	0	0 0	0 0	9	59	15	0	0	5 15	30	0	0	2 2	20 11	11 11	2	0
- 本	永寿國とよなか	3	0	-2	2 3	3 13	11	10	9	3 6	13	0	0	0	0 0	9 (3	2	2	0 0	0 (0	0	12	0	4 9	0 (0	13	0	0	0 0	3	-	10	18	0	3	5 19	2	0	0	က	2	7 5	6	0
なか	みずほおおぞら	4 3	3 4	2	3 1	1 12	26	2		6 13	1-	0	0	0	0	3	9	6	0	0 1	0	0	0	13	0	0 6	0 (9	11	0	0	0 0	3	9	16	2	0	2 12	2 11	4	ī	-	1	5 11	1 6	n	_
	, via	34 28	3 16	24 1	186 109	9 436	424	192 21	214 57	7 310	141	2	6	2	9	306	35	130	32	6 59) 16	0	10 5	544	99 0	6 73	3 1	115	136	2	35	8 179	9 217	36	341 4	455	8	9 185	5 463	167	21	36	80 11	115 242	2 121	187	26
-	後邊四條縣莊	2	0	m	23	0	19	-	0	6.	1	0	-	0) 0	0 0	9	2	0	0	1 0	0	22	2	0	0 1	1 0	4	0	0	15	0	0 0	4	15	1	0	1 14	4 5	2 0	0	0	2	13		1 0	0
	東大阪養護	10 0	72 0	0	3	5	42	9	0 22	2 23	n	П	-	-	0	0 (611	24	3	2 0	1 (0	0	0	0	1 0	0 0	0	0	75	72	3 0	0 0	118	30	3	0	0 31	1 17	, 0	0	7	13	25	1		۰
4 条 条 条	寿聞とよなか	∞	σ π	ro	1 2	2 2	7	20	2 18	6	0	0	0	0	0 0	2	18	8	0	0 0	0	0	1	2	3	0 8	0	7	2	8	∞	0 0	0 0	12	15	2	0	8 20	1 0	0	0	0	0	17	7 3	2	0
)	#	23 3	3 40	œ	6 12	2	89	27	2 49	9 41	4	-	1	1	0 0	2	142	39	3	2 1	1	0	9	₩.	3	9	1 0	11	2	78	92	3	0 0	134	60	9	0	9 65	5 23	0	0	7	18	22	9	က	0
<u> </u>	和風荘	8	6 0	9	0 1	1 6	22	9	2 15	5 5	3	0	3		0 0	3	13	5	1	1 2	2 2	0	0	9	1 (6 4	1 0	0	0	9	8	2 3	3 0	12	11	7	0	3 12	2 13	2	0	4	∞	=	5	-	0
((体·	整本社	16	0 18	4	7 5	5 0	49	-	0 37	7 10	က	0	0	0	0 0	0 0	35	10	3	1 1	0 1	0	0	0	0	0 0	0 0	0	0	9	44	0 0	0 0	36	13	-	0	0 39	11	0	0	4	25 1	19	1	0	0
说)	毒	24 0	0 27	01	2	9 9	11	7	2 52	2 15	9	0	3		0 0	3	48	15	4	2 3	3 2	0	0	9	1	6 4	1 0	0	0	12	52.	2 3	3 0	48	24	8	0	3 51	1 24	2	0	8	33	30	9		0
医股大	ずほおおぞら	19 0	0 0	0	0	0 2	19	0	2 18	8 1	0	0	0	0	0 0	0 2	18	1	0	0	0 0	0	0	2 1	10	0 6	0 0	0	0	0	0	0 0	0 2	18	-	2	0	1 18	2	0		7		$\langle \cdot \rangle$		\searrow	
斯英族	毒	19 0	0 0	0	0 0	0 2	13	0	2 18	1 8	0	0	0	0	0	0 2	18	Ŧ	0	0 0) 0	0	0	2 1	10	0 6	0 0	0	0	0	0	0 0	0 2	18	1	2	0	1 18	2	0	\subseteq	/		\vdash	\angle		
40	7.7	100 31	1 83	42 1	199 127	7 449	582	226 22	220 176	298 9	121	6	13	4	-0	4 313	243	185	39 1	10 63	3 19	0	16 5	556 1	12 90	0 78		126	138	92 13	182	13 182	2 219	236	126	471	ος (2)	22 319	9 512	169	21	51 1	131 20	200 257	7 132	191	26
			1	1		1]		-	4]					1						1	1																			FI.	(平成29年3月31日現在)	3.H31F	1現在)	
「障がい日常生活	「障がい日常生活自立度」	13			20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	1	74	100	2十四 安全主教之主义(中国是第1世级主教》	4.6.6	W. th. Co. M.	F-4-1								Г	銀	施口常	[認知権口常生活自立度]	图									響無	記書を表										Γ			

行らかの製物性を有するが、日常生活は変数内放び社会的に自立している。 日常生気に支援を含ますような変せ、行動や象型環境の問題さか多からわてた、憩かが注意していれば自立できる 家庭がてした日の水板がよれる。 日本市民に支援を含ますような様が、特別をや意思株面の開墾さがかられ、介護を必要とする。 日本中によった。ここの実施がよられる。 日本中によった。ここの実施があられる。 日本中によった。ここの実施があられる。 日本市によった。ここの実施があられる。 日本市によった。ここの実施があります。 日本市によった。ここの実施があります。 日本市によります。

何のかの確認、等を有するが、日常生活は翌年日立しており換力で外出する 特での生活的指針のよっているが、内型だにはおければなが、 屋内での生活はだめたのか数を要し、日中もペッド、ビの生態が主体であるが、僅似を接つ 1月中ベッド、正では、単独、食事、清整なにおいての数を要する

「障がい日常生活自立度」 生活自立 準度たきり 寝たきり

(6) 要介護度状況

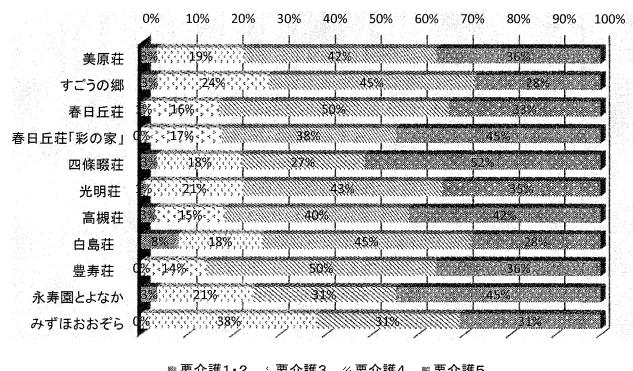
①特別養護老人ホーム 要介護度状況

(単位:人)

	区 分		入	居者要介護	度		計	平均要介護度
	区 刀	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	ΠI	十岁安万 丧及
	美原荘	0	4	23	51	44	122	4.11
	すごうの郷	0	1	7	13	8	29	3.97
	春日丘荘	0	1	19	60	40	120	4.16
特	春日丘荘「彩の家」	0	0	5	11	13	29	4.28
	四條畷荘	0	4	22	32	62	120	4.27
	光明荘	0	1	25	51	41	118	4.12
	高槻荘	0	3	15	40	42	100	4.21
	白島荘	2	5	16	40	25	88	3.92
養	豊寿荘	0	0	7	25	18	50	4.22
	永寿園とよなか	0	1	6	9	13	29	4.17
	みずほおおぞら	0	0	11	9	9	29	3.93
	→	2	20	145	332	306	805	4.14

(平成29年3月31日現在)

特養要介護度比較



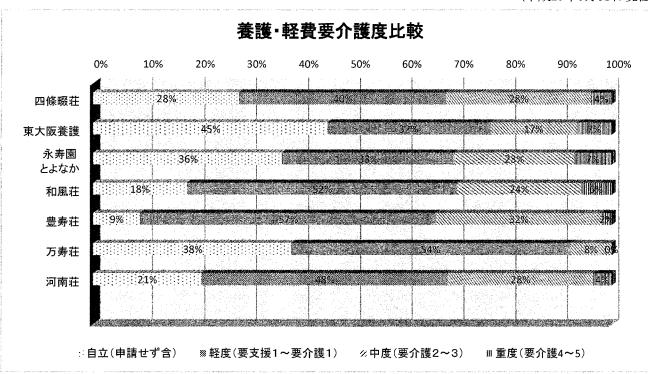
※要介護1·2 5要介護3 ∅要介護4 ※要介護5

②養護・軽費 要介護度状況

(単位:人)

	区分		自立			入原	B 者要介語	隻 度			計	平均要介護度
	<u></u> 区 刀		(申請せず含)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	ĦI	1 ~ 安月 暖汉
	四條畷荘	一般	14	3	. 3	7	3	0	0	0	30	0.57
	四除吸在	特定	0	0	0	7	7	4	1	1	20	2.10
÷	東大阪養護	一般	67	10	8	14	2	0	0	0	101	0.29
養	米八伙食谩	特定	0	0	1	14	15	8	8	2	48	2.31
護	永寿園	一般	25	2	0	10	1	0	2	0	40	0.52
咬	とよなか	特定	0	0	1	10	7	8	1	2	29	2.17
	il	一般	106	15	11	31	6	0	2	0	171	0.40
		特定	0	0	2	31	29	20	10	5	97	2.23
	和風荘	一般	12	2	5	13	3	2	0	0	37	0.83
	个日/年代4工	特定	0	0	1	14	4	7	. 3	. 1	30	2.03
軽	豊寿荘	一般	9	8	11	15	7	0	0	0	50	0.86
	豆.才仁	特定	0	0	3	20	17	8	2	0	50	1.78
	万寿荘	一般	19	11	9	7	4	0	0	0	50	0.56
費	河南荘	一般	17	9	11	19	17	6	2	1	82	1.20
	計	一般	57	30	36	54	31	8	2	1	219	0.91
		特定	0	0	4	34	21	15	5	1	80	1,88

(平成29年3月31日現在)

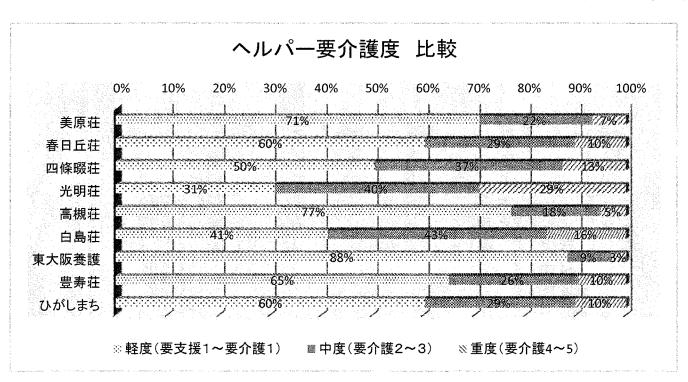


③ヘルパー 要介護度状況

(単位:人)

区分			登釒	录者要介語	進度			計	平均要介護度
运力	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		十均安川改及
美原荘	27	21	47	21	9	5	4	134	1.24
春日丘荘	15	12	14	13	7	2	5	68	1.47
四條畷荘	14	14	39	33	16	5	12	133	1.79
光明荘	0	0	17	13	9	3	13	55	2.67
高槻荘	72	51	45	28	11	5	6	218	0.97
白島荘	3	8	15	14	13	4	6	63	2.05
東大阪養護	8	10	12	2	1	0	1	34	0.79
豊寿荘	27	42	53	38	10	12	6	188	1.31
ひがしまち	11	17	19	18	5	3	5	78	1.42
計	177	175	261	180	81	39	58	971	1.42

(平成29年3月31日現在)



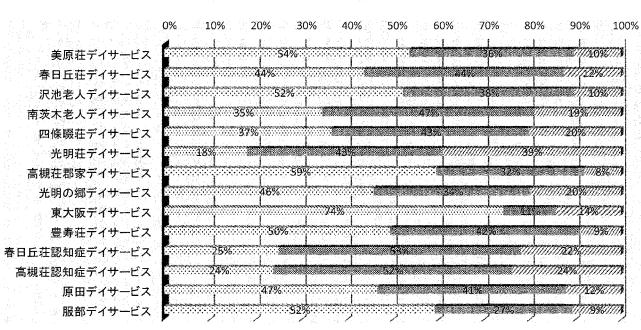
④デイサービス 要介護度状況

(単位:人)

区分			登卸	录者要介記	隻 度			計	平均要介護度
四月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	ĦΙ	十岁女儿晚及
美原荘デイサービス	7	9	42	23	16	8	3	108	1.72
春日丘荘デイサービス	3	8	28	20	19	7	4	89	1.96
沢池老人デイサービス	10	9	38	22	19	4	7	109	1.78
南茨木老人デイサービス	12	5	29	38	24	13	12	133	2.21
四條畷荘デイサービス	3	3	27	25	14	8	10	90	2.25
光明荘デイサービス			14	19	14	16	14	77	2.96
高槻荘郡家デイサービス	15	23	28	28	8	5	4	111	1.38
光明の郷デイサービス	4	5	19	11	10	8	4	61	2.04
東大阪デイサービス	8	6	12	2	2	3	2	35	1.34
豊寿荘デイサービス	. 3	11	42	39	8	7	3	113	1.66
春日丘荘認知症デイサービス	0	0	8	6	11	3	4	32	2.66
高槻荘認知症デイサービス	0	0	5	5	6	1	4	21	2.71
原田デイサービス	5	8	22	21	10	7	2	75	1.79
服部デイサービス	5	4	30	15	5	6	1	66	1.60
	75	91	344	274	166	96	74	1120	1.94

(平成29年3月31日現在)

デイサービス要介護度比較



※軽度(要支援1~要介護1) ※中度(要介護2~3) ※重度(要介護4~5)

(7) 給食状況

Г		1人	1日当たりの給食	(円)		栄	美		低	栄養状態の判断を	5 準	療養食加算算
	区 分	食材料費	管理費	合計	エネルギー (Kcal)	総蛋白質 (g)	動物性蛋白質 (g)	脂肪(g)	低リスク	中リスク	高リスク	定者数
	美原荘	800	576	1,376	1,580	60.2	30.5	41.7	65	53	4	0
ŀ	すごうの郷	993	776	1,769	1,496	59.0	28.6	40.1	15	14	0	0
	春日丘荘	800	601	1,401	1,560	53.8	27.3	39.0	39	73	8	19
	春日丘荘「彩の家」	800	657	1,457	1,529	55.9	27.3	41.0	11	15	3	0
特	四條畷荘	860	521	1,381	1,602	65.3	37.9	36.8	47	63	12	0
	光明荘	800	654	1,454	1,593	65.0	36.8	40.0	39	69	10	2
	高槻荘	800	581	1,381	1,491	54.9	27.9	37.1	45	52	3	0
養	白島荘	800	609	1,409	1,624	57.9	29.4	39.6	43	43	2	2
	豊寿荘	865	550	1,415	1,450	55.0	33.6	40.0	17	32	1	3
	永寿園とよなか	1032	508	1,540	1,469	58.4	29.6	43.0	12	14	3	0
	みずほおおぞら	1003	453	1,456	1,508	59.0	30.6	41.8				
	特養平均	868	590	1,458	1,537	58.6	30.9	40.0	33	43	5	3
Г	四條畷荘	793	574	1,367	1,588	62.1	33.4	35.5		<u> </u>		است ۱۱۰ ۱۱۰ سیال
養	東大阪養護	803	546	1,349	1,705	67.3	36.2	41.1				
護	永寿園とよなか	880	657	1,537	1,669	627.0	35.1	50.6	1			
	養護平均	825	592	1418	1,654	252.1	34.9	42.4	1			
Г	和風荘	800	540	1,340	1,650	63.8	32.8	44.2	1			
軽	豊寿荘	853	556	1,409	1,550	60.0	36.7	40.0				
	万寿荘	1470	210	1,680	1,646	54.0	37.6	40.0				
費	河南荘	841	549	1,390	1,648	65.0	37.0	45.0				
	軽費平均	991	464	1,455	1,624	60.7	36.0	42.3				
Н	春日丘荘グループホーム	1042		1,042	1,580	55.8	27.9	41.5	1			
グル	白島荘グループホーム	1000		1,000	1,624	57.9	29.4	39.6	1			
プ	すごうの郷	1019		1,019	1,496	59.0	28.6	40.1				
ホー.	高槻荘ゆらら	1218		1,218	1,585	67.1	34.2	39.6				
Δ.	グループホーム平均	1,070		1,070	1,571	60.0	30.0	40.2				
П	美原デイ	400	238	638	665	25.4	12.8	17.6	1			
	春日丘荘デイ	410	200	610	652	21.2	10.9	15.6				
	沢池デイ	410	283	683	652	21.2	10.9	15.6				
	南茨木デイ	410	260	670	652	21.2	10.9	15.6				
	四條畷荘デイ	351	228	579	691	25.8	13.8	16.2				
ディ	光明荘ディ	390	309	699	659	26.0	14.7	18.4	1			
#	郡家デイ	360	195	555	643	19.5	9.3	13.4	1			
ピス	光明の郷デイ	410	227	637	680	20.9	10.5	14.1				
	東大阪養護デイ	371	182	553	638	26.3	14.1	15.7	1			
	豊寿荘デイ	442	183	625	650	25.0	13.9	15.0	1			
	原田デイサービス	466	530	996	598	22.5	11.9	14.7	1			
Ιİ	服部デイサービス	464	459	923	602	22.6	11.7	14.6	1			
	デイサービス平均	407	275	681	649	23.1	12.1	15.5				
	春日丘荘[彩の家]	890	657	1,547	1,529	55.9	27.3	41.0	1			
小規模	白島荘 「ひねもす」	890	681	1,571	1,624	57.9	29.4	39.6	1			
多機	高槻荘ゆらら	860	590	1,450	1,491	54.9	27.9	37.1	1			
能	小規模多機能平均	880	643	1,523	1,548	56.2	28.2	39.2	1			
設大	みずほおおぞら	1090	453	1,543	1,726	62.8	28.9	42.5	6	11	4	
州 文 様	施設入所支援平均	1,090	453	1,543	1,726	62.8	28.9	42.5	6	11	4	

(平成29年3月31日現在)

褥瘡			褥瘡あり
栄養補給法		経腸栄養法/静脈栄養法	
食事摂取量	76~100%	75%以下	
血清アルブミン値	3. 6g/dl以上	3. 0g/dl~3. 5/dl以上	3.0g/d1未満
体重減少率(体重測定/月1回)	変化なし(減少3%未満)	1ヶ月に3~6%未満3ヶ月に3~7.5%未満6ヶ月に3~1 0%未満	1ヶ月に5%以上 3ヶ月に7 5%以上 6ヶ月に10%以上
BMI	18. 5~29. 9	18. 5未満	高リスク
リスク類	低リスク	中リスク	高リスク

※(療養金加算) ①利用者の病状等に応じて、主治の医師より利用者に対し疾患治療の直接手段として発行された食事せんに基づき、厚生労働大臣が定める利用者等に示された療養食が提供された場合 ②療養食の敵立表が作成されている必要がある ③加算の対象となる療養食は、利用者の年齢、病状等に対応した栄養量及び内容を有する治療食(糖尿病食、腎臓病食、肝臓病食、胃潰瘍食(流動食は除く)、貧血食、膵臓病食、脂質異常症食、痛 風食及び特別な場合の検査食をいう

(8) 定期健康診断状況

(単位:人)

			1									_	1							(単位	
			-e7	1	結	核	· 検	診 T				录 🤅	臣 1	生札	美 3	<u></u>			景器心	電図	検診
		在	受		検査	結果		精	青検 結	果	受	岩	唐	蛋	白	ウロヒリ	ノーケン	受	検	診結	果
	区分	籍	検	異			要			そ	検							検	異	要	要
		者	者	常な	D2	D3	精検	D2	D3	の他	者		+	-	+	+	+	者	常な	要精検	要治療
		数	数	し			11/2			,	数							数	し	155	<i>/</i> //
	美原荘	120	118	109	9	0	0	0	0	0	120	112	8	107	13	118	2	120	120	0	0
	すごうの郷	29	26	26	0	0	0	0	0	0	26	24	2	17	9	23	3	23	23	0	0
	春日丘荘	120	108	101	1	0	6	0	0	5	114	107	7	51	63	/		115	113	0	0
	春日丘荘 「彩の家」	29	28	27	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7		13	13	0	0
	四條畷荘	120	112	0	45	55	12	0	0	12	118	115	3	101	17	/		111	61	28	22
特養	光明荘	120	114	109	5	0	0	0	0	0	119	118	1	105	14			0	0	0	0
	高槻荘	100	99	94	5	0	5	4	0	1	96	96	0	80	16	95	1	99	89	4	6
	白島荘	90	87	78	2	0	7	0	0	0	99	94	5	65	34	99	0	99	94	2	3
	永寿園とよなか	29	29	29	0	0	0	0	0	0	36	34	2	25	11	36	0	36	35	1	0
	豊寿荘	50	50	47	3	0	0	3	0	0	50	50	0	38	12	/	$\overline{/}$	3	0	0	3
	みずほおおぞら	29	34	34	0	0	0	0	0	0	26	25	1	15	11			28	17	0	11
	四條畷荘	50	49	48	0	0	1	0	0	1	春 47	47	0	46	1	0	47				
	(養護)	30	43	40	U	U	1	0	-	1	秋 49	49	0	48	1	0	49		\angle	\angle	\angle
養護	東大阪養護	150	150	148	0	0	2	0	0	2		143	7	129	21	150	0	/	4	/	/
丧											秋 150	142	8	131	19	148	2	_	_	_	/
	永寿園とよなか	70	68	65	2	0	1	0	0	0	春 65	65	0	64	1	64	0	57	54	0	0
軽	和風荘	70	67	62	5	0	0	0	0	5	秋 64 67	62 65	2	62 54	2 13	64	0	64 67	62 67	0	0
軽費(ケ	豊寿荘	100	100	99	1	0	0	1	0	0	100	97	3	92	8	/	7	98	93	0	5
アハウ	万寿荘	50	49	49	0	0	0	0	0	0	春 49 秋 49	45 44	4	45	4	/		48	22	0	26
ス・	河南荘	90	75	70	5	0	0	0	0	0	春 75 秋 74	73 15	2	65	10			75 21	70 21	3	2 0
± 1 +/-	7, 42) 7.			-							春 14	13	1	13	1	2	1	9	6	3	0
支入施 援所設	みずほ おおぞら	21	22	22	0	0	0	0	0	0	秋 16	15	1	15	1	0	0	<u>څ</u>	<u>څ</u>	٦	Ť
	合計	1518	1385	1217	84	55	35	9	0	26	1773	1650		1417	297	799	105	1086	960	44	79
لـــــــــــا	Committee and the second of the			لنستا	<u> </u>	لنسب	<u> </u>	91.0			1	1		P - 1927					U ⊢Be	28年月	ir rta)

(9) 医療ケア実施状況

			曾	鼻	痰	褥	看	
			3	腔		,,	取	
			う		吸	瘡	ŋ	
			- 腸	経	51		介	
	区分		- 5	管	施	処	護	B†
ŀ			5	栄	膇	mp	実	
			形成	養	行	置	施	
			者	者	者	者	者	
	美原荘		9	. 0	5	8	0	22
	すごうの郷		2	0	11	1	2	16
	春日丘荘		8	0	0	2	12	22
特	春日丘荘「彩の	家」	1	0	2	10	9	22
	四條畷荘		20	0	2	11	6	39
養	光明荘		10	0	0	12	5	27
	高槻荘		6	0	3	3	0	12
	白島荘		9	0	5		8	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	豊寿荘		4	0	4	3	4	15
	永寿園とよな		2	0	1	1	2	6
	みずほおおそ	. 6	0	0	1	1	0	2
Ш	合計		71	0	34	65	48	218
	四條畷荘	一般	0	0	0	0	0	0
		特定	0	0	0		0	
養	東大阪養護	一般	0	0	0	0	0	
		特定	0	0	0	0	0	
護	永寿園とよなか	一般	0	0	0,	0	0	<u> </u>
		特定	0	0	0	2	0	
	合計	一般	0	0	0		0	
Н		特定	0			3	0	
	和風荘	一般	0	0	0	0	0	
400		特定	0	0	0	0	0	0
軽	豊寿荘	一般	0	0	0.	0	0	
		特定	0	0	2	1	0	
	万寿荘	一般	0	0	0	1	0	
費	河南荘	一般	0	0	0	0 그것의 전에 하는 하는 사람이 다	0	
11	合計	一般 特定	0	0	2	1	0	
Н	春日丘荘 グループホーム		0	0	0	0	0	
グル	白島荘		0	0	1	0	1	9
ープ	グループホーム すごうの郷		0	0	1	0	0	1
ホー	高槻荘ゆらら		0	0	0	0	0	
۵	合計 (GH)		0	0	2	0	1	3'
施設	(GH) みずほおおぞ	Б	0	0	0	0	0	0
2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 200	合計		0	0	0	0	0	0
IN.	合計		71	0	38	70	49	228
<u> </u>			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				<u> </u>	(平成28年度中)

2. 事業実績状況

(1) 施設サービス事業

①特別養護老人ホーム

(単位:日)

	_			短 期			
	役 名 ·定員) -	特 養 (日数)	介護保険	(日数)	障害福祉サービス	計 (特養+短期)(日数)	利用率 (%)
	止貝	(口数)	介護	予防	(日数)	(特養+起期)(口報)	(70)
	目標値	42,374	7,474	141	574	50,563	98.9%
美原荘	実 績	41,941	7,086	86	514	49,627	97.1%
(140名)	達成率(%)	99.0%	94.8%	61.0%	89.5%	98.1%	98.1%
	目標値	10,585	3,621	29	0	14,235	100.0%
すごうの郷	実績	9,929	3,526	29		13,484	94.7%
(39名)	達成率(%)	93.8%	97.4%	100.0%		94.7%	94.7%
	目標値	41,627	5,546	0		47,173	97.9%
春日丘荘 (132名)	実 績	39,331	7,510	0		46,841	97.2%
(132/1)	達成率(%)	94.5%	135.4%			99.3%	99.3%
春日丘荘	目標値	10,136	4,647	72		14,855	101.7%
「彩の家」	実績	10,056	4,497	78		14,631	100.2%
(40名)	達成率(%)	99.2%	96.8%			98.5%	98.5%
	目標値	42,469	4,601	48		47,118	99.3%
四條畷荘 (130名)	実績	41,776	4,694	50		46,520	98.0%
(130/1)	達成率(%)	98.4%	102.0%	104.2%		98.7%	98.7%
	目標値	42,709	6,764		705	50,178	98.2%
光明荘 (140名)	実 績	41,641	8,470		706	50,817	99.4%
(140/1)	達成率(%)	97.5%	125.2%		100.1%	101.3%	101.3%
-L. Irm-Lla	目標値	35,770	3,430	502	48	39,750	99.0%
高槻荘 (110名)	実績	34,162	5,339	163	0	39,664	98.8%
(110/11)	達成率(%)	95.5%	155.7%	32.5%		99.8%	99.8%
/) Lin	目標値	31,608	4,701	222		36,531	100.1%
白島荘 (100名)	実績	31,405	4,970	92		36,467	99.9%
(100/1)	達成率(%)	99.4%	105.7%	41.4%		99.8%	99.8%
rite -t	目標値	17,520	4,232	60		21,812	99.6%
豊寿荘 (60名)	実績	17,579	4,057	528		22,164	101.2%
(00/11)	達成率(%)	100.3%	95.9%	880.0%		101.6%	101.6%
永寿園	目標値	10,326	4,206	59		14,591	99.9%
とよなか	実績	10,254	4,467	94		14,815	101.5%
(40名)	達成率(%)	99.3%	106.2%	159.3%		101.5%	101.5%
みずほ	目標値	5,632	2,171	0		7,803	53.4%
おおぞら	実績	5,393	1,336	0		6,729	46.1%
(40名)	達成率(%)	95.8%	61.5%	0.0%		86.2%	86.2%
(実績)合計	283,467	55,952	1,120	1,220	341,759	96.4%

②養護老人ホーム・軽費老人ホーム

	四條畷扣	E(50名)	東大阪養	護(150名)	永寿園とよれ	なか(70名)	合計	
	一般 (30名)	特定 (20名)	一般 (102名)	特定 (48名)	一般 (40名)	特定 (30名)	一般 (180名)	特定 (90名)
延在籍者数実績	10,835	7,234	37,080	17,469	14,724	10,757	62,639	35,460
延在所者数目標値	10,667	7,046	35,740	16,819	14,344	10,759	60,751	34,624
延在所者数実績	10,819	7,194	35,646	16,826	14,398	10,443	60,863	34,463
達成率(%)	101.4%	102.1%	99.7%	100.0%	100.4%	97.1%	100.2%	99.5%
利用率	用率 98.7%		95.	95.8%		97.2%		6

(平成28年度中)

-	和風荘	(70名)	豊寿荘	(100名)	万寿荘	河南荘	合計	
	一般 (37名)	特定 (33名)	一般 (50名)	特定 (50名)	一般 (50名)	一般 (90名)	一般 (227名)	特定 (83名)
延在籍者数	13,385	11,936	18,199	18,245	18,250	29,686	79,520	30,181
延在所者数目標値	13,140	11,680	18,300	18,300	17,885	30,960	80,285	29,980
延在所者数実績	13,089	11,429	17,705	17,482	17,543	27,610	75,947	28,911
達成率(%)	99.6%	97.9%	96.7%	95.5%	98.1%	89.2%	94.6%	96.4%
利用率	96.	0%	96.	.4%	96.1%	84.0%	92.79	6

(2) 在宅福祉サービス事業

①通所介護

(単位:人)

					刊人数				3 5	実利用		
		予防		介	護		障害	利用率		1 75/11/1311	口 35人	営業日
		1, 152	(3h-5h)	(5h-7h)	(7h-9h)	(その他)			予防	介護	障害	1
美原荘デイサービス	目 標 値	1,248	20	500	10,245	0	52	92.7%				
(42名)	実 績	1,382	26	497	8,619	7	45	81.5%	16	92	1	310
	達成率(%)	110.7%	130.0%	99.4%	84.1%	_	86.5%	87.9%				
春日丘荘デイサービス	目 標 値	1,606	1,497	6,866	1,456	0		91.5%			/	
(40名)	実 績	1,116	1,580	6,775	1,059	0		84.1%	10	75		313
(達成率(%)	69.5%	105.5%	98.7%	72.7%	-		91.9%				
沢池老人デイサービス	目 標 値	1,140	1,610	9,045	860	0		89.2%				
(月曜日~土曜日40名)	実 績	1,076	2,313	7,987	482	0		84.2%	17	92		366
(日曜日30名) 	達成率(%)	94.4%	143.7%	88.3%	56.0%	_		94.4%			/	
南茨木老人デイサービス	目 標 値	1,257	4,050	7,219	1,840	0		92.1%			/	
(月曜日~土曜日45名)	実 績	1,025	3,283	8,241	1,545	0		90.4%	17	116		366
(日曜日30名)	達成率(%)	81.5%	81.1%	114.2%	84.0%	-		98.2%				
	目 標 値	592	36	6,312	3,070	0		92.5%	124		1 /	1
四條畷荘デイサービス (35名)	実 績	561	71	6,617	2,888	0		93.4%	6	84		310
(20%)	達成率(%)	94.8%	197.2%	104.8%	94.1%	_		101.0%				
Month of the series of the ser	目 標 値		116	2,569	5,575		1,397	89.0%	1			
光明荘デイサービス (35名)	実 績		163	2,942	4,273		1,700	83.8%	1 /	77	18	309
(33/4)	達成率(%)		-	114.5%	76.6%		121.7%	94.2%				1
→坦井一八八 10 ~	目 標 値	1,500	0	7,736	2,135	0		90.3%				1
高槻荘デイサービス (40名)	実 績	2,519	89	6,901	0	0		76.6%	38	73		310
(40/11)	達成率(%)	167.9%		89.2%	0.0%	-		84.8%				17732
光明の郷デイサービス	目 標 値	912	228	6,352	0	0	0	90.2%				
(28名)	実 績	789	351	5,680	0	0.	364	83.6%	9	52	2	312
	達成率(%)	86.5%	153.9%	89.4%	-	_	_	92.7%				
東大阪デイサービスセンター	目 標 値	1,235	0	495	0	0	0	44.4%				
(15名)	実 績	622	0	1,794	0	0	0	63.1%	14	21	0	260
	達成率(%)	50.4%		362.4%	-	1	-	142.1%				
豊寿荘デイサービス	目 標 値	1,760	83	6,496	781	0		92.3%			/	1
(35名) (35名)	実 績	1,186	223	6,321	1,303	0		91.6%	28	86		312
(ез ду	達成率(%)	67.4%	268.7%	97.3%	166.8%	-		99.2%			$V_{}$	
原田	目 標 値	335	0	5,753	1,749	0		101.1%				
デイサービス	実 績	507	234	3,441	885	0		66.5%	13	62		311
(30名)	達成率(%)	151.3%		59.8%	50.6%			65.8%	Section (Section)		/	
服部	目 標 値	335	0	5,202	1,911	0		96.1%				
デイサービス (30名)	実 績	662	636	4,050	761	0		76.1%	8	57		311
	達成率(%)	197.6%	-	77.9%	39.8%	_		79.2%	(F. 1850), 8 - 1	No. 340	/	
高槻荘認知症	目標値	0	0	1,808	1,353	0		85.8%	1 .	0.4	/	010
デイサービス (12名)	実 績	109	247	1,385	1,059	0		74.2%	0	21	/	310
	達成率(%)			76.6%	78.3%	-		86.5%			/	
春日丘荘認知症	目 標 値	0	0	2,500	850	0		89.8%	- 0	20	/	210
デイサービス (12名)	実績	5 -	19	1,898	1,036	0		84.1%	- υ	28		310
(14/1)	達成率(%)			75.9%	121.9%		1 110	93.7%			/	
合 計	目標値	11,920	7,640	68,853	31,825	0 7	1,449	88.4%	176	936	21	4,41
合 計	実 績	11,559	9,235	64,529	23,910	2021 1 -76 5	2,109	80.9%	1 110	৬৩০	41	4,41
	達成率(%)	97.0%	120.9%	93.7%	75.1%	_	145.5%	91.6%	[N/[SESS]] at [7		10. 政策管理。	4.5000

②訪問介護

施設	タ	介	護	予	防	障	害	合	計	3)	月実利用者	数
ル 改	4	(提供時間)	(提供回数)	(提供時間)	(提供回数)	(提供時間)	(提供回数)	(提供時間)	(提供回数)	予防	介護	障害
	目標値	8,940	9,245	3,469	3,629	850	925	13,259	13,799			
美原荘ヘルパー	実績	8,277	9,108	3,144	3,395	702	837	12,123	13,340			
	達成率(%)	92.6%	98.5%	90.6%	93.6%	82.6%	90.5%	91.4%	96.7%	48	86	8
	目標値	8,608	7,414	1,998	2,636	1,965	1,058	12,571	11,108			
春日丘荘ヘルパー	実績	5,382	5,294	1,424	1,712	1,791	914	8,597	7,920			
	達成率(%)	62.5%	71.4%	71.3%	64.9%	91.1%	86.4%	68.4%	71.3%	27	41	4
	目標値	20,926	34,354	2,598	3,209	2,323	2,640	25,847	40,203			
四條畷荘ヘルパー	実績	20,177	36,966	2,067	2,733	3,022	2,672	25,266	42,371			
	達成率(%)	96.4%	107.6%	79.6%	85.2%	130.1%	101.2%	97.8%	105.4%	28	106	19
	目標値	12,931	13,824			6,221	8,247	19,152	22,071			
光明荘ヘルパー	実績	10,492	12,812			8,076	9,732	18,568	22,544			
	達成率(%)	81.1%	92.7%			129.8%	118.0%	97.0%	102.1%		55	31
	目標値	18,564	20,796	7,692	8,340	7,119	7,536	33,375	36,672			
高槻荘ヘルパー	実績	14,472	16,961	8,560	9,707	8,006	7,368	31,038	34,036			
	達成率(%)	78.0%	81.6%	111.3%	116.4%	112.5%	97.8%	93.0%	92.8%	123	95	58
	目標値	9,722	11,444	2,280	2,640	965	941	12,967	15,025			
白島荘ヘルパー	実績	7,909	10,151	1,263	1,415	2,034	1,791	11,206	13,357		4-4	
	達成率(%)	81.4%	88.7%	55.4%	53.6%			86.4%	88.9%	11	52	5
	目標値	10,718	11,288	2,808	2,808	372	348	13,898	14,444			
豊寿荘ヘルパー	実績	9,584	10,553	2,464	2,579	262	262	12,310	13,394			
	達成率(%)	89.4%	93.5%	87.7%	91.8%	70.4%	75.3%	88.6%	92.7%	39	74	3
	目標値	4,365	4,560	1,728	1,728	48	48	6,141	6,336			,
ひがしまち	実績	3,564	4,026	1,366	1,369	0	0	4,930	5,395			/
	達成率(%)	81.6%	88.3%	79.1%	79.2%	0.0%	0.0%	80.3%	85.1%	38	25	
	目標値	1,911	2,148	811	1,258			2,722	3,406			,
東大阪養護ヘルパー	実績	1,197	1,064	998	829			2,195	1,893			/
	達成率(%)	62.6%	49.5%	123.1%	65.9%			80.6%	55.6%	18	16	
*****	目標値	92,320	110,513	21,656	24,520	19,863	21,743	133,839	156,776		20	
合 計	実績	81,054	106,935	21,286	23,739	23,893	23,576	126,233	154,250			
	達成率(%)	87.8%	96.8%	98.3%	96.8%	120.3%	108.4%	94.3%	98.4%	332	550	128

③居宅介護支援·地域包括支援

(単位:件)

施	設 名	居宅介護支援(ケ)	アプラン作成件数)	認定調査延件数		え包括 ラン作成件数)
		予防	介護		直営	委託
	目 標 値	636	2,480	144	1,261	3,334
美原荘	実	601	2,363	171	899	3,509
	達成率(%)	94.5%	95.3%	118.8%	95	5.9%
	目 標 値	480	1,788	240	2,148	2,745
春日丘荘	実	573	1,675	122	1,623	3,449
	達 成 率 (%)	119.4%	93.7%	50.8%	10	3.7%
	目 標 値	436	1,224	180		
南茨木	実績	460	1,231	186		
	達成率(%)	105.5%	100.6%	103.3%		
	目 標 値	420	1,853	156	278	1,760
四條畷荘	集	587	1,708	116	240	2,025
	達 成 率 (%)	139.8%	92.2%	74.4%		1.1%
	目 標 値	337	1,934	240	1,239	3,197
光明荘	実績	328	1,786	114	1,333	2,974
	達 成 率 (%)	97.3%	92.3%	47.5%	97	7.1%
	目 標 値	960	2,640	324	2,160	2,520
高槻荘	実 績	789	2,592	441	2,063	2,898
	達成率(%)	82.2%	98.2%	136.1%	10	6.0%
	目 標値	240	1,376	180		
白島荘	実 績	223	1,168	169		
	達 成 率 (%)	92.9%	84.9%	93.9%		
	目 標 値	168	188	72	1,200	3,960
東大阪養護	実績	181	461	67	892	3,439
	達成率(%)	107.7%	245.2%	93.1%	8	4%
	目 標値	840	2,100	300		
豊寿荘	実績	919	2,199	374		
	達 成 率 (%)	109.4%	104.7%	124.7%		
	目 標 値	480	1,140	156		
ひがしまち	実績	475	945	161		
	達成率(%)	99.0%	82.9%	103.2%		
	目 標 値	4,997	16,723	1,992	7,086	13,556
合 計	実 績	5,136	16,128	1,921	6,158	14,020
	達成率(%)	102.8%	96.4%	96.4%	97	'.8%

④訪問入浴

(単位:人)

施 設	夂		予防	介護	3月実利	用者人数	営業日数
加图以	74		1 69	ノ1 印度	予防	介護	
	目 標	値		312			
光明荘	実	績		216		4	188
	達 成 率 (%)		69.2%			
	目 標	値	0	258			
高槻荘	実	績	51	84	1	0	258
	達成率(%)	-	32.6%			
	目 標	値	0	570			
合 計	実	績	51	300	1	4	446
	遊 成 率 (%)	-	52.6%		(25 -bo	

(平成28年度中)

⑤認知症対応型共同生活介護

(単位:人)

		r	(中位・バ
施設	名	予防	介護
i	目 標 値		3,285
春日丘荘	実績		3,248
	達成率(%)		98.9%
	目 標 値		3,285
白島荘	実 績		3,279
	達成率(%)		99.8%
	目 樏 値		6,570
すごうの郷	実 績		6,448
	達成率(%)		98.1%
	目 標 値		6,373
高槻荘ゆらら	実 績		6,430
	達成率(%)		100.9%
	目 標 値		19,513
숨 計	実 績		19,405
	達成率(%)		99.4%

⑥小規模多機能型居宅介護支援

			77.111111111111111111111111111111111111					•		(単位 3月実利	Z.人) 用者人制
施青	坐名		延利用人数	予防			介護		利用率	予防	介護
			通い	訪問	登録者	通い	訪問	登録者			
	登	目標値	416		47	3,400	1,560	232	93.0%		
春日丘荘 「彩の家」	録人	実 績	107	214	13	3,196-	1,717	233	82.0%		
	数	達成率(%)	25.7%	-	27.7%	94.0%	110.1%	100.4%	88.2%	2	20
	登	目 標 値	24		12	4,356	2,400	258	90.0%		20
白島荘 ひねもす	録人	実 績	91	135	30	3,565	2,522	214	81,3%		
	数	達成率(%)	379.2%	-	250.0%	81.8%	105.1%	82.9%	90.4%	4	18
	登	目 標 値	96		24	3,650		216	120.0%		
高槻荘ゆらら	録人	実 績	120	32	11	2,886	620	189	66.7%		
	数	達成率(%)	125.0%		45.8%	79.1%	-	87.5%	55.6%	3	18

(平成28年度中)

⑦定期巡回 • 随時対応型訪問介護看護

施 設 名				登録人数	3月実利用者人数
施 权 柏				安	介護
	目	標	値	241	
堺定期巡回	実	y.	績	223	19
	達成	(率)	%)	91.7	

※ 登録人数 : 月初登録者数×12ヶ月

(3) 障がい福祉サービス事業

①就労継続支援

		延べ利用者数	利用率	3月実利用名数	営業日数
- hnzivor	目 標 値	2,651	110.0%		1749450
よりそいの丘 就労継続支援A型	実績	1,773	66.9%	8	241
AND TO THE HOLD A TOO THE	達成率(%)	66.9%	60.8%		
よりそいの丘	目 標 値	2,555	105.8%	Call At	
就労継続支援B型	実 續	2,064	77.9%	14	241
が6万 WEAD 1人 1人 1人 1人	達成率(%)	80.8%	73.6%		22.0
みずほおおぞら	目 標 値	1,174	83.9%		在图影点
就労継続支援A型	実 績	383	27.4%	6	22
起力推动人及代生	達成率(%)	32.6%	32.6%		9 100
みずほおおぞら	目 標 値	5,337	83.1%		
就労継続支援B型	実 績	4,712	73.3%	21	23
かのパールのに人が口子	達成率(%)	88.3%	88.3%		

②生活介護

		延べ利用者数	利用率	3月実利用者数	営業日数
				障がい	
みずほおおぞら	目 標 値	6,204	60.4%		1.00
かりほねねてり 生活介護	実 績	5,724	55.7%	30	23
工1月711度	遊成率(%)	92.3%	92.3%		141384
光明の郷	目 標 値	1,567	56.0%		
ための海 生活介護	実績	528	18.8%	7	22
	達成率(%)	33.7%	33.7%		

③短期入所(7月31日まで)

1331			
(単	77	٠	Λ.
1-	1/-	٠	/\

		延べ利用者数	利用率
	目 標 値	636	86.9%
みずほおおぞら	実 綾	742	101.4%
	達成率(%)	116.7%	116.7%

⑤計画相談支援

(単位:人)

		計画相談支援 サービス等利用計画 作成件数
みずほおおぞら	目 標 値	356
計画相談支援	実績	311
	達成率(%)	87.4%
光明の郷	且 標 値	60
計画相談支援	実績	79
11回11回火人级	達成率(%)	131.7%
トレフン・ハー	目 標 値	30
よりそいの丘 計画相談支援	実績	6
可画用欧人版	達成率(%)	20.0%

④施設入所支援(8月1日から)

施 設(入所定	名 員)	施設入所 (日数)	短期 (日数)	計 (施設入所+短期) (日数)	利用率 (%)
みずほおおぞら	目標値	4,671	2,043	6,714	89.1%
(31名)	実 績	3,905	1,825	5,730	76.1%
(01/11)	達成率(%)	83.6%	89.3%	85.3%	

(4) 老人福祉センター等事業

(単位:人)

	施 設 名	1 1	一般利月	用延人数	団 体	利 用	延利用者数
	旭 权 石		男	女	団体数	延利用者数	合計
	堺市立美原老人 福祉センター	平成28年度	22,528	23,046	1,066	13,163 (一般利用延人数 に含まれる)	45,574
堺市	堺市立北老人 福祉センター	平成28年度	49,368	43,195	1,186	10,547 (一般利用延人数 に含まれる)	92,563
	堺市立東老人 福祉センター	平成28年度	53,575	40,112	1,774	23,212 (一般利用延人数 に含まれる)	93,687
茨木	沢池多世代交流 センター	平成28年度	9,976	15,158	34	1,434	26,568
小 市	南茨木多世代交流センター	平成28年度	8,101	10,922	39	1,295	20,318
池田市	池田市 敬老会館	平成28年度	28,967	19,937	1,289	18,880	67,784
	平成28年度実績	合計	172,515	152,370	5,388	21,609	346,494
	施 設 名		前期入学生	前期卒業生	後期入学生	後期卒業生	延利用者数 合計
豊中市	豊中健康大学 原田校	平成28年度	12	8	14	14	
市	豊中健康大学 服部校	平成28年度	32	14	33	18	
	平成28年度実績	合計	44	22	47	32	

(5) 市町村委託事業

施設名		在 宅 介 護 支援センター (CSW事業)	配食サービス (食 数)	障害入	浴 移送サービス)(回)	地域活動 支援 (回)(中 回 中 級 (障害者訪問入 浴 サ ー ビス	から色色	無
美原荘	実	相談2件					3名10回		場市複合型介 護予防教室運 営 (堺区・中区・ 東区・美原区)	
	契約市町村	堺市					- 福		堺市	
# U	実績	2132	4,004							
サコ 二井	契約市町村	茨木市	茨木市							
本口下芥グ	実績									
年日 正社7.4	契約市町村									
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	実績	2590	8,553							
用ベルソイ	契約市町村	茨木市	茨木市							
	実績		200						・障がい者移 動支援事業 104回 ・障がい児通	
四條畷荘									学支援事業 188回	
	契約市町村		くすのき広域 連合						四條畷市	
米田本	実績	42						105		
ノレジカ4正	契約市町村	和泉市						和泉市		
真網件	実績		6,570							
Thorac Fall	契約市町村		高槻市			A STATE OF THE PERSON NAMED IN COLUMN NAMED IN				
白	実績			0		1,467	168			
T FEE	契約市町村			箕面市		箕面市	箕面市			
曹奉	実績				761					
1	契約市町村				費中中					
車大阪業業	実績									
XX XX XX XX	契約市町村									
万奉茌	実績	0								
7	契約市町村	岩田市								
ながほなおがら	実績						767			
	契約市町村						豊中市			

(6) 地域公益事業

施設名	地域公益事業内容
	【取り組み1】 (1) 取り組むべき課題
	場市内には中間的就労の受け皿が少なく、業種も限られているため(介護補助等)、対象者が選択できないことが課題です。 (2)実施内容 美原総合福祉会館の喫茶コーナー(みはらカフェ・グリーンデイ)にて、生活困窮者就労訓練事業の受け入れを行い、接客スタッフ(無償ポランティア)として指導と支援を実施、え
	大小林台 日曜日本日の大水コープーではられるカイナ・ソテーン・イントとし、生活回動有象の前線・サ来の交の人は641以、後名ペクラン(無頃ホノンノイノ)として指導と又後を失趣、入り与もフとを進める中で、ステップアップの選択肢の一つとして、有償ボランティアへの変更および、美原荘グループでの就労提案を行います。
	(3)効果 対象者1名を受け入れ、後にデイサービスでの雇用につながりました。
	【取り組み2】 (1)取り組むべき課題 理由しておはない場合の伝統の根が小なく、既有の体験に反応し、ジリー、こと、企会などもでいった。また、英国に内ではない。場合ではよ
	堺市内には若年性認知症者の活動の場が少なく、既存の活動に幅広いパリエーションを求められています。また、美原区内ではない状況です。 (2) 実施内容 美原総合福祉会館の喫茶コーナー(みはらカフェ・オレンジデイ)にて、若年性認知症者の活動支援(スタッフの一員としての受け入れ)を行います。
	(3)効果 平成27年度から1名、今年度2月より新たに1名を受け入れています。
美原荘·和風荘	【取り組み3】 (1)取り組むべき課題
	和風荘では、入所者のADL低下や認知症者への取り組み強化を考えると共に、入所者の健康寿命を延ばすことが課題であり、その課題に取り組むことにより、認知症の予防や 入所期間の延長につながります。あわせて地域へのアピールが不足していると考えられ、地域行事への参加や施設開放を積極的にすることにより、施設に対して理解を得て、将 来的な利用につなげていくことが可能であります。
	本の対象が用に、かまりていたことが可能とのがよう。 (2)実施内容 近隣の平尾小学校や大地幼稚園へ利用者と訪問し、入居者のこれまで培ってきた豊富な経験を子供たちに伝えていきます。 地域住民に施設とその資源を括用していただく取
	り組みを行います。以下の行事等に参加してもらえるよう、地域住民にPRします。当初は、隣の府営住宅からPRしていきます。 〇中百舌鳥商店街の移動スーパー(月2回)・ホームストア(毎週)の利用。
	○クラブ活動等行事:駅おう会(月1回)、書道クラブ(月1回)、パッチワーククラブ (月2回)、映画会(月1回)への参加。
	○チューブ体操(月1回)への参加。 (3)効果 入居者のADL低下や認知症者への取り組みの一環として、近隣の平尾小学校やみはら大地幼稚園への訪問等に力を入れました。運動会やもちつき等の行事に積極的に参加。
	ました。新しい取り組みでは、平尾小学校の花壇の一部の管理を任せていただき、入居者としる権にサンマイモの苗植え、収穫までの世話を行いました。地域へのアピール、施設への理解を得るための取り組みでは、隣接する府営住宅の住民に和風通信を配布しました。その効果もあり、和風喫茶や移動スーパー、歌おう会等への参加につながりました。
光明荘	市内にオレンジカフェ(認知症カフェ)が9ヶ所あるが、歩いて行ける距離に無い為、伏屋町老人会をバックアップする形で認知症カフェを開催しました。当初は参加者も少なかったが、徐々に参加者が増えており定期的に開催しました。光明荘で行っているカフェについても毎回、20名以上の参加がありました。地域課題として登り下り坂が多く、買物に行くにも手段がないと言ったニーズがあり、送迎サービスを行った。ただ車や職員が動ける時間が限られており、実働は2回のみとなった。
	【地域の課題・ニーズ】 多様化・複雑化している地域課題(制度の狭間にある生活図窮者)に対して、高槻荘職員が、地域福祉の担い手の方々と協働して課題解決に取り組んでいく。
	【取り組みの概要】 ①キレイ所…自宅の敷地内にゴミをため込んでいる所謂「ゴミ屋敷」と化した世帯の内、自身で生活環境の保全が行えない地域の高齢者・障がい者の方に対して関係機関と協力
高槻荘	しながら、その生活の保全を援助する。 ②サポリ版・在宅で要う職者を介護するご家族に対して、高槻在の有する専門職種の知識・技術をもって、介護知識や技術を在宅介護の現場で助言・相談援助することで、住 み慣れた地域でなるだけ長く在宅生活を継続できるように援助する。
	【援助内容】 ①高槻荘職員が敷地内に溜まったゴミの分別・整理・移動・清掃を行う。 ②援助内容・・高槻荘職員がご家族に対する介護技術の現場(自宅)指導、調理指導、その他介護全般の助言・指導を行う。
	【実 練】 キレイ所として3件の依頼あり、3件全でが敷地内の生活環境の保全(ゴミ清掃)。
	○ 地域の課題・ニーズ 民生・福祉委員、アンケートを実施し、地域包括等の関係機関から聴き取りを行う。施設近隣の地域は丘陵地で坂が多く買い物等外出が困難。コミュニティーハ'ス等移動支援のニーズが 高い。
oper programm depter	
春日丘荘	・介護等ニ講座:彩の家地域交流スペースにて、地域住民を対象に2ヶ月に1回、定員10名で実施。介護体験や交流会を行い、介護にも関心を持っても6い施設開放、施設機能の地域への遷元、就労相談では地域住民の雇用促進を目的とした。案内チラシのポスティングはNPO法人のなにわ和楽日の会に依頼し地域住民のマンパワーと連携。
	○取組の効果 延べ参加者は、食事会は19名、介護ミニ講座は79名の参加者で3名の非常勤職員採用。地域貢献の足掛かりとなった。ニーズ調査や参加を募るにあたり、民生・福祉委員や地域では、企業の企業の企業の企業の企業の企業の企業の企業の企業の企業の企業の企業の企業の企
	域包括・在介・他多機関等と窓見交換等との関わりが増えた。小さなステンプだが、地域の課題に対して実行を伴うアプローチができた。 ・いっぷくステーション「よろか」事業を中心に、四條窓柱緊急生活支援サービスによる入浴支援・配食支援、物品の一時貸手・譲渡サービスを実施。地域資献として地域行事への参加や近隣公園・河川の清掃活動を関係機関と協力しながら実施した。「よろか」の利用者については2,000名を超え、緊急生活支援サービスは年間4件、毎月の定例清掃活の参加や近隣公園・河川の清掃活動を関係機関と協力しながら実施した。「よろか」の利用者については2,000名を超え、緊急生活支援サービスは年間4件、毎月の定例清掃活
四條畷荘	動に加え、河川1か所、公園・広場を各1か所ずつ清掃した。
白島荘	・箕面市が健康長寿の増進の一助としてラジオ体操を推進しているため、その趣旨に賛同し昨年度に引き続き自島荘でも週3回(火曜日・金曜日・日曜日)正面玄関にて実施し、日曜日は、NPO法人なにわ和楽日の会と連携し開催しました。また、地域住民との交流のために体力測定を実施し、地域に根ざした施設となれるよう努めました。さらに毎月行っている居酒屋では10名前後の地域住民が参加して頂いており、ご入居者やご利用者と交流しながらアットホームな雰囲気で暖かい交流ができています。
東大阪養護	地域交流室を使用し入居者向けに行っていた各クラブ活動を地域住民にも開放しました。また警察交通課職員をお招きしての自転車議習会や、近畿大学建築学部准教授の「地域の街づくり」講演会を一般開放することで地域に対しても一定の足掛かりとなりました。
永寿園とよなか	認知症サポーター養成講座の定期講座を6回と出前講座を4回開催し、150名の方が認知症サポーターになられています。また、地域住民の方を対象に健康や暮らしの知恵を デーマに公開講座を毎月開催しました。地域交流スペースは子育でサロンや地域の交流喫茶、自治会行事、地域の保護者と子供との集いなど年間81件利用していただきました。
豊寿荘	地域とのつながりの拠点「あいあい食堂」を、平成28年9月よりリニューアルオープンしました。午前と午後に、様々な活動プログラムを実施する事で、住民主体の介護予防活動の 推進を目的とし、介護予防プログラムを開始した平成29年9月から3月末までの間で、2823名の地域往民の方が参加されました。地域自治協議会各種団体との連携も、一年を通 て地域行事等に積極的に参加する事で、「つながり」の強化を図る事が出来ました。また、「あいか、堂堂」から福祉に関する情報発信を行い、地域福祉程序活動の一製を担いす
	1. た ・ 地域住民向けの学習会として、交通安全教室を6月にエコ教室を8月に行いました。 ・ 介護予防対策として、介護予防教室と脳トレーニングを年12回、開催しました。
万寿荘	・ 独居高齢者の引きこもり防止対策として、みんなの居場所(毎週火・金曜日)年98回。独居高齢者の食事 会を9月と2月におこないました。
\2 \\ 4T	 地域に於ける行事として、男性料理教室を年6回職員を派遣。石橋公園清掃に年10回参加。石橋公園納 涼大会と石橋校区防災訓練に準備原機から参加しました。 菜園を石橋保育所に一部開放しました。
河南荘	河南荘で実施している介護予防体操3種(百歳体操・いきいき体操・音楽療法)を地域へ参加を呼びかけ毎回3名程度の参加があり、河南町の交通事情を考慮して送迎している。 現在では書道クラブへの参加など少しずつではあるが参加の幅が広がってきた。河南荘地域では地区の取り組みが少ないため今後も地域住民の参加を呼び掛けて行く。
	平成29年度に地域にお住まいの障がいのある方で、支援が必要であるがフォーマル・インフォーマルなサービスに繋がっていない方に向けて、その利用のきっかけとなるようなイベントを開催する予定にしています。今年度は、どのような企画をすれば、より多くの参加が見込めるのかを図るために、相談支援事業所連絡会、線」で情報提供させていただき
みずほおおぞら	へつて他所属するアルにしています。今年長は、このよりなは風でするは、より多くい参加が見込めらいかを図っために、相談ス後事業所連絡者、練」で目報を供させていただされ数支援事業所向けにアンケートを実施しました。単中市内27か所の相談支援事業所にアンケートを送付し、現在11事業所から返答を得ています。それを踏まえ、他の相談支援事業所とも連携して、次年度の企画に反映し、より効果のある事業にしていきます。

(7) 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度

(単位:人)

施設名	特 養	訪問介護	通所介護	短期入所	合計
美原荘	5	1	1	0	7
春日丘荘	1	1	0	2	4
四條畷荘	4	1	1	1	7
光明荘	0	0	0	0	0
高槻荘	0	1	1	0	2
白島荘	3	0	2	0	5
永寿園とよなか	1			0	1
豊寿荘	1	2	3	0	6
東大阪養護	0	0	0	0	0
みずほおおぞら	0			0	0
合 計	15	6	8	3	32

(平成29年3月31日現在)

(8) ボランティア受け入れ状況

区分	受 入 実人数	延受入 人数	活動內容
美原荘	74	1,113	ひまわり喫茶、傾聴ボランティア、民謡グループワーク、音楽療法、書道、朗読サービス、 盆踊り、ホーム喫茶、カラオケ喫茶、陶芸、手芸、ハーモニカ演奏、清掃活動
すごうの郷	18	40	傾聴・ピアノ・音楽
春日丘荘	276	1,439	書道クラブ、お茶クラブ、歌体操、傾聴、オカリナ、編み物、本読み、絵手紙、楽器演奏、 ハーモニカ、喫茶、各種行事
春日丘荘「彩の家」	119	158	書道クラブ、お花クラブ、傾聴、歌体操、塗り絵、喫茶、各種行事
四條畷荘	1,489	1,489	喫茶手伝い 祭り手伝い 祭りアトラクション 華道クラブ 書道クラブ 盆踊り オカリナ演奏 大正琴 三味線 傾聴 間接業務お手伝い よろかサポート etc…
光明荘	90	705	音楽療法、お花クラブ、グループワーク、園芸クラブ、ホーム喫茶、折り紙クラブ、ハーモニカクラブ、お化粧クラブ、やまびこクラブ
高槻荘	230	2,340	喫茶、ハーモニカ、大正琴、歌体操、楽器演奏、ディナー会、下膳、行事付き添い、行事 模擬店・出演(踊り・太鼓)、行事麻雀、囲碁、カラオケ、朗読、傾聴、書道
白島荘	120	421	アコーディオン、カラオケ、アートフラワー、お花、習字、写真セラピー、衣類修繕、傾聴、 居酒屋、近隣幼稚園の劇鑑賞、音楽大学生からの生演奏等、近隣高校からの車いす洗浄 等、吹奏楽、定例行事(イベント時の利用者誘導・設営・見守り・出し物等)、喫茶 等
東大阪	88	824	クラブ活動(民踊、詩吟、俳句、水彩画、書道、華道) 季節行事(お琴演奏、吹奏楽サークル、認知症カフェ)
豊寿荘	155	864	喫茶手伝い、売店販売、クラブ活動(コーラス、生け花、編み物、書道)、歌体操、夏祭り手伝い、理美容サービス、傾聴、おやつ手伝い、とよなか健康大学準備片づけ、あいあい食堂コーディネーター補助等
永寿園とよなか	103	834	喫茶・外出行事・食事の配下膳片づけ・お話相手・民謡端唄・書道・裁縫・アコーディオン・ハーモニカ・オカリナ・胡弓・フルート・音楽療法・ヒーリング・絵手紙・麻雀・映画・園芸・夏祭り・ビアガーデン・歌謡ショー・バスツアー・メイクとネイル・バンド演奏・日本舞踊・ゴスペル・もちつき
和風荘	109	399	健康運動体操・和風喫茶・傾聴ボランティア・ショッピングツアー・夏祭り・大正琴・チューブ 体操・お化粧クラブ・書道・英会話クラブ・館内清掃・パッチワーク・
万寿荘	60	328	書道・お話広場・踊り・地区コーラス・すみれの会・歌体操・アートフラワー・行事(夏祭りなどの季節行事)・法話・介護予防教室の講師・世代間交流
河南荘	51	245	ホーム喫茶 傾聴ボランティア 花見の宴 盆踊り いきいき体操
みずほおおぞら	8	14	※「夢楽らいぶ一座」という3名の音楽グループにボランティアでコンサートを開催していただきました。入所・短期をご利用の方に楽しんでいただきました。 ※年末の餅つき大会に地域の方1名、利用者の家族1名、職員の家族1名が、ボランティアで手伝いに来てくれました。 ※手織り作業の縫製や綜絖通しのボランティアに2名の方が、計7回来ていただきました。
合 計	2,990	11,213	

(9) 実習生受け入れ状況

(人) (月) (月) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日		福祉専門学校	門学校	看護専門学校	門学校	職業訓練校	練校	介護員初任者研修実施校	肾研修実施校	大学	益	111111	1	
1		华(大)	延日教 (日)	学生数 (人)	原日教 (日)	华(大)	原日数(日)	举生 (人)	шш	学生数(人)	原日数 (日)	学生数 (人)	延日数 (日)	離
6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 7	美原荘	0	0	44	37	2	rc	0	0	4	27	50	69	
6 64 64 0 0 0 4 9 6 58 16 24 4 0 0 0 0 0 0 4 10 6 10 0 0 4 11 6 4 11 5 6 4 11 5 5 59 59 59 6 4 11 5 5 59 59 6 4 11 5 6 6 7 6 4 11 5 6 7 6 7	すごうの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	12	24	12	24	
2 4 0 0 0 0 2 2 0 0 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 5 4 1 4 1 5	春日丘荘	9	64	0	0	0	0	4	6	9	58	16	131	
24 362 10 50 12 84 40 11 55 59 59 10 10 0 0 1	春日丘荘「彩の家」	2	4	0	0	0	0	2	2	0	0	4	9	
10 162 0 0 18 0 <td>四條畷荘(特養)</td> <td>24</td> <td>362</td> <td>10</td> <td>50</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>40</td> <td>II</td> <td>55</td> <td>59</td> <td>519</td> <td></td>	四條畷荘(特養)	24	362	10	50	9	12	8	40	II	55	59	519	
10 162 0 5 27 0 0 12 12 48 13 65 16 35 6 143 57 17 17 17 18 18 16 18 65 16 16 143 57 17 <td>四條畷荘(養護)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>18</td> <td></td>	四條畷荘(養護)	0	0	0	0	2	18	0	0	0	0	2	18	
10 71 12 48 13 665 16 35 65 143 57 78 11 12 12 48 1 20 17 23 115 64 78 12 12 48 1 20 17 23 115 64 78 12 12 48 1 20 0 0 44 220 44 84 78 44 78 <td>光明荘</td> <td>10</td> <td>162</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>27</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>201</td> <td></td>	光明荘	10	162	0	0	5	27	0	0	2	12	17	201	
1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 6 4 1 6 4 6 4 1 6 4 4 1 6 4	高槻荘	10	71	12	48	13	99	16	32	9	143	25	362	
0 0 0 0 0 0 0 44 220 44 1 0 <td>白島荘</td> <td>17</td> <td>127</td> <td>9</td> <td>48</td> <td></td> <td>20</td> <td>17</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>115</td> <td>64</td> <td>333</td> <td></td>	白島荘	17	127	9	48		20	17	23	23	115	64	333	
1 1 48 21 63 0	東大阪養護	0	0	0	0	0	0	0	0	44	220	44	220	
48 21 63 0 6 14 2 47 31 1 2 48 10 0	永寿園とよなか(養護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1 1	鲁寿荘	2	48	21	63	0	0	9	14	2	47	31	172	
0 0	永寿園とよなか(特養)	0	0	09	100	0	0	0	0	0	0	09	100	
0 0	和風荘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0 0	万寿荘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 20 13 14 0 0 0 0 0 0 15 15 73 858 166 347 29 147 53 123 110 701 431	河南荘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
73 858 166 347 29 147 53 123 110 701 431	みずほおおぞら	2	20	13	1	0	0	0	0	0	0	15	21	
	型	73	828	166	347	53	147	53	123	110	701	431	2,176	

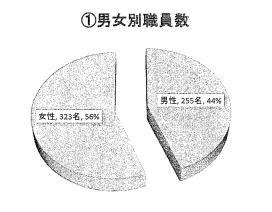
(10) 認知症サポーター養成講座及びキャラバンメイト数

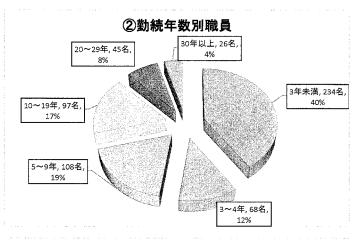
	認知症サポー	ター養成講座	キャラバ	シメイト
	開催回数	受講者数	新規登録者数	既登録者数
美原荘	5	167	6	5
春日丘荘	0	0	0	0
「彩の家」	6	105	2	4
四條畷荘	8	247	2	4
光明荘	5	100	4	12
高槻荘	3	160	1	7
白島荘	1	25	0	0
東大阪養護	4	180	1	7
永寿園とよなか	10	150	4	5
豊寿荘	1	30	0	0
和風荘	1	9	0	0
万寿荘	0	0	0	0
河南荘	0	0	1	0
みずほおおぞら	0	0	0	0
合計	44	1173	21	44

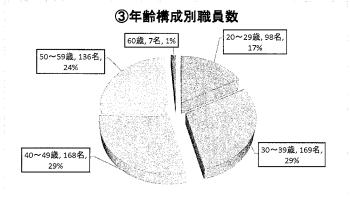
[※]認知症サポーター養成講座実施状況は28年度中の延受講者数

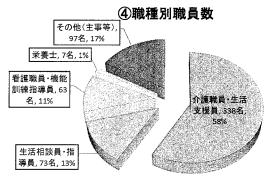
3. 労務管理状況

(1)職員状況









(2) 平均年齢と平均勤続年数

平均年齢	40.6歳
平均勤続年数	7年10月

(3) 採用状況

①採用状況(平成28年度中)

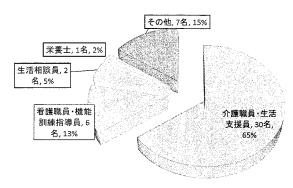
職名	採用	退職	定年
支援員(介護)	74名	27名	3名
支援員(生活相談)	5名	2名	1名
支援員(主事)	5名	4名	1名
看護職員	11名	4名	0名
機能訓練指導員	4名	1名	0名
栄養士	0名	1名	0名
その他	8名	0名	2名
合計	107名	39名	7名

②職員選考状況

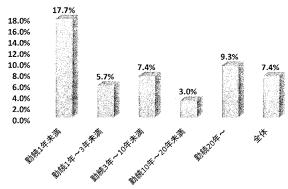
職名	応募者数	合格者数
支援員(介護)	120名	52名
支援員(生活相談)	21名	8名
支援員(主事)	37名	7名
看護職員	19名	11名
機能訓練指導員	3名	2名
栄養士	5名	1名
その他	9名	3名
合計	214名	84名

(4) 離職状況

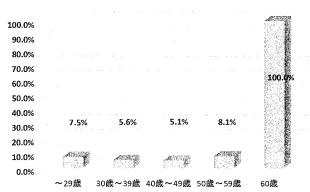
①職種別離職者数



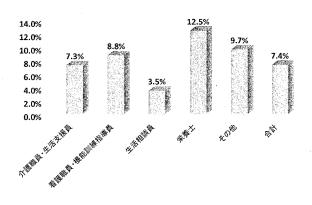
②勤続年数別離職率

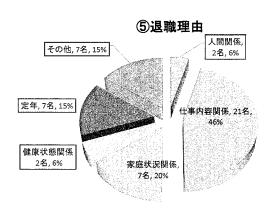


③年齡構成別離職率



4職種別離職率





(5) 昇任状況

①階級別昇任者数

階級	昇任者数	発令年月日
施設長級	0名	平成28年4月1日
副施設長級	0名	平成28年4月1日
科長級	3名	平成28年4月1日
総括主任級	5名	平成28年4月1日
主任級	14名	平成28年4月1日

②主任級昇任選考状況

選考内容	応募者数	合格者数
主任級昇任選考	72名	9名

(6) 職員表彰状況

表彰内容	対象者数
永年(30年)勤続表彰者	3名
永年(20年)勤続表彰者	4名
多年(10年)勤続表彰者	16名
業務推進表彰者	4名
ワンダフルカード表彰者	6名

(7) 職員研修

①研修実施内容

種 別	研修 区分	研 修 名	実施年月日	参加者	内 容
		正 規 職 員 内 定 者 施設見学会及び交流会	H28. 11. 19	29 名	・四條畷荘見学施設の概要説明、施設内見学(特養・養護)・四條畷荘職員との意見交換会・交流会
		採用前・採用時研修	H28.4月~ H29.3月	271 名	・基礎研修 ・人権 (理念、個人情報、虐待防止、身体拘束排除) ・接遇 ・ケアプラン・認知症・緊急時対応・介護技術等
	新人	新人グループワーク研修	H28. 10. 17 H28. 10. 27 H28. 11. 4 H28. 11. 24	87 名	・共同作業(施設内環境美化意識の向上) ・グループワークを通じた連帯意識の向上
法人研修	新人職員	新 人 職 員フォローアップ研修	H28.4月~ H29.3月	507 名	・個別面談を行いメンタルケアの安定を図ることで、 モチベーションアップにつなげる。・個人の学びたいことや目標を確認し本人の希望や 力量に応じた個別研修プログラムに繋げる。
		新規採用職員集合研修	H29. 3. 2~ H29. 3. 13 (6 日間)	延べ 210 名	1日目 事業団概要、職員評価制度、人権 グループワーク 2日目 食事、接遇 3日目 腰痛予防、身体介護の基本、移乗介助 4日目 高齢者の理解、感染症、事故の予防と手当、 急病への対応、夜勤 5日目 着脱、環境整備、排泄、入浴 6日目 多職種との連携、リスク、認知症、個別ケアと記録の書き方 グループワーク
	初級職員	初級職員研修(事業団内 他 施 設 体 験 研 修)	H28. 7. 14~ H28. 11. 18 (上記のうち1日間)	100 名	・勤務施設と同種の事業団施設を体験し、他施設の 運営方法や業務の手順等の体験をとおして職員の 振り返りと改善に役立てる。

中堅職員	OJT実践研修	H28. 6. 6. 7 (2 日間研修)	32 名	【講義・演習】・OJT を通じた効果的なリーダーシップ・指導者としての自己開示
	主 任 昇 任 者 研 修	H28. 4. 15	13 名	【講義】 ・今後の事業団のあり方について ・中長期経営計画における主任の心構えと役割 ・財務管理及び労務管理における理解 ・人材育成と現場指導について ・職員評価制度について
指道	コーチング研修	H28. 8. 12	11 名	【講義】 ・コーチングスキルの習得
指導職員	苦情対応研修	H28. 12. 14	27 名	【講義】 ・クレーム対応術を身につける
	第 1 期 考 課 者 研 修	H28. 7. 22	15 名	【講義・演習】 ・評価基準の目標合わせ ・指導記録票の書き方 ・中間面接の方法・演習
	第 2 期 考 課 者 研 修	H28. 12. 2	15 名	【講義・演習】 ・評価の視点や理解を深め、評価基準の統一を図る
	財務管理研修	H28. 9. 16	17名	【講義】・社会福祉法改正案の概要の理解・改正までに各拠点、部門で取り組むべき課題等の 把握
管理	人事・労務管理研修	H28. 9. 16	16 名	【講義】 ・ワークバランスとは・経営戦略としてのワークラ イフバランス
管理職員	ハラスメント研修	H28. 10. 7	35 名	【講義】 ・職場のハラスメント防止
	メ ン タ ル ヘ ル ス (ラインケア)研修	H28. 10. 7	36 名	【講義】 ・メンタルヘルスに活かすアンガーマネジメント
	考課者研修 乗新)	H28. 10. 7	19 名	【講義】 ・人事考課の基本のおさらいとポイント、制度の発 展

				【講義】
:	人権・虐待防止の危機管理			- 虐待防止と権利擁護
	と 権 利 擁 護	H28. 5. 13	44 名	・人権意識の高揚
				- 虐待のない施設づくりと管理者責任
	O S J 経 営 塾	H28. 9~ 29. 3	6名	【講義・演習】 ・管理者および経営者として必要な知識やスキル等の習得に向けた講義およびディスカッション
	虐待事例発生時対応研修	H28. 10. 7	33 名	【講演】 ・大阪府社会福祉事業団虐待防止マニュアル ・虐待発生時の対応及び実態把握調査について
指導	認知症ケア指導者研修	H28. 5. 20	21 名	【講義】 ・老年行動学からみる認知症の人のこころ
指導者養成研修	リーダー養成自己啓発研修	H28. 6~ H29. 2	8名	【講義・演習】 ・労務管理、財務管理、運営管理について ・演習を通しての自己課題設定、自施設取り組み
共通研修 一般職員	メンタルヘルスセルフケア研修	H28. 10. 19	18名	【講義】 ・ストレスの仕組みやメンタルヘルスの理解を深め、心の健康作りについての意識を高める
	腰痛予防研修	H27. 11. 22	10 名	【講義・演習】 ・腰痛予防の基礎知識 ・福祉用具を利用しての安全な移乗介助方法
推奨研修	虐待防止研修	H28. 5. 2~ H28. 10. 21	464 名	【講義・演習】 ・虐待と不適切ケアの再発防止に向けた、職員への 人権意識の醸成を目指すことを目標とした研修
	虐待防止 (フォローアップ) 研 修	H28. 8. 29~ H29. 1. 20	277 名	【講義・演習】 ・虐待防止研修を踏まえたうえで、自身の行動を振り返り、より人権意識を高める
	障 が い の 理 解	H 28. 10. 19	15 名	【講義】 ・発達障がいや自閉症スペクトラムとは ・障がい者支援施設について
個別研修	個別研修	H28.4.1~ (随時)		【講義】 ・職種変更などで個別に生じた課題に対して、 個別に育成を図る。

自己啓	介護支援専門員受験対策セミナー	H28. 6. 20 H28. 7. 11 H28. 8. 29	延べ 76 名	【講義】 ・介護支援専門員資格試験の重点内容
自己啓発研修	介護福祉士受験対策セミナー	H28. 9. 26 H28. 10. 24 H28. 11. 21	延べ 36 名	【講義】 ・介護福祉士資格取得の重点内容
	サービス提供責任者研修	H28. 11. 2	9名	【講義】 ・訪問介護計画作成のポイント ・サービス内容の管理 ・訪問介護員への助言 指導方法 ・介護支援専門員との連携
専門職研修	看 取 り 研 修	H28. 10. 13	26 名	【講義】 ・看取りに対する姿勢、心構え ・看取り介護サービス内容と方法 ・看取り実施における職種ごとの役割
	接遇・マナー研修	H29. 2. 16	48 名	【講義】 ・社会人としてのビジネスマナーについて ・印象を左右する電話応対について ・福祉専門職員として身に付けるべき接遇

②外部派遣研修実施内容

種別	研修名	実施年月日	参加者	内 容
海外研修	" エ イ ジ レ ス 社 会 " 海外福祉事情・調査研修	H28.11.13~ H28.11.19 (5泊7日) H28.11.14~ H28.11.19 (4泊6日)	2 名	 ・スウェーデン/ストックホルム 福祉先進国スウェーデンにおける高齢者ケア の取り組みと現状 ・アメリカ/ロサンゼルス アメリカのシニア介護、ターミナルケアの現場 から患者と家族への包括ケア、医療と介護の 協働体制を学ぶ
な研修を加修	評価者(アセッサー)講習	H28. 9. 13 H28. 11. 8	8名	【講義・演習】・介護キャリア段位制度の意義、役割・模擬監査、記録の相互監査

		r									
	H28. 5. 24~										
	28. 7. 12										
	H28. 7. 1∼										
	H28. 9. 12										
	H28. 9. 26∼		【講義・演習】								
認知症介護実践研修	H28. 11. 30	19 名	・認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の								
III AH ALL AI BE SE SAI IS	H28. 11. 1∼	10.0	専門員を養成								
	H28. 12. 22		寸口兵と反次								
	H28. 12. 4∼										
	H29. 2. 11										
	H29. 1. 12∼										
	H29. 2. 28										
	H28. 6. 1∼		【講義・演習・他施設実習】								
認知症介護実践研修	H28. 8. 18	2 名									
(実践リーダー研修)	H28. 12. 12~	2.13	・実践研修を修了した者が、リーダー的な役割を 持った認知症介護の専門員を養成								
	H29. 2. 28		持つた認知症別護の等門員で食成								
			【講義・演習】								
認知症介護指導者	H28. 11. 21∼	1名	・認知症介護指導者養成研修修了者に対し、最新の								
フォローアップ研修	H28. 11. 25	141	認知症介護技術を的確に伝達出来るような体制								
			を整えることを目的とした研修								
他 法 人 施 設 研 修			【講義・見学】								
社会福祉法人恵仁福祉協会	H28. 10. 31~		・ユニットケア及び地域包括ケアの実践施設より								
高齢者総合福祉施設	H28. 11. 3	9名	ケアの取り組み内容等を学び、自施設のケア内容								
アザレアンさなだ	ΠZO. 11. 3		を見直しサービスの向上に繋げることを目的と								
施設見学研修会			した研修								
	H28. 4. 27~		【講義】								
実務者研修教員講習会	H28, 6, 22	1名	・実務者研修の講師を行うに当たって、必要な								
	ΠΖΟ, 0 , ΖΖ		知識を修得する								
	H29.8.9∼		[:# · 本 · 本 · 10]								
大 阪 府 サ ー ビ ス	H 28. 8. 24	0.5	【講義・演習】								
管 理 責 任 者 等 研 修	H28. 10. 20∼	2名	・サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者								
	H28. 12. 16		の養成								
大阪府相談支援従事者	H28. 10. 17~		【講義】								
初任者研修(2 日課程)	10. 18	1名	・サービス管理責任者の養成								
			【講義・演習】								
サービス管理責任者等指導者	H 28. 9. 14~	1名									
養 成 研 修	9. 16		運営、指導者を養成する研修								

介護過程の展開	H28. 12. 11	2名	【講義・演習】 ・介護過程の基礎から学び、客観的で科学的な根拠に基づいた介護実践を可能とすることを目指した研修
日本応用老年学会大会	H28. 10. 29	1名	・記念講演
介護現場の虐待防止の具体策セミナー	H28. 7. 10	1名	【講義】 ・虐待、不適切ケア、身体拘束も含めて一貫した 考え方に基づいて基礎知識と具体的対策を学ぶ
リーダーのための介 護 コー チング	H28. 7. 3	1名	【講義】 ・介護リーダーの役割・職員の指導・情報共有等 について事例と解決策を学ぶ
全国社会福祉法人経営者大会	H28. 9. 14 H28. 9. 15	3 名	【講義】 ・法人制度改革への対応と自主性・自立性を持った 法人経営の確立
全事協社会福祉法人会計に 関 す る 研 修	H28. 7. 29	1名	【講義】 ・新会計基準の概要と計算書類体系を中心に 学ぶことを目的にした研修
第 1 回 社 会 福 祉 法 人 監 事 研 修 会	H28. 6. 27	1名	【講義】 ・社会福祉法人監事としての職責を果たすために 必要な知識を修得することを目的とした研修
近畿老人福祉施設研究協 議 会 京 都 大 会	H28. 7. 20~ H28. 7. 21	4 名	【講義】 ・2025 年へ向けて、日々の実践や研究の成果を 持ち寄り、高齢者福祉・介護の在り方を考える
全事協近畿ブロック社 会 福 祉 事 業 団	H28. 12. 21 H29. 1. 13 H29. 2. 6 H29. 2. 13 (各一日の研修)	11 名	【講義】・指導者の育成・専門性を向上させる・意識改革を促進する・防災にかかる等に関する研修
兵庫県社会福祉事業団第 14 回職員研究·実践等発表大会	H28. 12. 8	1名	【講義】 ・日常業務の成果や、職員の利用者支援の向上に 向けた取り組み等を発表し、発表者及び参加者 相互の資質向上に資することを目的とした大会

③外部研修実施内容

種別	研修名	実施年月日	修了者	内容
大阪府指	大阪府相談支援従事者研修 (2日課程・5日課程・現任)	H28. 10~ H29. 3	720 名	 【講義・演習】(5日課程・現任研修) ・障がい福祉サービスの相談支援事業所における相談支援専門員の養成 【講義】(2日課程) ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の養成
定	大阪府サービス管理責任者等研修	H28. 8. 9~ H28. 9. 28	452 名	【講義・演習】 ・障がい福祉サービスにおけるサービス管理責任者 及び児童発達支援管理責任者の養成
	堺市認知症介護基礎研修	H28. 6. 28 H28. 10. 4 H28. 10. 27 H29. 2. 22	240 名	【講義・演習】 ・認知症の基礎的な知識・技術とそれを実践する 考え方を身に着け、基礎的な認知症ケアを行うことが出来るよう養成
堺市	堺市認知症介護実践研修	H28. 5~ H28. 7 H28. 9~ H28. 11	155 名	【講義・演習】 ・認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門 員を養成
受託	堺 市 認 知 症 対 応 型 サ ー ビ ス 事 業 開設者・管理者研修等	H29. 2. 8~ 2. 9 H29. 2. 23~ 2. 24	37 名	【講義・演習】 ・堺市認知症対応型サービス事業開設者・管理者の 養成 ・堺市小規模多機能型サービス等計画作成担当者の 養成
	堺 市 訪 問 介 護 事 業 者 サービス提供責任者基礎研修	H28. 11. 24~ H28. 12. 15	68名	【講義・演習】 ・堺市内における訪問介護事業所のサービス提供 責任者に必要な基礎知識を習得する研修
くすのき広域連合受	生活援助サービス従業者研修	H29. 2. 14~ H29. 2. 27	54 名	【講義・演習】 ・福祉・介護に関する知識や技術等を習得する養成 研修を行い、高齢者等への生活支援サービスを行 う担い手を養成する。

託豊中市受託	生活支援サービス従事者研修	H29. 3. 19 H29. 3. 25	21名	【講義・演習】 ・福祉・介護に関する知識や技術等を習得する養成研修を行い、高齢者等への生活支援サービスを行う担い手を養成する。
箕 面 市 受 託	生活支援サポーター養成研修	H29. 3. 21~ H29. 3. 30 H29. 3. 23~ H29. 3. 29	19名	【講義・演習】 ・福祉・介護に関する知識や技術等を習得する養成研修を行い、高齢者等への生活支援サービスを行う担い手を養成する。

④地域啓発研修実施内容

種別		研修名	í			実施年月日	参加者	内容
	介 護 支 受 験 対		-	門ナ	員 一	H28. 6. 20 H28. 7. 11 H28. 8. 29	12 名	【講義・演習】 ・介護支援専門員の受験対策集中セミナーにより介 護支援専門員の資格取得を目指す
公開研	介護福祉士	受験対	対策セ	zet	+ —	H28. 9. 26 H28. 10. 24 H28. 11. 21	2名	【講義・演習】 ・介護福祉士の受験対策集中セミナーにより介護福 祉士の資格取得を目指す
修	苦情	対「	<u>ं</u>	स्म	修	H28. 12. 14	7名	【講義・演習】 ・実践的な苦情対応を学び、苦情への対応能力を 持つ人材を養成
	介 護	ш :	= i	講	座	H28. 6. 14~ H28. 7. 15 H28. 10. 17~ H28. 11. 21 H29. 1. 17~ H29. 2. 16	26 名	【講義・演習】 ・介護の資格(介護福祉士等)を持っているが、 介護の仕事に従事していない方、及び介護の仕事 に興味のある方に介護の知識や技術の基礎を伝え 介護の仕事に興味を持ってもらえる、きっかけづ くりの為の講座

(8) 職員資格取得状況

架	談 支	撥 ※	₩	≁	0		0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5	0	6
*	~ л к	掛 戦 御	7、和	奉	0	y4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	2
**		*		#	2	2	1	2	2	0	1	1	0	1	0	0	1	0	13
海	##	担	Ų	衶	2	3	3	4	2	4	33	0	1	2	0	1	2	3	33
*	罗指游者研修終	了老(介頭	 双缩 牲 卄	1)	9	8	4	င	9	3	1	1	1	3	1	0	4	ī	42
K	智指游者研修线	下 者(社会	1 輝 岩 土	1)	0	1	0		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4
88 8	知様を	下 磨	Đ.	+	က		3	4	4	2	1	0	1	0	1	0	0	0	20
韓	救 吸 引 指 激	宇神 糖 胚	维 Ի	≁	-	2	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	9
磐	演吸引の研修:	修了者(5	0 世丽	:)	2	0	4	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	11
쓤		像下带(~	4 位 題)	15	22	19	19	20	13	3	1	4	9	0	1	11	3	137
<u> Şû</u>	知信介護場	※ 条 無	锐 俸	\$		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	н
鎚	知症実践者り	- ※ - 康	备备厂	夲	8	5	4	9	6	3	1	0	2	2	0	0	1	1	37
82	知 症 実 践		₩ Ի	絅	13	21	6	16	22	L	4	0	4	12	2	0	ည	3	114
鞣	*************************************	瀬 旌	神	+	1	0		ī	-1	I	က	0	1	1	0		1	2	14
*	(寂 栙	E	岷	27	23	21	20	19	18	10	3	9	17	4	2	∞	9	184
#H	年 今 職	支援商		眶	2	2	1	2	3	Ţ	0	0	0	1	0	0	0	0	12
表習作理	补 総 関	勝	37 37 31 31	± ‡ ‡ ‡	2	4	2	1	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	15
樂	华	觀		龉	5	0	2	3	2	0	2	1	1	2	0	H	0	0	19
伊		撇		塩	4	9	ಬ	က	2	3	2	-1	2	4	0	0	2	0	34
サー		田 4	#1	#	22	59	20	17	18	14	13	1	6	15	5	4	9	12	185
井	₫ ¤	施 装	≢	#	12	17	∞	6		5	က	ဗ	П	2	1	П	9	2	81
各	**	19 7	#	+	28	54	48	42	40	32	13	2	15	34	4	4	23	13	387
資格				施設名・種別	美原在	春日丘荘	四條畷荘	光明在	高槻荘	白島荘	東大阪養護	和風荘	永寿園とよなか	豊寿荘	万寿荘	河南荘	みずほおおぞら	事務局	軸

(平成29年3月31日現在)

(9)職員配置状況

①特養·養護·軽費 職員現員数

(単位:人)

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1	布	Ī	削	-	支	-3	f	枋	k 1	+1-	√支	活	₹ 1		₹	Š	4	í	位:人	
	職種	'	ur.	#	EG .		交	1	H	有		‡	i i		文 援	介		5	K	Î	⊒ [*]	介
				力	苞		į	@ R	隻	100		ビ.	· •	ľ	員	護支						護・
		Ī	改			-	_			爺	ŧ		上援	l	介	援	援	疗	Ē			看
				Ā	改		È	Ą	鼪	ŧ		管柱	古 目		護	専門						護配
					-	- 4	事			žį.		Ē	炎			員				_		置状
6-20. <i>6</i>			長 【 _{77.74} .	1	Ž	nto (er		-	J. 74	j	<u> </u>		. 員		生	1111	<u></u>	entre des		\vdash	事任 兼務	
ف設名 ————————	TE	- 學代	兼務	-	兼務	-	兼務		兼務	専任	兼務		兼務					専任	兼務			<u> </u>
特別養護老人ホーム	職契	_	1.0	1.0	<u> </u>	1.0	_	5.0		2.0		2.0			30.0	1.0	3.0		1.0		34.0	0.0
美原荘	(A)				<u> </u>	1.4		2.5		0.3		3.5	-	2,0 19.1					1.0	2.0 26.8	1.0	2.2
	E	-		\vdash	1.0	1.4	_	1.0		0.3		3.3	1.0	7.0	1.0		1.0			8.0	4.0	-
すごうの郷	製約				1.0			1.0	0.9		0.5		1.0	7.0	1.0		1.0			8.0	3.4	1.4
	1					0.6		1.0						8.4					0.6	10.0	0.6	
性则类类类(十一)	正職		1.0		2.0		1.0	3.0		1.0		2.0		28.0	3.0	1.0	2.0	1.0		36.0	9.0	
特別養護老人ホーム 春日丘荘	契約		L				L	1.0									L			1.0		2.2
	Î						L	2.8		0.6				22.3						25.7		<u> </u>
特別養護老人ホーム	100 契	_	1.0	ļ	-		_	1.0	1.0	1.0		1.0		11.0	2.0		2.0		1.0	13.0	6.0	١,,
春日丘荘「彩の家」	約	-		_	_		-	1.0	2.0	1.0	1.0			2.0 17.0		-		1.0		3.0 19.0	1.0 3.0	1.0
	E		1.0		1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0		32.0	4.0	-	4.0	1.0	1,0	38.0	12.0	 -
特別養護老人ホーム	製約	<u> </u>	-	\vdash		1.0	1.0	2.0						7.0					,	10.0	1.0	1.
四條畷荘	7. 					0.9		3.1		0.9				35.3		0.8				41.0		L
4±00 参数 4 (→ ,)	正職		1.0			1.0		2.2		1.0		3.0		30.0	1.0		1.0	1.0		38.2	3.0	
特別養護老人ホーム 光明荘	契約			1.0						1.0										2.0		2.1
	Î	<u> </u>				2.2	ļ	3.9		0.6				26.9		1.2	L			34.7		<u> </u>
特別養護老人ホーム	正 職 契	ļ	1.0		1.0	1.0	<u> </u>	3.0	<u> </u>	1.0		2.0		27.0		1.0		1.0		35.0	2.0	2.0
高槻荘	約	\vdash	┢		<u> </u>		\vdash	2.5		0.6				4.0 17.2	0.2	1.0	1.0			5.0 20.3	1.2	2.0
	正数	1.0	-	\vdash	1.0	1.0	\vdash	2.0	1.0	1.0		2.0		20.0	2.0		2.0	1.0		28.0	6.0	
特別養護老人ホーム	契約	1.0	-		110	110		2.0	1.0	110		2,0		6.0	1.0		1.0	1.0	-	7.0	3.0	1.6
白島荘	17						<u> </u>		3.2					23.2						23.2	3.2	
4+ DUX =# +v -2>	正職		1.0		1.0		1.0	2.0		1.0		1.0		17.0	1.0		1.0		1.0	21.0	6.0	
特別養護老人ホーム 豊寿荘	契約					1.0								2.0						3.0		1.5
	- Î	ļ.,,	<u></u>	<u> </u>				1.5				0.5		15.3		0.4				17.7		
特別養護老人ホーム	職	_	1.0	ļ			_	1.0	ļ			1.0		10.0	1.0		1.0			12.0	3.0	١.,
永寿園とよなか	契約 /-		<u> </u>		-	1.0	0.2	1.8	-	_				2.0 10.6		0.3	-		1.0	3.0 12.7	0.2	1.5
	E	1.0	-				0.2	1.0				1.0		8.0	1.0	0.3	1.0			11.0	2.5	<u> </u>
特別養護老人ホーム	契約	1.0					0.0			-		-110		4.0	110		-110			4.0		1.4
みずほおおぞら	#7 						1.0	1.1	0.8		0.0			12.7				0.4		14.2	1.8	ĺ
**** *	正職		1.0		1.0		1.0	1.0				1.0	1.0	1.0	2.0		1.0		1.0	3.0	8.0	
養護老人ホーム 四條畷荘	契約						1.0								3.0						4.0	3.2
	主			ļ		ļ	ļ	ļ	ļ	<u></u>					8.6				ļ		8.6	_
古七阳条井 老(ふ)、	職	1.0	<u> </u>	<u> </u>	1.0	1 ^	_	3.0	_	1 ^		4.0		8.0	0.5		0.5	1.0	<u> </u>	17.0	2.0	۲,
東大阪養護老人ホーム) jij		 	ļ	-	1.0	\vdash	1.0	0.4	1.0		1.0	-	2.0	0.7			ļ		6.0 12.7	0.7 1.9	5.0
	Æ		1.0		 	-		1.0	1.0	-	1.0	1.0	1.0	3.0	1.4		1.0		\vdash	5.0	5.0	\vdash
豊中市立養護老人ホー ム永寿間ととかか	- 職 契 約		···			1.0			<u>* </u>			1.0		1.0					1.0	3.0	1.0	3.7
ム永寿園とよなか	- F3						0.2		0.8		0.8			12.0		0.3				12.3	1.7	L
赵弗本()	正職		1.0					1.0		1.0			1.0	4.0	1.0		1.0			6.0	4.0	
軽費老人ホーム 和風荘	契約					1.0		1.0				1.0		2.0					1.0	5.0	1.0	4.4
	Į (_	_	ļ		0.5	-		<u> </u>			_	ļ	6.8		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	ļ	7.3	<u> </u>	<u> </u>
軽費老人ホーム	職契	-	1.0	<u> </u>	1.0	1.0	1.0	2.0	 	-	_	1.0		8.0		\vdash		_	1.0	2.0	4.0	2.3
豊寿荘	#9 			├		0.5		0.2		0.3		1.0	-	11.0		0.3	-	\vdash		12.3		4.0
	正職	1.0		 	-	7.0		7.2		7.0		1.0		2.0		7.5	 	 	\vdash	4.0		<u> </u>
軽費老人ホーム 万寿荘	契約					1.0		1.0						2.0				1.0		5.0		8.4
カガゼ	- ×						0.1								0.9						1.0	L
故事之(二)	基機	1.0						1.0				1.0		4.0						7.0		
軽費老人ホーム 河南荘	約					1.0						L						1.0		2.0		13.
	Î.			<u> </u>		<u> </u>	0.3	0.5		_			0,5	1.0					<u> </u>	1.5	0.8	<u> </u>
障がい者支援施設	- 職	1.0		_		<u> </u>	0.5	ļ	0.7	<u> </u>		ļ	1.0	6.0	_		<u> </u>	1.0		7.0	2,2	
みずほおおぞら (施設入所支援)	ĥ	-	├	_		 	1.0	_		 		 -	<u> </u>	7.8		 		1.0	_	7.8	1.0	4.6
	E	6.0	12.0	1.0	10.0	5.0	6.0	32.2	2.7	9.0	1.0	26.0	5.0	231.0	49.5	2.0	21.5	5.0	5.0	317.2	-	-
合 計	製約	1.0		1.0	20.0	9.0	2.0	7.0	2.9	3.0	0.5	4.0	1.0	48.0	4.7	1.0	2.0	4.0	4.0	77.0	17.1	2.
•	1 89					6.1	2.8	21.9	7.2	3.2	1.8	4.0	0.5		11,1	3.2	1.0	1.4	├	299.0	24.9	

(平成29年3月の実績で記入)

②デイサービス等 職員現員数

\	職種	1	音	Ę	i	Ä	e e	. H	脧	成~	~支	3	ž	9	Ŕ .	(単位	
	494 395						_		ŧ		ŧ		爰				
						Ř	蒦	100))[舌 泪	ļ	Į				
		Ŧ	里						東	Ř	炎援	-		å	ŧ		
		ĺ				Ā	能		旨	i	H	3					
		i i	皆	ř	¥,	ě	1		iji Ng		画 乍員	iii .		=	ı.	ni	ŀ
直設名		専任	兼務	専任:	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼教
	#		1.0								1.0		1. 3				3
と 原 : 「イサービスセンタ・	仕 爽							1.0			0.1	1.0				2.0	0
	正		1.0			_	1.5	1.0	0.2			10.6				10.6	2
F 日 丘 荘 老 .	人製料		1.0					1.0		1.0	2.0	1.0	2.0			3.0	5
"イサービスセンタ· 	7						1.0		1.0			8.5	2.1			8.5	4
表本市立沢池老,	人数		0.2					1.0		0.8		1.0				2.8	(
「イサービスセンタ				1.0		1.0	3.0		3.0		2.0	8.0	2.0			1.0 9.0	10
	重販		0.3	1.0			3.0	1.0	3.0		0.7	1.0				2.0	1
を木市立南茨木老 『イサービスセンタ・	人 奏					_					1.0		1.0				2
	E			1.0		1.4	0.4		0.4			15.4				17.8	0
條 暖	住 契		1.0					1.0			1.3 0.1	2.0	0.6		1.0	3.0	3 1
[・] イサービスセンタ・	- 1					0.6	0.5		0.2		0.1		7.0			0.6	7
- 明	生 報		1.0					1			3	1	2			2.0	6
: 明 : 「イサービスセンタ	- #9 - #9										2		2			2 -	4
	正程	1.0					2. 2 0.5	0. 3 1.0	1. 4 0.4	1.0	 	9. 4 1.0	3. 2			9.7 4.0	- 6
「 槻 荘 郡 『 『イサービスセンタ・	豕 麥							1.0	J. I		0.1	1.0	1.0			1.0	1
.,,	, E						1.3				0.2	5.1	5.4			5.1	6
面市立光明の	椰 泰		1.0					1.0			1.8		0.2			1.0	3
アセンタ					0.4		0.8	0.5	0.6		0.7	6.2	0.6			1.0 6.7	3
デイサービスセンター	E		1.0								1.0						2
「ふれあい」	教										0.4						(
	Œ	1.0				-	0.1	1.0	0.1	1.0	0.5	2.4	0.8 1.0		1.0	2.4 3.0	2
きょう ジョナング	生 製	1.0						1.0		1.0		3.0	1.0		1.0	3.0	
[、] イサービスセンタ [、]				1.0	0.2		0.3		0.4				5.1			1.0	e
	推		1.0								4.0		3.0		1.0		ç
【田デイサービスセ ー「 ね い ろ				1.3			1.0 0.6	1.0	1.0 0.6				4.0			1.0	2
	正数		1.0	1.3			0.6	-	0.6		2.0	1.0	4.8 1.0		1.0	1.3	6
部デイサービスセ	グー教							1.0								1.0	
- 「かなで] :			1.0			2.8		2.8			5.9				6.9	Ç
日斤荘「彩の家	数数		0.2								0.8		0.0				1
「イサービスセンター	- 189 - :						0.2		0.3		0.4	3.4	0.6			3.4	1
機差やすら	重		1.0							1.0	_					1.0	1
·イサービスセンター	製 製						0.0		0.0		0.0	0.0	0.9			0.0	
	3E		0.5		-		0.6		0.3		0.3	3.0 1.0	4.2 0.5			3.0 1.0	1
日 丘荘グループホー ム	— 展 與 約										0.6	110	1.4			1.0	2
v-,	Œ												9.0				ç
原荘グループホー	ム翼		1.0									3.0				3.0	2
すごうの 郷	1 10						0.1				0.2	4.0	1.8			4.0 4.2	2
自井ガa. デエ	正職		1.0								0.4	7.2	0.6			7.2	2
島荘グループホー、 華 の 家	約											1.0				1.0	
	i i					0.4						7.2				7.6	1
・規模多機能型居 ・護事業所「ひね・			0.3								0.3	1.0	0.4			1.0	1
	ا تا ا						0.1					8.8	2.0			8.8	2
規模多機能型居宅	三 戦		1.0								0.2	1.0	0.8			1.0	2
護事業所春日氏す 彩 の 家	上新				-		0.1				 	8.4				8.4	
امحد ، د کیس در	E		1.0				0.4				0.8	0.4				6.4	1
ループホーム高槻x ゆ ら ら	土 葵																
	E					1					 	14.0				14.0	
規模多機能センター	- 概		1.0				0.2				0.6	1.0				1.0	- 1
機 荘「ゆらら	1 1										0.0	8.4				8.4	
Im at	雅		1.0				0.2										
槻荘訪問入	A A												0.3				(
	正 元		1.0				0.5				-		1.3 3.0				
明荘訪問入》	版 英 約		1.0										2.0				2
	1					0.4	1.6						3.2			0.4	4
Δ #1	正 職 契	2.0	17.5				0.8	7.0	0.4	4.8		15.0	16.9		4.0	29	58
合 計	契 約3			5.3	0.6	1.0 2.8	1.2 17.7	4.0 0.8	1.0 11.2		5.4 3.7	9.0 128.7	12.7 52.1			14	20 85

		7.	a.		,1	ŗ	.1.			(単位:人
	職種	î	χ; ⊒)		访		事	1	Ì
					ビ ス	ľ	門				
		Ŧ	里	1	是 共	3	î		務		
]	責	3	蒦				
		ৰ	当	1	壬 者	j	1		員	į	
施設名		専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務
	正 職		1.0								1.0
美原 荘 訪 問 介 護 事 業 所	彩기			3.0						3.0	
	バート			1.0		24.0				25.0	
·	正職		1.0	1.0		1.0				2.0	1.0
春 日 丘 荘 ヘルパーステーション	契約			2.0		1.0				3.0	
	ナーン					11.5	0.5		0.5	11.5	1.0
	正職		1.0	3. 0			0.4			3. 0	1.4
四條畷荘訪問介護事業所 「ヘルパーステーションほほえみ」	契約			2. 0			0.8			2.0	0.8
	パート					10. 2	1. 9			10.2	1.9
	正職		1.0	3.0						3. 0	1.0
光 明 荘ヘルハ゜ーステーション	契約					1.0				1. 0	
	パート					8. 4	1.0		0.3	8.4	1. 3
	正職		1.0	1. 0	1. 0					1.0	2. 0
郡 家 ・ 高 槻 荘 ホームヘルハ゜ーステーション	契約				7. 0						7. 0
	パ - -					59.0				59. 0	
	正職		1.0	1.0	1.5					1.0	2. 5
白島荘訪問介護事業所「はくしまへルパー」	契約										· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	パート					5. 9	1. 3		0.6	5. 9	1. 9
,	正職		1.0								1. 0
ホームヘルパーステーショ	契約			1.0		1.0				2.0	
「ふれあい」	パ 					0.9	0.4			0.9	0. 4
	正職	1.0		2.0						3.0	
豊寿荘訪問介護事業所 「ゆたか」	契			1.0						1.0	
	パート			0.5			7.9	0.4		0.9	7.9
	正職		1.0	1.0						1.0	1.0
豊寿荘訪問介護事業所「ひがしまち」	契								†		
	パート						8.4				8.4
	正職	1.0	8.0	12.0	2.5	1.0	0.4			14.0	10.9
合 計	契約			9.0	7.0	3.0	0.8			12.0	7.8
	パーパー			1.5		119.9	21.4	0.4	1.4	121.8	22.8
	<u>}</u>			L	<u> </u>	l	ŀ	<u> </u>	正比90年9	L	

(平成29年3月の実績で記入)

④居宅介護支援事業 職員現員数

(単位:人)

		3	Š	1 /	<u> </u>		F.	 	(単位:人
	職種		B [*]	•	隻	-	P-	î	î
				3	支		.		
		į	理		援 専 門		务		
				F					<u> </u>
施設名		専任.	者 ***		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	東丘		また	
MERX 43	正	4江	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務
美原荘居宅介護	職契		1.0	2.0				2.0	1.0
支 援 事 業 所	約パ			2.0				2.0	
	正			3.0		1.0		4.0	
* * ^ * +	職		1.0		1.0				2.0
春日丘荘居宅介護支 援 事 業 所	約								
	パート			4.0				4.0	
	正職								
南茨木居宅介護支援 事 業 所	契		0.2		0.8				1.0
. 21 1/1	パー			2.9				2.9	
	正		1.0	1.0				1.0	1.0
四條畷荘居宅介護支				4.0				4.0	
援 事 業 所	約							1.0	-
	正		1.0	0.0	1.0			0.0	
光明 莊 居 宅 介 護 支 援 事 業 所	職契		1.0	2.0	1.0			2.0	2.0
	パ			2.0				2.0	
	正			0.7			0.3	0.7	0.3
	職			1.0				1.0	
高槻 荘居 宅 介 護 支 援 事 業 所			1.0	2.0	1.0			2.0	2.0
	バ 			0.8			0.1	0.8	0.1
	正職								
自島荘居宅介護支援 事 業 所「はくしま」	契約		1.0	3.0	1.0			3.0	2.0
_	パート	•			0.3				0.3
. ,	正職		1.0						1.0
ケアプランセンター 「ふれあい」	契約			2.0				2.0	
	ポソート								
·	正			1.0				1.0	
豊寿 荘 居 宅 介 護 支 援 事 業 所 「 ゆ た か 」	戦契			6.0				6.0	
	約パー							1	
	正		4 -	1.6				1.6	
豊寿荘居宅介護 支援事業所 ひがしまち」			1.0						1.0
	約			2.0				2.0	
	1			0.8				0.8	
	正職		6.0	7.0	2.0			7.0	8.0
合 計	契約		2.2	23.0	2.8			23.0	5.0
	パート			13.8	0.3	1.0	0.4	14.8	0.7

(平成29年3月の実績で記入)

⑤定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業 職員現員数

(単位:人)

	職種管		タオ		護行サ定		護行サ随		当計		合		
		~		うし期		う!時		画					
理		L L		員訪ビ 2007		員訪ビ		作					
				,	,		ス ^巡		ス訪		成		
\ \ \	\	1			l .	等介	を回	等介	を問	者	.担	G P	+
施設名		専任	兼務	専任	兼務	專任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務
	正職		1.0		30.0		2.0	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5.0		1.0	0.0	39.0
堺定期巡回・随時対応 ケアサポート OSJ	契約				1.0							0.0	1.0
)	パート		-		3.0		3.0		3.0			0.0	9.0

(平成29年3月の実績で記入)

※兼務の場合で職種ごとに按分が必要なものについては、それぞれ按分後の常勤換算数を記入ください。 ただし、管理者が複数事業所の兼務をする場合については「1」で記入するようにして下さい。

4. 各種会議開催状況

(1) 専門職種会議

種別	開催頻度	内容と成果
施設長会議	偶数隔月	事業運営管理に必要な重要案件の審議。
経営戦略会議	奇数隔月	南北施設に分かれ、経営上の諸問題の解決に向けた検討と施設間の連携についての検討。
法人衛生委員会	年4回	労働災害防止等に関する総合的対策の計画的推進
主事会議	偶数隔月	内部統制の強化と事務処理の適正化、経費削減に向けた取り組み
介護科長会議	年6回	人材確保のための取り組みの推進と人材確保・人材育成についての冊子 (Q&A) 作成
在宅サービス科長会議	年7回	各在宅サービス会議の推進及び進捗管理。 第4回在宅サービスネットワークの開催。
介護総括主任(主任)会議	年4回	昨年度作成した「日誌記録についての冊子」を活用した記録の標準化と職員の言葉 づかい等の接遇に関する取り組みの推進。
看護職員会議	年4回	看取りケアの充実のため、看取りケアマニュアル案の作成。 感染症マニュアルを活用した感染症研修の統一の検討。
栄養士会議	年4回	より良い栄養ケア計画の作成のため施設ケアプランと連動した栄養ケアマネジメントの在り方を学ぶ。 ・食事・栄養に関する各種加算の算定に向けた検討。
生活相談員会議	年3回	苦情に関して適切な対応ができるように、事例検討会及び研修会を実施を行い、対応マニュアル の作成。
機能訓練指導員会議	年5回	困難な症例や疾病など事例検討をおこない、機能訓練指導員としてのスキルアップ、知識の共有に繋げた。 ・機能訓練指導員マニュアルの見直し。
リスクマネージャー会議	年4回	総合防災訓練実施。災害時に事業継続するための体制整備。 リスクマネージャーの役割と体制の見直し検討。 個別リスク分析表の効果的な運用。
デイサービス会議	年4回	・事業所・専門機関・地域住民等との連携で広く利用者を支える仕組み作り ・医療機関からの早期退院者や認知症高齢者、中重度高齢者を受け入れることができる法人内の標準的な体制作り ・緩和デイや介護予防など軽度利用者に対応できる標準的なサービスメニューの開発
居宅介護支援専門員会議	年4回	・指導者向けの新任職員育成マニュアルの作成。 ・法令遵守に係る監査(内部監査・実地指導、介護保険給付費適正化事業)内容の 共有。 ・保険外サービスに係るニーズ・資源調査
ヘルパー会議	年4回	・地域での連携や病院などの医療機関や他機関と連携方法について検討。 ・事故及びリスクを回避するため「ヒヤリハット」の充実。
地域包括支援センター会議	年7回	・専門職種ごとの分科会の開催(情報共有) ・スキルアップ研修の実施

(2) プロジェクトチーム等

システム検討P	T 年7回	・介護・給与システムやネットワークの課題整理 ・特別養護老人ホーム「すごうの郷」で試験的に導入した介護システムの検証
職員評価制度検討	PT 年6回	・評価項目が具体的でわかりやすくなるよう、項目の見直し及び各種チェックリストとの連動を検討。 ・評価結果の給与反映について検討。 ・他法人職員評価制度の調査。
給食業者選定P	T 隔月	・食事サービス充実に向けた仕様書の見直し及び、給食業者委託選定方法の検討。 ・食事代の設定についての見直しを検討。

5. 第三者評価受審状況

施設名	評価決定日	評価実施機関
美原荘グループホーム「すごうの郷」	2017/1/6	特定非営利法人市民生活総合サポートセンター
グループホーム高槻荘「ゆらら」	2016/5/24	NPO法人NALC ナルク福祉調査センター
養護老人ホーム永寿園とよなか	2015/10/26	特定非営利法人 市民生活総合サポートセンター
春日丘荘グループホーム	2017/3/29	ナルク福祉調査センター
東大阪養護老人ホーム	2017/2/2	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
白島荘グループホーム「華の家」	2017/3/24	特定非営利活動法人市民生活総合サポートセンター

(平成28年度中)